

UFO・超能力・宇宙哲学

# UFO

SINCE 1961  
GAP-JAPAN NEWSLETTER

UFO・ESP・Cosmic Philosophy  
コンタクティー

# contactee

SUMMER  
1999

★秋山真人が語る驚異的来世紀展望

ノストラダムスの予言とUFO問題

異星人の壮大なスペース・プログラム(4)  
ホワイトサンズUFO搭乗事件(6)  
アダムスキー哲学で奇跡的に助かった私  
異星人・カルマ・転生・ヒーリング

宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ(8)

145



〈巻頭言〉 近づく夜明け	1
<b>ノストラダムの予言とUFO問題</b>	秋山 真人 2
明治神宮宝物殿上空にUFO数度出現!	久保田八郎 9
異星人の壮大なスペース・プログラム(4)	平田 泰介 10
UFO目撃日記(7)	加藤 純一 16
ホワイトサンズUFO搭乗事件(6)	ダニエル・フライ 18
アダムスキー哲学で奇跡的に助かった私	清水 南 22
最重要なアダムスキーの宇宙哲学	竹田美枝子 24
私が目標とする宇宙への道(5)	渡辺 康英 22
GAP短信	26
科学—SCIENCE—	27
UFOにまつわる不思議な体験	永井 俊一 30
異星人・カルマ・転生・ヒーリング	坂本 貢一 32
オーストラリアで語るアダムスキー	36
<b>宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ(8)</b>	G・アダムスキー 37
〈写真〉 敵傍山より撮影したUFO	高田いづみ 39
〈予告〉1999年度日本GAP海外研修旅行「アメリカ西部の旅」	43
〈予告〉第2回福山支部大会	45
本誌バックナンバー主要記事目録	46
〈予告〉第1回関西支部大会	47
〈投稿欄〉ユーコン広場	48
編集後記	51
日本GAP全国月例セミナー案内	52

## GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コスミック・パワー”の子であり、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもって知ること」にありました。この諸法則は他の世界（惑星）から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”の研究と理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・ブラザーズ問題に関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることにあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米・他の大國政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト（接触）しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・ブラザーズとコンタクトしている人々が少数存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

## 日本GAPへ入りませんか

●日本GAPはわが国最大のUFOと宇宙哲学の会員制団体です。会員は約1600名。世界でもトップクラスの研究集団として、国際的なUFO団体や個人研究者と交流を保っています。

●東京本部と地方の16支部は毎月、月例セミナーを開催し、UFO問題や宇宙哲学について研鑽しており、UFO観測会その他の会合を開催して活動しています。

●東京では毎月第1日曜日に港区東京タワー前の機械振興会館で月例セミナーを開催。わが国のUFOと宇宙哲学研究の大先駆者・久保田八郎会長の解説講演、超能力開発練習、UFOビデオ映写、その他を実施。宇宙的な波動のもとに真面目に研究し、品格のある楽しい雰囲気にはなっています。

●入会は中学生以上なら誰でもできます。下記へ1/ガキで案内書をお申し込み下されば、お送りいたします。

〒133-0044 東京都江戸川区本一色1-12-1-511

日本GAP ☎03-3651-0958

### 〈表紙写真〉

1996年9月のある日、米カリフォルニア州バシフィックパリスサイズの町で昼12時頃、ハイカーのステイプ・トムセンとジョー・クロウワーが輝く銀色のUFOが赤い屋根の上に低く滞空しているのを目撃した。頂上の丸い突起が太陽光でキラキラと輝いている。二人は無音のまま停止している物体の下部を仔細に見ることができた。縦じ目がなくて、まるで全体が1個の鋳造物のような。二人が数枚の写真を撮ったところ、向こうの太平洋の方へ飛び去ったという。

恐怖をそそるような妖怪扱いしているし、オバケ宇宙人の存在を示唆するよ  
うなイラスト等も出てくる。地球人は  
よほどオバケが好きとみえて、怪奇物  
語は売れ筋の一つである。良く売れる  
雑誌を出そうと思えば、恐怖をそそる  
ような内容の記事とどぎついポルノも  
のを掲載するに限るとはある雑誌社の  
ペテラン編集者の言である。そんなも  
のだろう。「〇〇殺人事件」と題する  
小説があつたを絶たない。覗き見趣味的  
な、または謎解きの推理ものがかなり  
売れているらしい。

(巻頭言)  
近づく夜明け



近來 UFO 問題が低迷化してきたよ  
うだ。雑誌等でもあまり取り上げない  
し、テレビでも UFO そのものの番組  
は少なくなつた。しかしこれは大衆が  
UFO に関心を失つたのではなくて、  
むしろ UFO なるものに違和感をもた  
なくなつたからだという説もある。つ  
まり UFO が存在するのは当然だとい  
う肯定派が増大したことを意味するの  
であるという。

そうだとすれば喜ばしいことだが、  
それにしても、たまに UFO 関係記事  
が雑誌等に出たとしても、相変わらず

UFO 問題がまだファンタジー（空  
想の産物）的な領域を出ないのは、そ  
の発進地が不明であることに原因があ  
ると思われる。大気圏外の遠い星から  
来るといふ説はまだしも、ひどいのに  
なると地球の深い地底の都市から来る  
という説もある。かつてメキシコのト  
ラコテへ万病を癒す特殊な水を求めて  
旅したとき、その水源施設の主がそ  
のような話を大真面目に語ってくれた。  
なんでもその土地の地下三〇キロの  
地底に大都市が存在して、その不思  
議な水はそこから地上へ人類を助ける  
ために湧き出るのであり、いわゆる  
UFO もその地底都市からやって来  
るのであると言っていた。編者は黙つ  
て聞いていたが、その人が親切に汲み  
出してくれた水を屋外に持ち出してた  
らふく飲んだけれども軽い持病はピク  
ともしなかつた。むかしフランスのル  
ールドでも大量の水を飲んだが、やは  
り効かなかつた。トラコテはすでにさ  
びれて人はほとんど見えず、むなしく  
残る水汲み施設は水の無効を語って  
いるかのようだ。所有者は無学ではな  
くメキシコ市の一流大学の工学部を出  
たインテリであつた。

典として承認されて、疑わしい文献は  
外典または偽典として除外されたうえ  
編纂されたものが現在伝わる新約聖書  
である。しかしこの新約でさえも重要  
な記述に重大な誤りがあるという宇宙  
的な情報もある。その過誤に誰も気づ  
いた者はいないという。

UFO 問題にしてもジョージ・ア  
ダムスキーは膨大な論文を書いて真実と  
虚偽とを明確にしたけれども、世界は  
耳をふさいだ。いまだに全く相手にさ  
れていない、と人は言うだろうが、さ  
にあらず、アダムスキーの UFO の飛  
行理論をひそかに研究して試作に成功  
している機関が某国にあるという。そ  
れは重力場推進方式と呼ばれるもので  
これについては新アダムスキー全集の  
中にヒントが与えてあるが、完全に電  
磁気的なものである。これを応用して  
大量生産が可能になれば世界の産業界  
に大革命が発生するだろう。アダムス  
キーの親友であつたケネディー大統領  
はこれを推進しようとしたが惜しくも  
暗殺された。

だが失望は禁物である。秋山眞人氏  
によると来世紀の二〇一五年から二〇  
年ころにかけて地球人は UFO の実体  
を常識として知るようになり、二〇五  
〇年前後には我らの太陽系の別な惑星  
群に住む異星人達が公然と地球を訪れ  
て交流するようになるという。そのと  
き地球も宇宙世界の仲間入りをするよ  
うになるのだ。

アダムスキーによれば、我らの太陽  
系の惑星は九個だけではなくて実際に  
は一二個あり、そのいずれにも人類が  
実在して高度な文明を築いているとい  
う。いわゆる UFO なるものはそれら  
の惑星から来る超高度に発達した宇宙  
船なのであつて、前記の重力場推進方  
式で宇宙空間を光速に近いスピードで  
飛行する現実の物体である。これが地  
球上空に飛来すると凄しい光景を見せる  
ことがあるのでオバケ扱いされるので  
ある。

とまれ UFO 問題はいずれ確実に地  
球人によって理解されるときがくるだ  
ろう。学校の教科書に掲載されて学生  
生徒に教える時代が到来するのである。  
したがって今は UFO 問題に関する論  
争などをやっけても全く無意味であ  
る。現代はライト兄弟が飛行機を発明  
しようとしたとき「空気より重い物は  
空中に浮かぶことはできないのだ」と  
忠告してやめさせようとした物理学者  
の時代に似ているかもしれない。ただ  
し、この話の真偽のほどは不明である。

編者は多年 UFO 問題の研究啓蒙活  
動に専念してきたが、世界の UFO 問  
題の流れをつぶさに見てくると、ある  
一つの線が浮かんでくる。それはア  
ダムスキーや秋山眞人氏らが唱えた異星  
人と別な惑星の実態に関する説明の内  
容は絶対に真実であつたという線であ  
る。真実が浮上してくる方向に世界は  
動いているのである。

# ノストラダムスの予言とUFO問題

★秋山真人

国際気能法研究所長・哲学博士

今年は一九九九年。問題のノストラダムスの予言で指摘された年である。

「一九九九年、七月、空より驚愕の大王が来るだろう、アングルモフの大王を生き返らせるべく、

前後、火星は幸運に統治する」  
〔ノストラダムス大全〕阿部秀典  
訳・飛鳥新社刊より



▲ノストラダムス

この四行詩は何を意味するのか。諸説粉々、多種類の解釈本が出回っているけれども、いま一つ釈然としない。そこで、わが国のトップクラス超能力者の一人でコンタクティーであり、UFO問題の権威者である秋山博士に聞いてみた。場所は豊島区長崎の国際気能法研究所の広い応接間。聞き手は日本GAP会長・久保田八郎。二人は多年の親友でもある。

〈今年にはノストラダムスの言う一九九九年です。彼の予言詩によれば、この七月に空から驚愕の大王が来るとあります。これは何を意味すると考えられますか〉

人類の恐怖がノストラダムスに反映？

ノストラダムスの予言というのは、大きく分けて二つの意味があると思うんです。一つは人類の集合無意識と言いましうか、人間全体の意識が、そういう一つの節目が必要だとしてノストラダムスに無意識的に注目してきただけではないかと思えます。

それは人類そのものが、この世紀末まで持ってきた恐ろしがる心と言いますか、たとえばコンピューター文明はここまで来たけれども、コンピューターが大故障を起こすかもしれない。人工衛星が空から降ってくるかもしれない。

これは科学をやっていた人達自身の恐ろしがる心ですよ。火山が噴火するかもしれない。大洪水が来るかもしれない。

ない。隕石が降ってくるかもしれない。これはやはり自然に対する恐ろしがる心です。私はそういった人類の内面にある恐れがノストラダムスという予言に投影されて、自問自答をしている部分があると思うんです。

〔編注〕ノストラダムスは、一五〇三年にフランスのプロバンス地方のサンレミで生まれた。若い頃は医者としてペスト患者の治療で敏腕を發揮して名をあげた。正式な名前はミシエル・ド・ノートルダムという。後にラテン語風にノストラダムスと変えた。多くの予言を的中させて有名になったが、特に一五五五年にフランス王アンリ二世の変死を予言し、これが四年後に実現した。王は若い将校と馬上槍試合をし、目と喉を突かれて一〇日後に死んだのである。

そういう刺激によって自問自答してみても、この世の中を変えてゆかなければというビジョンを持つことが一つは人類の宿命のような気がしますね。それをノストラダムスというものをテーマとして私達は自問自答しながら気が

つき始めてゆくということがあると思  
うんです。

## 地球は絶対に滅びない

ですから、私は地球が滅びるような  
終末予言という解釈は絶対にあり得な  
いと思っています。ただし今回のノス  
トラダムスの予言に関しては、たとえ  
ば日蓮という人は七難即滅という言葉  
があるとおりに、七のつく日に災難が  
起こるといふことにこだわった人で  
実は今年の七月は日蓮生誕から七七  
年目の七月にあたるんです。ただノ  
ストラダムスは占星術上で七月と言わ  
ずに「七番目の月」と言っています。  
これは占星術で言う七番目のエリアで  
すから八月に相当するんです。それで  
七月か八月頃に何か起こるぞといふこ  
とになるわけです。

## 実は経済問題を意味して いた?

彼の例の予言で一番大きいのは経済  
の問題だと思ふんです。それも日本の  
経済、アメリカの経済、ヨーロッパの  
経済、中国の経済と分けて考えますと  
正直に申し上げて日本の経済にとつて  
は非常に良い転換期になると思いま  
すね。

実は、ある事が海外で七月、八月、  
九月にかけて起こり始めることによつ  
て日本は経済的に大きく取り戻す、つ

まり今の不況から脱出するだろう、実  
質的にお金が動き始めるだろうという  
ことを非常に強く感じるんです。これ  
は第二バブルに向けての動きだろうと  
思いますね。かえって今度は非常に良  
くなってしまう。

そのシナリオはノストラダムスの予  
言と共通するのでしょうか、でも、ノ  
ストラダムスはそれ以前の、なんと言  
いますか、非常に片寄った合理主義的  
キリスト教のベースといえますか、こ  
れの崩壊を明確に予言しているんでは  
ないかと思えますね。

## キリスト教的体制の没落

ですからキリスト的正義の名のもと  
に合理主義を武器として経済をコント  
ロールするという支配体制が明確にそ  
こを基点にして滅びるといふことです。  
いまアメリカがやっている「我々が太  
義名分で行っているんだ」というよう  
な体制が滅びるんです。そういうわけ  
でアメリカの経済的逼害とその影響が  
ヨーロッパ一円に出てくるということ  
を、ノストラダムスははっきりと予測  
をしたのではないかと思ふんです。

それによって今度は中国を含めてア  
ジア諸国の経済体制が反転して強くな  
ってくると思います。ですから私はノ  
ストラダムスの予言の中にあるアング  
ルモワは、当初アメリカでノストラダ  
ムスを翻訳したヘンリー・シー・ロバ

ーツという人の解釈に注目しているん  
ですが、アングルモワはモンゴリアン  
の繰り替えであるとういのは正解で  
あるうと思ふんです。

やはりアジアの人々が経済を動かせ  
る時代に立つということになりますが、  
これは西洋にとつては恐怖の大王です  
からね。しかも今年の八月に確かに惑  
星が占星術で言うグラインドクロス、つ  
まり交差状態に並ぶのですが、そして地  
球は交差する位相に入るわけです、  
さらに八月の半ば頃にパチカンの上空  
で皆既日食が起こるわけです。

これは占星術でいきますと大凶が二  
つ三つ重なったような非常に悪い状態  
なのです。ですからやはりキリスト教  
的なネットワークを利用した近代の経  
済ネットワークですね、いまのメリ  
カがやっているような、ああいうもの  
がペールを剥がされてゆくんんです。

ですからヨーロッパから見たら真の  
原始キリスト教に、人々が精神論とし  
てのキリスト教に戻ってゆくといふこ  
とになります。つまり悪しきキリスト  
教の支配体制が消えて、封印されてい  
た昔の善きキリスト教が復活するとい  
ふことになるのではないかと思ふます。

## 日本経済は好転する

当然、経済体制はアジアが強くなり  
ますけれども、最近はそのから先のシ  
ミュレーションをやっているんですが、

日本にとつては確かに好景氣がやつて  
くるわけですが、今まではアメ  
リカが日本の経済を押し寄せていまし  
たし、経済の敵はアメリカだという見方  
が日本にあるわけですね。最近特に強  
いわけです。グローバルスタンダード  
という言葉に惑わされていたと言ひ始  
めています。

でもよく冷静に考えてみますと、日  
本は以前のバブル絶頂だったときには  
アメリカまで乗り込んで行って、ロッ  
クフェラーセンターを買収するよう  
なアメリカ人の伝統文化を踏みにするよ  
うな事を平氣がやっているわけです。  
これはやはりカルマの法則以外の何も  
でもないわけですね。アメリカを非常  
に不安におとしられるかたちで経済活  
動をした日本が、そのカルマの清算を  
この数年間の不況でやったということ  
です。ですからアメリカと日本との関  
係というのは、これぐらいのカルマの  
清算で済んだと言えるわけです。

ところが今度は中国が経済的に台頭  
してくるということがあるとしますと、  
そうした場合に今度は日本がむかし中  
国に満洲帝国をつくって侵略をしたと  
いうことがありましたから、そのカル  
マは残っているわけです。そうすると  
逆に今度は中国が日本を支配しようと  
する非常に強いはずなをつけてくるだ  
ろうと考えられます。これの方が今ま  
でのアメリカ型の支配よりも私はよほ  
ど外交をうまくやっていると、中

国の属国になってしまうような非常に危険な流れもあり得るのではないかと思います。

## 中国やアジア諸国との連携が重要

ですから今後ノストラダムスの予言が今年ほんとうに起こったとして、この一〇年ビジョンを考えるとすれば、やはり日本は中国との新しい国交を築きあげてゆくことと、以前にスペースブラザーズ（異星人）から示唆があったのですが、アジアの海岸沿いの諸国たとえばタイとか韓国などを含めて、さらにインドに至るまでのアジアの海岸線の諸国がネットワークとして運動してゆくような流れが非常に自然だろうと思っています。

特に日本とインドは、インドから発した仏教をここまで信仰した国は非常に珍しいわけですから、その仏教の因縁といえますか、そういうものがありますので、私は日本とインドが連合して最終的にはそれこそ二〇一〇年から二〇三〇年にかけて新しい経済体制、今のヨーロッパに出来たユーロのような通貨流通や金融の体制を築きあげてゆくことになるんだらうと思います。

そうすると一番伸びるのはインドが経済的には伸びると思いますね。そこで中国は危機を感じるでしょうから、いろんな意味でそれを壊そうとするでしょうし、アメリカも黙っている国で

はないですから、いろんなキャッチボールが始まるでしょう。

超能力的に見える未来透視はそこまでぐらいいです。基本に戻って考えてみますと、攻める感情を捨てるということが大きな基本になると思いますね。そして相手の違いを楽しむという生き方が大切ですね。それをやり続けた人達が伸びてゆくでしょう。

## 今年の七月には何も起らない！

今年にしぼって申し上げるとすれば、今年に祈りの年といえますか、念じたり祈ったりしたことが形になろうとしてゆく年なのです。こういう年ほど祈りを逆に忘れてしまふんです。ふたたび過去のバブルのような思いが現実化して物質的に豊かになったといえども、精神的な祈りとかイメージ化を忘れてはならないと私は思います。

そこで結局今年の七月は何も起らないでしょう。滅亡的な大自然現象などは発生しません。ただし今年はずっとした噴火は起るでしょう。火山活動は激しくなる年だと思いますよ。といって世界中の火山が噴火するわけではありません。

もう一つ、日本では五月前後に東北の太平洋岸の方でちよつとした地震があるかもしれない。これはたぶん海底地震でしょう。しかしこれは巨大な被害はないでしょうね。神戸のような

大被害のある地震ではないという感じですよ。

あと、社会的な事件としては、今透視に見えるのは赤、ピンク、白色などで、これらの色が非常にやるんです。今までは若い人のあいだで暗い色がはやっていましたが、これからは明るい暖色系の色がはやるでしょう。これはいくつも見えるんですが「南」という文字、または「火」にかかわる文字の会社とか人物とか、それが非常に注目されるようになると思います。ですから火扇のついている会社やら人物やら、それと南という文字のつく人達が注目される年になると思いますね。

## 六月が要注意

第三次世界大戦は私はないと思います。ただし今年一つのエポックがあるとすれば、たぶん今年の六月前後に北朝鮮が具体的な戦時体制に入るでしょう。これはアメリカがいきなり空爆をするというようなことになるか、あるいは海岸線から船が高射砲で陸に向かって射撃をする光景が未来透視で繰り返し見えるんです。

去年、七〇数名の超能力者を集めて今年度の予測を未来透視でやっただけですけど、とにかく六月に海岸から高射砲で沢山の弾丸が撃ちあげられていく様子がアジアで見えたんです。そう

して眼鏡をかけた政府の要人らしき人がおろおろしたり自分が死ぬんだと思つて悲観している光景が見えるというのが、かなり多くの超能力者の共通の透視結果だったんです。

それはアメリカの空爆の前だったものですから、たぶん眼鏡をかけた要人というのは、アジアでは江沢民か金一族かということになるわけです。今のところ北朝鮮がいちばん強いですね。何月に起こるかという点でも六月という意見が多かったです。

もう一つ私としては台湾も気になります。中国と台湾です。北朝鮮がやられるとすれば、もう少し空爆の光景が見えてきてよいのですが、あまり激しい空爆の光景が見えないんです。しかし可能性としては北朝鮮が一番高いわけですが、ひよつとするとアメリカは簡単に非常に短い時間の空爆で北朝鮮をある程度押さえようとするかもしれません。

あとは南との船の上からの高射砲攻撃を南側がかけるといことが結構長引くのではないかと考えられます。そうしますと日本も日本海側にある程度船を配備して警戒態勢をとらねばなりません。そういうようなかたちの未来透視です。これは六月ではないかと思えます。

日本では六月にそういうことがあつて、七、八、九月あたりに今度はアメリカの底割れが起きて、新しいアジア



## 米カリフォルニア州のUFO

● 1996年9月、米カリフォルニア州パシフィックパリスエイズ市の海岸地帯で、ハイカーのステイブ・トムセンとジョー・クローワーの2人の青年が遭遇したUFO。数枚の写真を撮ったら物体は家の向こうの太平洋上空へ飛び去った。本誌表紙写真も連続撮影した内の1枚。

の経済態勢が出てくると思われます。北側をアメリカが制した場合、中国は黙っていないでしょう。中国は非常に脅威を感じますから、たぶん華僑ネットワークでもってアメリカに入れていく資産をいきなり抜いてしまうでしょう。つまりアメリカに暴落を起こさせるような手段に打って出るのでないかという可能性が見えるんです。

## 中国の経済再建策

これは急激にやるのではなくて、あの程度の時間をおいてじょじょにアメリカをくずしてゆくんです。それと並行して中国は市場開放をしたりアジアの経済の建て直しを本格的にやるでしょう。ひよっとしたらロシアやシベリアと連動して始める可能性があります。そうしてくると日本はとにかく景気はよくなるのは見えるんですが、しかし日本の長期展望としては非常に脅威的な要因もふえてくるかもしれません。そのときになつて、今まで政治をうまくやってこなかったなあとか、国際問題を考えてこなかったなあといううしろめたさが我々にあるとすれば、そこで我々はなぜ日本人なのかとか、なんで日本をこれまで守ってきたのかと、若い人達に教育をしていくでしょうし、非常に優秀なブレインが国の運営に対して真剣に取り組まなければならぬようになるでしょうね。

〈東京都内に数千規模でスペース・ブラザーズが在住していると以前に聞きました。これは何の目的があることですか〉

〔編注〕スペース・ブラザーズとは太陽系の進化した惑星の人達を意味する。スペース・ピープルともいう〕

## 波動を良くするために多数のブラザーズが関東に在住している！

そうですね、一昨年から去年にかけて日本海上空に非常に巨大な見えない母船が滞空していたわけです。何をやっていのかと思ったら、日本海周辺の水を良い波動に切り替える作業をやっているわけです。

なんでそんなことをやっているのかと思つていましたら、やはり北朝鮮からテポドンが飛んで来るわけです。ですから周辺の波動をなるべく沈静化させて、人類がおかしな方向に興奮して大きな戦争にならないように押さえるようにブラザーズは最大の気を使っているんです。

宇宙船から降りてきて戦争なんかするなと言っているのが一番いいのでしょうか、それと、それをやってしまえば、これは人類のためにならないわけですね。ブラザーズは宇宙の法則を崩さない範囲で見えない所で作業を続けているんだと思います。

〔編注〕ブラザーズが地球人に戦争を

強制的に中止させれば宇宙の法則に反する行為となる。地球人が自発的に中止するのが正しい進化である〕

からもつといろいろな問題が噴出してくると思うんです。私自身に關しても、秋山さんはこんな良い活動をしているんだとインターネットで書かれているんですが、一方では「秋山は悪魔だ」とひどいことを平気で書くのがいるんです。

実は今年にはいつて私は一度だけブラザーズの人達とコンタクト（接触）があつたんです。そのときにもたらされたのは、メディアに対する波動をもつときれいにするというわけです。通信メディアですがインターネットを含めて非常に悪い波動が電波によつて流れるということが増えているというわけです。

これを法的に規制することが出来ないものだから、これは私個人の問題だけではなしに、すべてのテーマにおいてその善悪の両方があからさまになるということが、言葉以上に非常に荒れる力を持つていっている気がします。〔編注〕ここでインターネットによる海外からの編者に対する攻撃の例を出して、嫉妬心（じとこころ）によるのだろうと話す〕

これがこのまま急速に拡大すると百年ビジョン、つまり百年先の地球を考える上で、いま波動をきれいにしておかないと、とんでもない方向に行つてしまう可能性がメディアそのものに出てきているというわけです。これはコンピュータ通信やテレビメディア、雑誌等です。それにたずさわる人々、またはそれにたずさわる装置そのものの波動の浄化の仕事で沢山のブラザーズが今別な惑星から来て関東に集中しているんです。

ただ他人との違いを喜べない人達が多いんです。人間というのは違つて当然なのです。たとえ一つ一つの考え方があつても、それを人によつていろいろな面から見えてしまうというのはどうしようもないことだと思つてですね。ただ、レベルの相違とか受け取り方とか表現の仕方が違うからというので相手を徹底的に封殺するとか危害を加えるというの、そういう行動から発展的なものが生まれることはありませんよ。そうしなければ戦争とか殺しあいしかないで

## 問題の多いインターネット

特にインターネットが問題ですね。ついにインターネットによる殺人、自殺者が沢山出始めましたからね。これ

すね。

## ブラザーズは今年全地球に メッセージを発信する予 定！

私は三年程前に別な惑星から来た長さ一キロ程度の中型の母船に乗ったときに、長老と対談をしたんですが、そのときの会話で長老から言われたある言葉があるんです。そのときの会話録をずっと封印して持っているんです。

それで去年の暮れに突然テレパシーがありまして、今年は公開しろというんです。これは出来れば「UFO contactee」誌上で公開したいと思うんです。

その中では長老と会話をしているんですが、今回もテレパシーでやりとりしたんです。「なぜこの時期に発表しなければならぬのか」と。

そうしたら、今年の六月前後に、その対話の中で与えているメッセージと同じものを全地球的に発信するんだそうです！

そこで、それなら私が発表する必要はないじゃないですかと聞きまして、今までもそういうことをやったんだと言っています。ところがほとんどの人は頭在意識で拒絶してしまうというわけです。そんなものを絶対に信じないと思ってしまうというわけです。

ですから普通の人達のほとんどは何か宇宙の方から面白いテレパシーが来

ているような感じがしたけれども、あれはいったい何だったのだろうなという程度で終わってしまうんだそうです。その内容の骨子というのは、これからの一〇〇〇年ビジョンを考えた場合に、ちょうど今地球人類は半々に分かれていくのだそうです。これは三年前とほとんど変わらないようなことだそうです。

つまり四〇数パーセントと四〇数パーセントで拮抗していて、中間の人達が二・五パーセントしかないんだそうです。つまり片側は一〇〇〇年先も地球人は地球から出て行けないということを感じた上で、それをイメージの中で決めてしまった上で人類の存続をシミュレーションしている価値感を持つ人達が半分で、もう半分は宇宙へ出て行こうとする人達が半分で。

ところが、今のままでゆくと、今までの人類というのはある意味では地球から出て行けないというシミュレーションの人達が多かったので、地球から出て行けないというシミュレーションを持つ場合には、人口調整をしなければなりませんから、これはある意味では楽しんで喜んで戦争をするしかない結果を生む方法しかなかった面があるわけです。それで人口調節をしてきたのです。

ですから、その四〇数パーセントの半分の人達というのは、もし一〇〇〇年先も同じビジョンだとすると喜んで

戦争を続ける人達です。ところがこの人達が戦争することによって人類は疲れ始めています。だから戦争をする人の数が少なくなっています。

残りの半分は宇宙へ出て行きたいと思っているけれども、そのことにはまだ自信がない。なんとなくふわふわしたビジョンを描いていて力が弱いんです。このビジョンでも地球を動かしてゆけませんか。

一方、地球上で生きてゆこうが宇宙へ出て行こうが、楽しんで生きてゆけると確信している人が二・五パーセントいるわけです。しかしこれは絶対数が少なすぎるんです。ですからここでもう一度一〇〇〇年ビジョンをふまえたカンフル剤を、とりあえず宇宙は可能性に満ちているという総合的なメッセージをブラザーズが地球全体にテレパシーでもたらすというわけです。

それによって二・五パーセントがどれぐらい増えるかというのをみるというわけですが、これが一〇パーセントまで増えると一〇〇年後にはほとんど地球人は宇宙へ出て行けるといいます。宇宙に受け入れられるということになるんです。

そういうことに関する私とブラザーズとの問答集がありまして、それを三年間封印しておいたのですが、ブラザーズ達は今年の六月頃に公開せよと言っています。いずれ文章をきちんと整理して先生にお渡し致します。こ

れはユーコン誌に掲載して頂ければ幸いです。そんなに量は多くはなくて、ワープロ打ちで一〇枚前後の文章です（編注：ここで編者は内心飛び上がって喜んだ！ うまくゆけば本誌次号の146号に掲載できるかもしれない）

（今の問題に関連するのですが、地球人がUFOなるものを、別な惑星から来る宇宙船であると公然と認めるようになるのは、いつ頃でしょうか）

## 地球人は意外と早くUFO の実体を知るようになる

そうですね、これは意外に近いと思います。二〇一〇年代のなかばには、UFOは宇宙から来ている宇宙船なのだということを認めるようになると思いますよ。

去年の六月にもスタンフォード大学の科学者のグループが認めたんです。明らかに地球外から来ている物質がUFOの着陸跡から見つかったということで、UFOは研究する価値があるよと認めたんです。これはどうもロッキーフエラー財団が資金を出した研究の流れのようでした。どうなってるのかは分かりませんが、また新しい世論攪乱になるかもしれません。

ただし、どっちにしてもアメリカ政府が「そんな物はないんだ」と言ったからといって、それだけで否定するよいうな幼稚な否定の仕方でもってUFO

の存在を無視し、それを多くの大衆が信じているような時代は、あと一〇年はもたないと思いますね。

ですから二〇一〇年代のなかば頃には明らかに宇宙からUFOが来ているということや異星人の存在も明らかにされるようになりますね。これを逆に言えば、そうしたはつきりとしているものをここまで隠蔽できるんだという一つの人類の才能を示しているとも言えますね(笑)。これは隠すほうが今に大変になりますよ。

〈それに関連して、別な惑星の人達が公然と地球上に姿を現わして、それをすべての地球人が歓迎するというようになるのは、そのちよつとあと頃ですか〉

そうですね、二〇三〇年か二〇四〇年のあいだ頃には異星人とのかかなり広い意味での交流の最初の出来事が起こると思います。

宇宙人側というよりも、我々地球人が宇宙人になれるかということですね。宇宙人側はすでに地球人を宇宙人として認めているわけです。

〈今はUFO問題について一般人があまり違和感を持たなくなってきたようですね〉

そうですね、ようやくそうなりましたね！確かにUFOということから白い目で見られるということはなくなりまりましたね。五人に一人ぐらいは

実際に見たとか、信じる信じないというよりも、見たという人が多くなりましたからね。

やはりブラザーズはそうした間接的なコンタクトを沢山行なっていると思うんです。見せるというコンタクトです。

〈いわゆるテレパシー能力ですが、これを引き出す最短の方法についてはどうですか〉

## テレパシー開発法はこれだ

テレパシーという概念そのものをイメージの中でいつも身近にしておくことです。なかなか体験出来ないから信じられないんだという人もいるんですが、体験があるうらがあるまいが、すでにイメージのシミュレーションの中では人間のテレパシー能力は当然存在すると思うことです。実際、ほとんどの人が無意識的にしよつちゅうテレパシーを使っているわけです。そういうビジョンをもつことです。たとえば人が来る直前に人の気配を感じたりするとはいつも行なわれているんだというようなビジョンを受け入れることが役立つのです。

そういうことが受け入れられたときに加速度をつけてテレパシーが身近なものになってきます。次にテレパシーを何のために使うかという目的をはつ

きりさせることです。

最近はこの反面に、テレパシーを恐れる人間の心の反動みたいな部分が沢山起きているような気がします。テレパシーに関心があつて、いろいろとそのビジョンを受け入れてやっているうちに、いろんな声が聞こえ始めたとか人の悪い想念が自分の内部に入ってくるのだとか、そういうことで悩む人の数が加速度的に増えているんです。

目的なきテレパシー開発というのは、被害妄想的ワナにおちいりやすい面もあるんです。ですから自分のテレパシーはこんな目的で働くんぞということをはつきりさせておく必要があります。

さきほど話題に出たインターネットでも、悪い話も良い話もどれを拾うかで世界はまるで変わってしまいますからね。これはテレパシーでも同じです。悪いテレパシーを拾って歩いたら大変なことになってしまいます。

それよりも、自分は良いテレパシーしか感じない、良いテレパシーしか発信しないんだというビジョンを持った上でテレパシーに親しむんです。

あとは簡単なトレーニングを毎日五分でもよいから、とにかく練習し続けることです。これが結果的には一番早道ですね。その場合は、テレパシーというのを楽しめるんだととらえる所から出発してゆくことです。

(編注)テレパシーや遠隔透視の具体的な練習法は新アダムスキー全集第二

巻『超能力開発法』に詳述してある。

今回の秋山氏の談話にはまだ他にも豊富な話題が含まれていたのだが、事情により割愛した。たとえば日本各地の地震発生の場所や時期とか、その他きわめて重要な話が出たけれども、これらは省略した。それよりも人間はすべて生来テレパシクな感知力を有するのであるから、まずこれを開発して自分の能力で予知することが肝要である。テレパシーなるものを魔術的な特殊な能力かまたは怪しげなトリックとみなす人が多ければ多言を費やしても始まらないだろう。

しかし来世紀に超高度に進化した惑星の人達が公然と地球を訪れるようになって驚異的なテレパシー能力を発揮するのを見せつけられるようになれば、地球人の感覚にも大いなる変化が生じるだろう。それは西暦二〇二〇年頃から三〇年頃に渡る時期と秋山氏は言っているの、さほど遠くない未来のことである。その前に来世紀に入るとまもなく太陽系の惑星群に関する地球人の認識が大変化するらしい。こうして地球は真の意味の宇宙時代に入るのである。

我らの太陽系の各惑星の大文明についてはアダムスキー全集の第一巻から読まれたい。本誌巻末に広告が出ている。これを読まずして宇宙の文明を理解することは不可能だろう)

# 明治神宮宝物殿上空にUFO数度出現!

久保田八郎 日本GAP会長

去る一月一日、秋山真人氏の呼びかけによるUFO観測会が渋谷区明治神宮敷地内の宝物伝前広場で実施された。集合者は全部で七名。大勢の人が

来ないうちにというので早朝六時三〇分に原宿駅そばの門の所へ集合。七時前に開門と同時に敷地内へ入り、はるかな遠路を歩いて奥の宝物殿前広場へ



〈前列左より〉ごまコミュニケーションズ社長=遠藤励起、日本GAP会長=久保田八郎、国際気能法研究所長=秋山真人。〈後列左より〉翻訳家=坂本貢一、日本GAP本部役員=会田裕子、同幹事=加藤純一、著述業=森田巖夫の各氏。撮影/加藤純一(セルフ)

行き、ここで散開して各自自由な姿勢で観測を開始。池の水面が凍っているような冷気の中を続行しているうちに、秋山氏がテレパシーでSP(異星人)と交信したところ、一〇時まで待つてくれという回答が上空からあったということ、一同リラックスしながら一点の曇もない碧空を眺めていると、ちょうど一〇時きっかりに遠藤励起氏が森の上空を垂直に上昇する白銀色の物体を目撃。加藤純一GAP本部役員幹事も見たという。

さらに観測を続けていると、またも一〇時五五分にUFOが出現したのを会田裕子と加藤純一の二人が目撃。結局、一二時で観測を終えることに話が決まり、筆者は帰り支度を始めてカメラをバッグの中へ収納したとたんに、「出た!」の声とともに一同が指さす方向を見ると、東側の森の上空を飛ぶ銀白色の物体を遠藤、秋山、加藤の三人が目撃している方向の上空に筆者も銀白色に光る物体を確かに見た。撮影しようにもカメラを取り出す余裕がなくして眼視観測のみ。そのとき一二時六分であった。これでこの日の観測会は終了し、最後に全員記念写真を加藤純一が撮影して散会した。

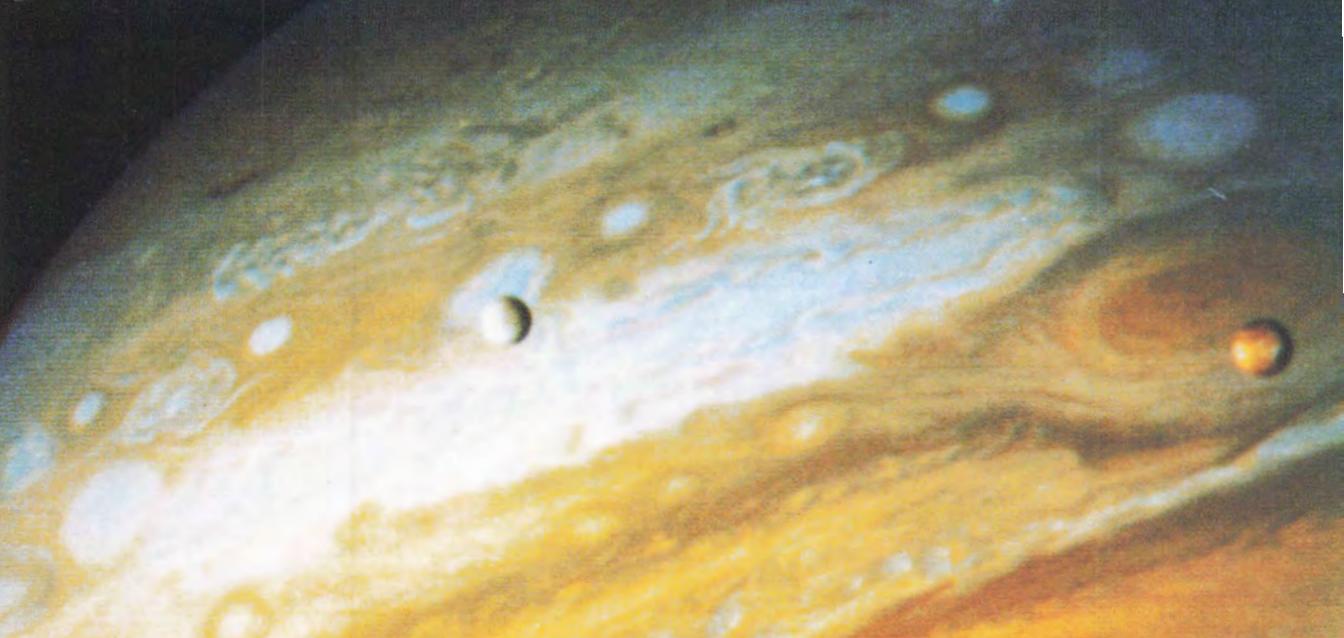
大体に成功に終わった観測会であったが、あとで考えてみるのに写真撮影にはほど遠い出現の仕方からみると、筆者が三〇ミリレンズに二倍のコンバーターを装着して六〇ミリにした

カメラを構えていたことが上空のSPの方々の忌避の的になったのかも写れない。こうした場合は「何が何でも写真を撮ってやるんだ」という気負いを捨てて「宇宙の兄弟の皆様方。写真を撮らせて頂いてよろしゅうございますか。もしよろしければ低空に降りて下さいませんでしうか」という謙虚なお願いの想念を放射するべきであったと大いに反省した。それにしても秋山氏のテレパシー受信どおりに一〇時に出現したのには驚くほかはない。

この宝物殿前は芝生の低い丘のつらなる宏大な広場であってUFO観測には絶好の場所である。しかし浮浪者達も来て長時間寝転んだりするから全くの安全な場所とは言えないだろう。

原宿駅横の入口から徒歩で二〇分もかかる宝物殿前広場までは途中に展開する鬱蒼たる大森林地帯を通過するのだが(道路はつけてある)、ここは昔二度ほど行ったことのあるグアテマラのティカール遺跡のジャングル地帯に似た原始的風景そのものであり、ここから発する波動はきわめて高度な純化されたものであるらしい。だからUFOが出現しやすいのだろう。都内の渋谷区にこんな広大な凄い場所があると信じられないほどだ。ただし女性が単独で入り込むことは絶対にやらないほうがよい。宝物殿まで行きたければ信頼のおける屈強な男性を騎士役にし同行させるように配慮されたい。

# 異星人の 壮大なスペース・プログラム(4)



▲上の写真は米パロマー天文台が撮影した木星。  
筆者(久保田)が同天文台で入手した写真。

## 異星人来訪の記録を伝えた 旧約聖書

ジョージ・アダムスキーによってもたらされた我らの太陽系の驚異の真相はこれまでの天文学上の学説を一举にくつがえすものであった。太陽系は九個の惑星だけではなくて一二個の惑星から成るのであり、しかもそのいづれにも人間が存在して、しかも地球人をはるかに凌駕する偉大な発達をとげた人類が想像を絶する高度な大文明を築いているというのである。

このことはまだ学問的に認められないのでとかく一笑に付されるけれども、地球の各地で目撃されるUFO(未確認飛行物体)なるものは実は地球以外の高度に発達した惑星群から来る驚異的な宇宙船であって、NASA(米航空宇宙局)はこの事実を知りながら隠蔽していると言われている。

これらの惑星群と地球との関係は古代から続いてきたのであって、それを的確に伝えている文献は旧約聖書である。すなわち旧約に出てくる「火の玉」や「四つの顔を持つ大きな鳥」その他の不可解な記述は、実は大気圏外から来た宇宙船を意味しているというのだ。

## 歪曲された聖書の内容

地球という惑星の歴史に関しては進

化論とか考古学的な発見とか、わずかな証拠をもとにした推測によるさまざまな説があつて、現代科学はまだこれといった確実な学術的な体系を成立させていないので、人類の住む惑星は太陽系中で地球だけだと思ひ込み、しかもこの広大な宇宙の中で人間が存在するのは地球ぐらいのものだろうと広言する天文学者がいたりする。

しかし古代から地球には別な惑星から来た人々と交流をなした記録が現存している。それは旧約聖書である。ここでその概要を伝えることにしよう。

旧約聖書(以下「旧約」と略す)は、その原本の粘土版が死海文書として一九四七年にパレスチナのクムラン洞窟でベドウィン人の少年に発見されてから大反響を起こしたけれども、宗教的政治的配慮によってその真の意味を解明した全容はまだ公開されていないので、我々は現在伝えられている旧約を調べることによって大体的意味を知ることができない。

ところが、この現代の聖書は古代へブライ語、アラム語、およびギリシャ語の写本を後世の聖書学者や宗教の聖書学者達によって何度も解釈し直されたり、各国語に翻訳されたりするうちに、原本の記録の真の意味が失われてしまったことが、金星人からアダムスキーに与えられた情報によって分かったのである。詳細は新アダムスキー全集(中央アート出版社)に出ている。

## 人間は死後ただちに転生する

しかも彼ら異星人は地球始まって以来のすべての真実の歴史を、大昔から地球を訪れて知り尽くしているというのだ。詳細は新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』（中央アト出版社刊）中の第二部『宇宙船の内部』を読みたい。

アダムスキーによれば、人間は死んでもすぐに他の場所で生まれ変わり、その魂はただちに（平均三秒間で）新生児の肉体に飛び込んで、ふたたび次の人生を生き続け、こうして際限のない生まれ変わりを体験しながら、魂は

永遠に不滅であることを前世の記憶によつて知るのであるという。

たとえばイエスは高度に発達した金星から地球上に転生して、指導者として当時のパレスチナで活躍しながら宇宙の法則を説いて、地球の人類を正しい方向に導くように援助したのである。イエスは十字架上で死亡したのでは

なく、仮死状態になったまま降ろされて、死者とみなされて葬られたけれども、夜間に二人の異星人が墓へ来て特殊な機械で蘇生させた上、宇宙船に乗せて健康を回復させたという。パウロがダマスカスの近くまで行ったとき、空中に白い雲が現われてそこからイエスの声が響いてきたという現象は、異星人の宇宙船に乗せられていた状態を意味するのである。しかし新約ではこうした現象はすべて空想的な神秘現象にされてしまった。

## 旧新約聖書は異星人との交流物語

こうしてみると旧約と新約は異星人と地球人との交流の歴史そのものと言えるのであるが、そこまで気づいた人は数千年間まったく輩出することはなく、異星人の言葉などはやみくもに神のコトバと解釈されてしまった。発見された死海文書のなかには出自が怪しいとの理由で疑典または外典とされたエノク書や、モーゼ五書（創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命

記）以外の第六、第七の書（『モーゼ書』という）も含まれている。

（編注）旧新約聖書には外典というのがある。これは真偽が明確でないために正式な聖書から除外されたものであるが、実はこの外典が非常に面白いのである。聖書関係の書店で市販されている）

前期の各書はローマ帝国のコンスタンティヌス大帝により絶対禁書とされて以来、パチカンの奥深くしま込まれて公開が禁じられていたのだが、一四世紀にフランスの王家は一時期ローマ法王を幽閉していたことがあり、そのために大量の古文書を保有していた。その古文書の石板は一八世紀にフランス王家とゆかりのある帝政ロシアのロマノフ家に流れて、現代において偶然に発見されて解読されるまで約二〇〇〇年間、人目に触れることもなく眠っていたのである。これがモーゼの写本であり、死海文書の粘土板と同じものである。

これによると、従来解釈されていた旧約、特に『創世記』の意味は根底から変えなければならなくなる。

またエノク書には広島と長崎の名がそのまま書かれており、二つの太陽すなわち原爆が落とされると述べられた正確な予言があるのに、エノク（アダムの子孫）は、他の惑星の宇宙船に乗せられて別な惑星へ行つたと書かれていたので、記述の出所が怪しいとされた

らしいのである。しかしこれらはすべてモーゼの口述による写本なので源泉は明確である。

## モーゼ書の真意

モーゼ書の発見で現在知られている『創世記』は、今までに無数の改変を経てきているとのことで（これは異星人情報と一致する）、原本の意味とはほど遠いものである。

ただ『出エジプト記』以降はほとんど変わらないが、それに第六と第七の書をつけ加えることによつて、歴史的事実は同じでも、角度を変えて見ることによつて、その歴史的意義は大きく異なるのだ。

モーゼ書の『創世記』には、「はじめに闇があつて、黒い神は深淵の面を動いていた。黒い神は言った。

『光あれ』。こうして白い神があつた」と書かれている。これを現代の旧約の冒頭の聖句と比較すると、これは絶対禁書とされたのも無理からぬことと思われるのである。

ここでは最も重要な「神」に関して、まず黒い神があり、その神の意志によつて白い神が生まれている。つまり闇が神自身なのであつて、現象として現われた白い神（光）との二面性をそなえていることが分かるのだ。

モーゼ書によれば、モーゼ自身がこの黒い神を呼び出して自分の意志に従



▲イスラエルのクムラン洞窟。中央右寄りの黒いほら穴の中で旧約聖書の写本の入ったツボをペドウィン人の少年が発見した。撮影／久保田八郎

わせている。つまり召喚神術を体得したモーゼがわずかな奇跡を起こしてみせて、愚鈍で怠惰な大衆に神を恐れ崇拝させるための手段としてその呪術を身につけたのである。要するにモーゼの行なった方法とは、後世のキリスト教の根本原理、すなわち神とは全知全能で侵すべからざる神聖なお方であるとする教義とは全く逆の立場にあるのである。

モーゼは一種の超能力者であったようだ。これは旧約に出てくる偉人達やイエスに共通する能力である。異星人とのコンタクトにはこの能力が不可欠の要素になるのである。

## 「白い神」と「黒い神」

こうしてモーゼ書は絶対禁書として高度の政治的宗教的配慮により排除されてしまったのである。そして後のキリスト教、すなわちイエスの教えによる神の概念とは、モーゼの言う「白い神」のみであった。

この白い神のご意志に従うならば、人類は最終的にはヨハネの『黙示録』の予言どおりに、罪を犯したアダムとイブの原罪により、確実に破滅へと追い込まれねばならないのである。

なぜならば、「白い神」とは自然の摂理であり、宇宙の法則でもあるからだ。「黒い神」とは『創世記』の寓話に登場するヘビであり、人間に自然を

支配して文明を開化させるための知恵と知識を与え、「白い神」に反逆したのであった。

キリスト教ではこのヘビ、すなわち「黒い神」を悪魔サタンと呼んで忌み嫌っているが、「白い神」は自然の摂理に逆らった人類を敵として破滅に追い込まずにはおかない結果をもたらすのである。

しかしモーゼ書の召喚神術を身につければそうはならない。それができる者といえばモーゼの遺伝子を持つ者に限られる。そんなよそこの誰でもというわけにはいかないのだという。

## 偉大なアダムスキーの「生命の科学」

ここでモーゼ書の全文を見るときに、我々はアダムスキーの『生命の科学』講座の真髓を彷彿とさせられるのである。

(編注Ⅱ『生命の科学』は新アダムスキー全集の第三巻に収録)

つまり「黒い神」とは「因」の領域であり、「白い神」とは「因」が生んだ結果すなわち現象である。原因があつてこそ結果が生まれるのだ。

「因」は宇宙の意識なのであり、人間がひとたびこれに目覚めて「心」が「意識」と一体化すれば、神の業、すなわち超能力を發揮することができるのである。

古代のモーゼはファラオの奴隷頭を

殺したためにエジプトの地から逃れて、四〇年間もミディアンで羊飼いをしているあいだに超能力を身につけたのであった。

だがその能力とは、彼にとつては「黒い神」を呼び出す召喚神術であり、その呪術がパスワードとして古文書に記録されているため、改変されて排除される運命にあったのである。

## 最初は地球に火星人が来た

しかし異星人からの情報によれば、地球は古代に火星人に支配されていたわけであるから、古代人は火星人を神と勘違いしていたことは間違いない。

召喚神術もモーゼだけが火星人を呼び出す資格を与えられ、超能力によって援助されたのではないだろうか。それは出エジプト記の記録で明らかである。

最初、地球には火星人がやって来て、カナンという豊饒な土地をその住民から奪い取るために戦争をゲームのように教え込み、それに反対した金星や土星の人達（地球に転生した預言者を含む）が殺されてしまったのだという。

聖書にはありのままに悪い事もすべて正直に書いたのは、事実を述べている証拠として理解できるが、その内容からみて、当時の神とはまことに人間臭い、現代人が想像している神学的な神聖にして侵すべからざる神ではな

ったことが分かる。

## 怒りの神の実体は何か

たとえば、当時は神と顔を合わせたら死ぬと信じられていたが、ヤコブは神と格闘して顔を合わせたのに死ななかつたのである（『創世記』三二章二四―三〇）。

またモーゼは『出エジプト記』で会見の天幕の中の神と話をし、『レビ記』では各章の初めに、「エホバは会見の天幕の中からモーゼに話してこう言われた」となっているところを見ると、実際に声を出して話す神なのである。

そしてユダヤ人がその神を恐れて崇拜するようにさまざまな規制を押しつけた上、戒律を事こまかにとりきめて、それに違反すると厳しい罰を与えられた。

実際『民数記』でも、神がユダヤ人をエジプトから連れ出しても、荒野で食料がないときにマナという食物で養ってやったのに、不平ばかり言って肉が食べたいと言うので、ウズラを大量に降らせて食べさせ、その肉がまだ歯の間にあるうちに疫病により「大いなる殺戮を加えられた」とある。

また『民数記』一二章一節から一〇節を見ると、モーゼの兄でレビ人のアロンは他民族のクシュ人の女ミリアムを娶っていて、モーゼに対して言い逆らうようになったとき、神は彼ら二人

を呼び出して怒りを燃やし、天幕の外に出させてミリアムを癩病にかからせた上、隔離するという罰を与えたことが記されている。

このように当時の神は妬みや怒りをあらわにし、逆らう者に恐ろしい残酷な罰を加える非情な神であった。

## 「黒い神」は火星人だった？

以上からみると、モーゼが呼び出した「黒い神」は本当の神ではなくて、当時は神の業としか思えないような奇跡を起こしてみせてユダヤ人たちを恐怖させた超能力を持つ、技術的には高度に発達した火星人であったと推定することができるのである。

当時、火星が地球以外の惑星のなかで最も先進的な技術を有し、最初に宇宙船を開発したのは火星であったことが、異星人からアダムスキーに伝えられている。だが現代の火星人は精神的に進歩しており、地球人に恐怖感を起こさせるようなことはしないという。聖書に「会見の天幕に雲が降りて来て、神がモーゼと話をされ、雲が上がるまでは民はそこを旅立つことはなかった」とあるのは、宇宙船が強力な重力場により発生した雲に包まれたままで会見の天幕に覆いかぶさるようにして降りて来ていたことをあらわしている。

(編注) 他惑星の驚異的に進歩した

宇宙船は重力場推進機関を応用して空間を飛ぶという。その場合、船体の周囲に強力なフォースフィールドを放ち、それがイオン化するために一見雲のように見えるという)

## ユダヤ人が血筋を重視する理由

モーゼ書によれば、シナイ山で召喚した神から十戒という規制を受け、そのかわりに五誓という神自身の約束を取りつけている。その内容を平易な言葉であらわせば、次のようになる。

- 一、モーゼ以外の者を援助しない。
- 二、神がいつもモーゼと共にあること。そうすれば他の神の像を作つて拝まない(偶像礼拝をしない)。
- 三、モーゼが呼んだとき以外は神は出てきてはならない。
- 四、安息日を月と太陽の位置関係により、七、一四、一九、二一、二八日とし、その日には神は仕事をしない。我々もそれを守る。
- 五、神はこれらの誓約を守り、我々を契約の地カナンに導く。その日家でモーゼは神を自分のもとに封印する。

以上の事柄を神に約束させている。その「黒い神」とは当時地球を支配した火星人であった。しかも召喚神術を行なえる者はモーゼの遺伝子を持つ者でなければならぬという。したがってユダヤ人は血筋を最も大切にし、他

民族との婚姻で血が混ざること固く禁じたのであった。

ユダヤ人が「神のイスラエル」として選民思想タルムードに至った元はといえば、実は絶対禁書の「モーゼ書」に由来していたのではなかったか。血統だけを重視しても、転生によって入った靈魂すなわち真の生命はどこから来たのかは分からない。もし彼らに転生の知識があつたとしたら、自分たちだけが神から選ばれたのだという考えは起こらなかつたであろう。

聖書の記録でも、一世紀当時、ユダヤ人たちは隣国のサマリヤ人を人間とみなしてはいなかった。転生の法則ではアブラハムの靈魂はどこへ転生したか分からないので、血統が正しいことに固執するのはナンセンスなのだ。

『エズラ記』一〇章一節〜四節には、神からお告げを受けたアルタクセルクセス王の命令により、モーゼの律法に従わない者の処罰を任せられた写字生でもある祭司エズラの勧告により、近隣の諸国民の娘を妻にして子供までもうけた者たちに対して、その妻と子を離縁して故郷に帰らせるということが行なわれていて、これに違反した者は処刑されたのであった。

このように他民族との婚姻を律法では偶像崇拜といつて、諸国民はユダヤの神以外の神の偶像を作つて拝んでいたため、彼らと婚姻を結び、ユダヤの正統な血筋に他民族の血が混ざること

はユダヤ人の夫としての神に対して貞節ではない、つまり汚れた「淫行」であるから偶像崇拜は淫行にあたるとして、それが後に読んで字のごとく、すなわち性的にみだらな行ないという意味に解釈されてしまったのである。

これらの事実で分かるように、古代の火星人たちは特にユダヤ人の美しい娘とまじわり、ネフィリムという混血児が生まれ(創世記六章四節)、非常に力のある名のある者となつたことが知られている。

ノアの時代では反抗的で鬪争的な追放処分にされた異星人(墮落天使)の地球上でのあまりにも無軌道な墮落ぶりをごらんになった神が、敬虔で忠実なノアとその家族以外のすべてを滅ぼしてしまおうと大洪水を起こされたことが『創世記』六章一節以降に記録されているので、彼らはそのときに拭い去られたわけだが、聖書をよく検討すれば、火星人はその後も地球を訪れ続けたらしく、金星から生まれ変わってきたイエスに対して、彼らがユダヤ人に押しつけた律法、すなわち火星の支配に反逆するものとしてユダヤ人たちに処刑させたのである。それまでも多くの預言者が彼らの父祖たちに殺されてきたのであった。

## 重要な転生(てんせい)の問題

それにしても転生すなわち「生まれ

「変わり」については現代のキリスト教のなかでも肯定されてはいるものの、これらの宗教関係者の考えは非常に曖昧で、なかには否定している新興宗教もあり、また現代の一般の人たちの考えもまた異なる空想や推測の域を出ていない。アダムスキーが異星人から教えられた転生のメカニズムは、人間は死ぬと約三秒で魂が猛烈な勢いで飛び出して、別な新生児の肉体に入つて、また新しい人生を始めるのだという。

転生という問題に関して最も信頼すべき証拠としては、アダムスキーがその妻メリーの生まれ変わりの少女に金星の大母船内で出会って確認した事件がある。(新アダムスキー全集第五巻『金星・土星訪問記』を参照)

またイエスが弟子たちに語つた言葉の中にも証拠となる多くの聖句が記録されている。その二、三の例をあげると、まず新約のルカ二章四三節に、「するとイエスは彼らに言われた。

『本当にわたしは君に言う。今日、君はわたしと一緒にパラダイスにいるであらう』

(編注Ⅱこの部分は岩隈直訳『福音書』(山本書店刊)からの引用。岩隈氏は数十年間独学でギリシア語を学びながら孤立無援の状態で新約聖書を完璧に翻訳したという)

パラダイス(楽園)とは地球上には存在しないから、これは高度に発達した別な惑星のことであり、隣にイエス

と共に磔刑にされた罪人が後悔しているので、死んでもただちにイエスと一緒に別な高度な惑星(金星)に生まれ変わることを予言したのである。

マタイ二二章三一、三二節では、「死人の復活については、神から君たちに次のように言われた言葉を君たちは読んだことがないのか。『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と。彼は死人の神ではなく、生きている者の神である」

これを聞いて群衆は彼の教えに驚きいったとある。

群衆がなぜびびりしたかといえば、ユダヤ人の先祖のアブラハム、イサク、ヤコブに宿っていた神(魂)は、現在生きている者たちの中に生まれ変わって宿っており、こうして復活して生き続けているのだという意味のことを説明した言葉なのだが、当時の人たちはこれを解釈した学者連も、人は死んでも転生するという事実を知らなかったために群衆が驚いたのであり、また学者たちによる記述も曖昧な解釈になっ

てしまつたのである。

しかもこの誤解は後に、神とは唯一ユダヤ人の神で、「神のイスラエル」「神の人」などのモーゼ書に由来する言葉を生み、諸国民は家畜以下であつて人間ではないというユダヤ教の根幹をなすタルムードの思想を生むことにもなつたのである。

(編注Ⅱタルムードとはユダヤ人の律

法学者の口伝や解説を集めたもので特にモーゼの律法を中心としている。旧約聖書についてユダヤ人の精神文化の中心になつている経典)

またイエスは処刑される前に口癖のように、もうすぐ遠くへ行つてしまふと告げていたが、一番弟子の使徒ペテロはどうしてもその意味が分からず、新約のヨハネ一三章三六節で「主よ、あなたはどこへ行かれるのですか」と聞いていたけれども、死んですぐに金星へ転生することになるので、「わたしが行く所へ、今君はついて来ることはできない。しかし後について来るであらう」と予言して、その通りにペテロも何年か後に処刑されたが、そのときおそらくイエスの予言通りにペテロも金星へ生まれ変わったと考えられるのである

## イエス出生のナツ

イエスがもと金星から地球へ転生した件については、新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』中の第二部で、アダムスキーが大母船に乗つたときに異星人から聞かされて

いる。その誕生に関する聖句としてマタイ一章一八節に、その母マリアがヨセフと婚約中であつたとき、二人が結ばれる前に、彼女が聖霊によつて妊娠していることが分かつたとある。

次の節では、その夫となるべきヨセフは敬虔な人であり、また彼女をさらし者にすることを望まなかつたので、ひそかに離縁しようとした。

しかし彼がこのことを考えた時、主のみ使いが夢の中に現われて、「ダビデの子ヨセフよ、君の妻マリアを迎え入れることを恐るな。彼女の中に生まれてくるものは聖霊によるのであるから。彼女は息子を生むであらう。君は彼の名をイエーヌス(イエス)とつけよ。彼はその民を彼らの罪から救うであらうから」

と言っている。

ここで重要なのは「聖霊による」となっている部分である。聖霊とはもと異星人から地球に転生した預言者にたいして送られたテレパシーなのであつた。また異星人の超能力として知られていることでは、想念の力によつて物体を即座に目的の場所に移動させることができる事実がある(秋山眞人氏著『私は宇宙人と出会つた』より)。

この場合は、現代でもすでに開発されている胎外受精と同じもので、金星人の精子を瞬間移動させて受精を行なつた可能性が考えられる。

そのために、一世紀のテイペリウスの治世下でユダの住人プブリウス・レントレルスという人が記録した文書が、一世紀にカンタベリーの聖アンセルムス廟で発見されたが、それには、「イエスの髪は似つかわしくない色で、

カールの髪が肩まで流れるように垂れている」と記されている。  
 (編注) カンタベリーはロンドン南東部一〇〇キロの位置にある都市。大聖堂で名高い。聖アンセルムスは十一世紀にこの大聖堂の大監督として活躍した人)

またイエスを処刑するように命じたローマ総督ポンティウス・ピラトのローマ皇帝ティベリウスにあてた報告書が現存しているが、それにも「イエスは金髪であった」と書かれている。

イエスの両親のマリヤもヨセフも東洋人で黒髪であったから、イエスの金髪は、超能力を有する金星人の記憶をインプットされたタネの影響により、金星人との混血として生まれたという証拠ではないだろうか。

そのためにイエスは成人してから病人や奇形を癒し、盲人の目を開けてやり、死者さえもよみがえらせるような奇跡を演じる物凄い超能力に恵まれたのであった。

彼は二五歳のときに、自分が「天の父」と一体となっていることに気づいた。これは創造主と一体であること、つまり「宇宙を支配している意識」に目覚めていることを意味するのである。

## イエスの生まれ変わりである金星人

イエスは現代になって一九五二年一月二〇日、アメリカ・カリフォルニア

ア州の砂漠地帯デザートセンターに着陸した金星の円盤から降り立った。今度金星人として生まれ変わった姿である。二〇〇〇年前にヨハネであったアダムスキーは彼と劇的な対面をした。二〇〇〇年ぶりの師弟の会見である。

その金星人は昔のイエスであることを思い出しやすいように、昔と同じ金色の長い髪を肩まで垂らした姿で現われた。アダムスキーは彼の名前を仮にオーソンと名づけている。

(編注) デザートセンターにおける劇的会見の模様は新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』の第一部に詳述してある。編者久保田は一九八九年一月二二日、数名の調査団を組織してデザートセンターのアダムスキーとオーソン氏とのコンタクト地点を調査に行き、ウイリアムソン著「宇宙語—宇宙人」の中に掲載されているコンタクト地点の写真を自分で手にしながら探索した結果、絶対に間違いないのコンタクト地点を奇跡的に発見した。この詳細については本誌一〇五号の冒頭記事「デザートセンター円盤着陸事件」を参照されたい。それ以来ここを何度も訪れているが、今年一〇月にも日本GAP海外研修旅行でこへ案内する予定である)

自分が二〇〇〇年前にイエスの弟子であるヨハネであったことを過去世を透視して知っていたアダムスキーは、この人こそ、かつてのわが師イエスで

あることを確信して感動し、そのレポートを世に広める決意をしたのだろう。

## 現在のメシアは誰か

モーゼ書による理論では、福音書はイエスが「白い神」を選択してキリスト教を創始したのであり、その教えに従って使徒のヨハネが完成させた予言書「黙示録」のとおり、「白い神」自然の摂理」に逆らって現代文明を発達させ、核開発や文明の廃棄物による環境汚染という副産物などにより、アダムとイヴが原罪を当然の結果として人類は破滅へ向かって突き進んでいるということになるのである。

ここで思い出してみると、モーゼ書には「黒い神」を呼び出し、破滅へ向かう人類を救済させるといつとつておきの召喚神術があったのではなからうか？ ではどうすればそれが可能になるのだろうか。

それは言うまでもなく、アダムスキーの「生命の科学」講座に重要なカギがひそんでいるのだ。すでに読者はご存じのように、この講座を一万回以上読むことによって透視能力などの超能力を開発された方が実際におられるのである。また例の秋山氏やZ氏などのコンタクティは、モーゼ書の召喚神術を身につけた人たちと言っても過言ではない。だとすれば、人類を本当に救済することができるもの、すなわち

メシアとは誰なのか。  
 それはもちろんこのように異星人を呼び出すことのできるコンタクティということになるではないか。

まさにそのとおりである。しかも他の惑星のスペース・ブラザーズは彼らに代えて古代から地球を訪れ続け、地球人類の援助のために特別な任務を帯びた預言者などを地球上に転生させ、彼らがすべて火星人の教えに固執する邪悪なユダヤ人に殺されて以後は、宇宙船で地球上に戸籍を取得させ、各国政府の要人や科学者にコンタクトして重要な情報を示唆したり、平和と国家の安全や科学の発達を援助してきたことが、本誌にも連載されている「ホワイトサンズUFO搭乗事件」の中に述べられている。また聖書を調べてもそれは確認されているのだ。

したがって現在、久保田先生を中心として、コンタクティの方々や本部役員の方々、黎明会などにより精力的な活動を行なっている日本GAPこそが、唯一、人類の破滅を救うことができるのである。



My UFO Sighting Diary  
by Junichi Kato

# UFO目撃日記⑦

加藤純一

日本GAP  
東京本部役員幹事



昨年の日本GAP総会の翌日観光では参加者全員がUFOを目撃することができた。これは何よりもスペース・ブラザーズが我々日本GAPの活動を注目しているという事実他にない。また、年末近くから一つの大きな変化を感じているが、目撃という名のコンタクトはいつものように続いている。それでは昨年の総会以降から年末の一二月までの目撃報告と不思議な体験を披露しよう。

一九九八年十一月

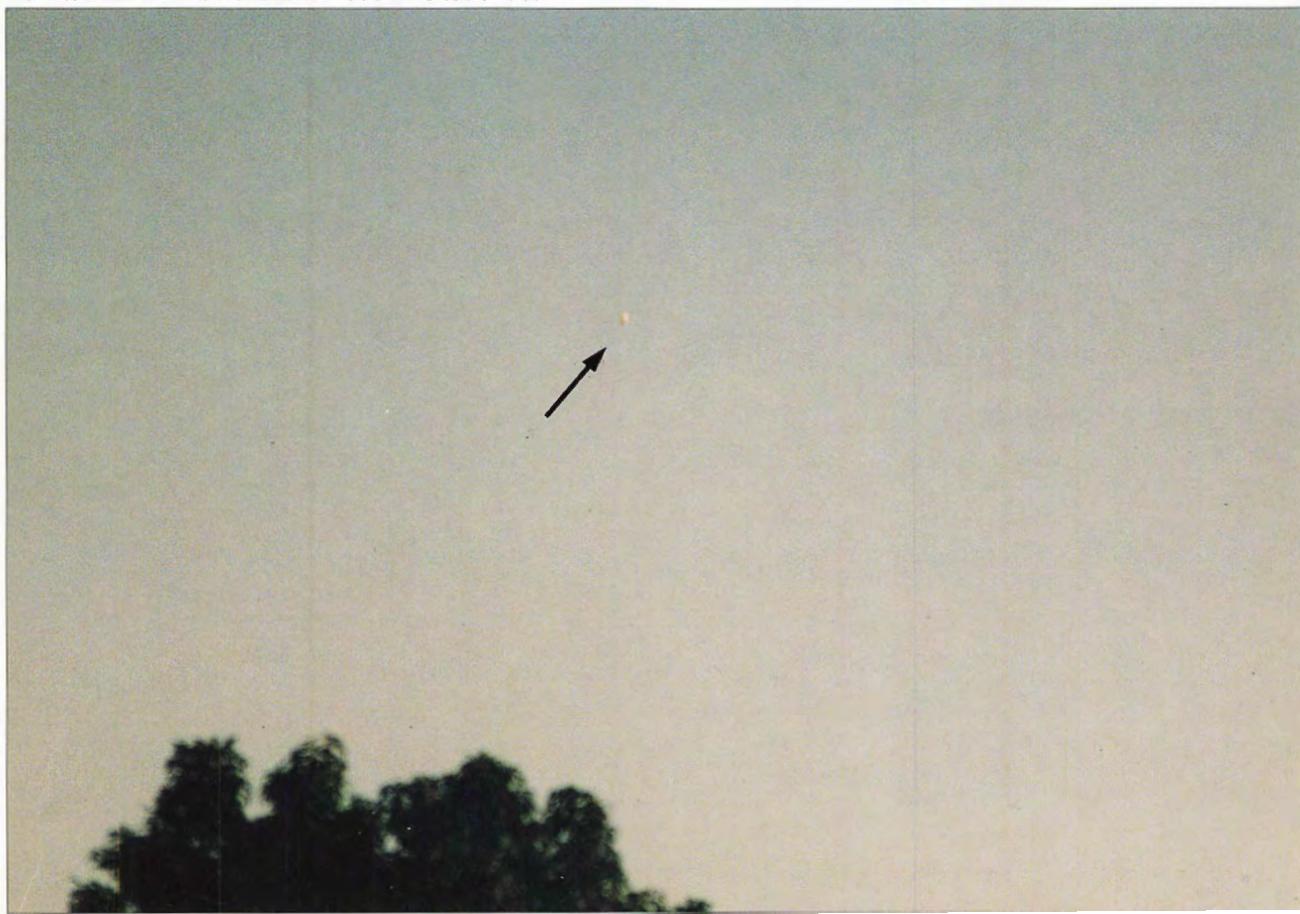
●一二日(木) 仕事の関係で長野県の伊那市へ出張した。この日の朝、目覚める直前に大変不思議な夢を見た。宿泊中の部屋の前に女性の異星人がやってくるという夢だ。その方は海王星か

ら来たのだという。何だか夢にしてはリアルすぎて(今、現実にドアーの前にいるような雰囲気が出てきて行って確かめられなかったのです)、少々抵抗?してベッドの中で大宇宙思念法を行なっていると、やはり宇宙的なフイーリングがやってくる。その後シャワーを浴び、朝食を食べてから自室へ戻ると、またも宇宙的なフイーリングが感じられてきた。そこで窓から外を見ると、東から南の方向にゆつくりと移動している一機の黒い円形の物体を見つけたのだ! 物体はやがて沸き上がる雲を突き抜けて、突然Uターンしてきたのでじっくりと見ていると、黒い表面の色がパツと白く反転?したのだ。また、鳥やヘリコプターその他の飛行機でもなさそう。こちらに向かってくると思いきや、またも雲の中に入ってから、その後は不思議にも出てくることはなかった。時計で確認すると目撃時間は七時五七分頃から約一分ほどであった。

このタイミングを図ったようなUFO出現は、あの夢の中に出てきた女性の異星人と関連しているように感じた。もしかしたら彼女が乗っていた?などと考えてみた。今改めて思い起こしても、明らかにこの宇宙的な夢やフイーリングという「感覚的な世界」とUFO出現という「結果の世界」がリンクしていることは間違いないと思う。

●翌一三日(金) 東京に戻った。会議

▼1998年10月11日、日本GAP総会翌日の観光を終えて江戸川区の葛西臨海公園駅に集合したとき突然出現した小型UFOに大騒ぎになった。物体は左から右に飛び、急激に右へ降下した。撮影/筆者(ニコンFE2、ニッコールズーム35mm-200mm、200mmで撮影)



の休憩時間である午後二時半頃に秋葉原、御茶ノ水方面を見ていると、太陽の左横に同じように鈍く光る円形の雲が浮かんでいた。この現象を不思議に思っていていたのだが、さらに注視していると、その光る雲の中から今度はずっと小さい光体が太陽の方向にボーッと飛び出したのだ！ 午後四時過ぎには、やはり御茶ノ水上空に浮かぶ不思議な雲を発見した。この付近一帯は以前からこのような現象が見られ、(本誌二二七号一九頁で紹介されている筆者が撮影した「逆U字のサイン雲」の写真をご参照下さい)それに合わせてか、UFOも度々出現している。これら一連の動きには重要な意味が含まれていることを後で知った。

●翌一四日(土) 所用で郷里である秋田へ出発。飛行機の出発時間まで余裕があったので東京月例セミナー会場付近を散策してみた。今回はじめて知ったのだが、芝公園のはずれには五世紀頃に造られた城内では最大級の前方後円墳の跡がある。そこへ登った後、大門を越え、歩道橋近くまで歩いていくと、突然前方に超低空でゆっくりと飛ぶブーメラン型のUFOが目に見えなくなったのだ！ その物体は船体を光らせながら(半透明というか、もやに包まれているという状態で)悠然と会場の方へ向かっているではないか！ 目撃時間はほんの数秒だったが、ブーメラン型であったこと、また、先

端である角の部分が丸く光っていたのが確認できた。こんな場所に、しかも超低空で出現するなんて！

●一七日(火) 夢の中でUFOとの一体感を得る。きれいな青空の中で。

●二八日(土) 家族で電車に乗って買い物に出かけた。二時半頃、百貨店の屋上でくつろいでいると、東の方向に光るUFOが出現した。三時一〇分頃にもまた同じ方向に出現した。続いて三時四五分頃、出現したと思われる付近をみながら歩きながら帰った。最寄りの駅に着き、ホームで電車を待っていると西の空から金色に輝きながら一機の楕円形のUFOがホーム近くの上空まで飛んできたのだ！ 美しい夕焼けの空に映えるUFOを妻と確認し、運良くカメラに収めることが出来た。後日鑑定していただいたところ紛れもないUFOであることがわかった。

●三〇日(月) 久保田先生と所用で都内の某所でお会いした後、なぜか宇宙船の映像が見えてきた。船体はピンク色の葉巻型母船と、円形の物体のクリアな映像だ。

一二月

●二日(水) 都内山の手線に乗っていると、ある駅で正面に座った特徴ある男性から不思議な映像が送られてきた。これがテレビシュー映像なのか？

●三日(木) 重要な夢。以前SBの方から頂いたある「もの」を久保田先生に解説しているという内容だった。

●六日(日) 東京本部月例セミナー当日にUFOが度々出現。まずは九時頃、私が自宅を出て駅へ向かっていると東の空にびっくりするほど強烈な光体(UFO)が出現した。その後、本部役員の大根田君が会場上空を飛ぶ二機の円盤を目撃した。やはり日本GAPの活動は注目されているのだ。

●九日(水) 夜、「SP精神世界」誌の取材を受けた。この記事掲載によって、多くの人が空を見上げるきっかけになるように、という願いをこめて。

●一〇日(木) 出張先の岡山で円盤と母船を目撃した。駅前でききなり円形のUFOを目撃した後、一時五〇分頃、葉巻型のUFOを、またも駅の近くで発見。半信半疑のまま新幹線に乗ってくつろいでいると急に空を見たくなくなった。すると進行方向のまだ遠い空にやはり葉巻型の一個の物体が確認できた。大きさと高度から考えて旅客機並みの大きさだと思ふのだが、それにしてもずいぶんゆっくりで新幹線がどんどん追いついてゆく。それにつれて胸がドキドキしてくるのがわかる。そうだ、その葉巻型の物体は飛んでいるのではなくて、滞空しているのだ！ そしてついに横並びになった時、はつきりと確認できたのだ。それは胴体に突起物もなく、乳白色をした葉巻型の大母船であったのだ。

●一二日(土) 埼玉支部主催のUFO観測会にオブザーバーとして参加した。

二時間の観測中、合計二回出現し、最後は全員で確認できた。同支部副代表である西川氏は輪郭のはつきりとしたUFOを見事に撮影した。

●翌一三日(日) 夢の中で母船と小型UFO二機が呼びかけによって出現。

●一六日(水) 会社と自宅のパソコンのデータが同じ日に消えてしまった。感情の使い方を考え直す上で、よい勉強になった一件であった。

●一九日(土) 午前一一時四五分頃、自宅玄関から白く棒状のUFOを目撃。妻にあらかじめ出現の予感を伝えていた矢先の目撃となった。

●二〇日(日) 第六回目となる川崎市の「久保田先生との質疑応答会」に出席。この日も久保田先生を祝福してか会場近くの上空に朝の一〇時半頃からUFOが出現。スタッフの数名が目撃したとの連絡が入る。また、質疑応答中の三時二十分にも窓の外にひし形のUFOが出現し、伊豆支部代表の高梨氏をはじめ、数名が同時に目撃し、一時会場は騒然となった。

●二六日(土) 夕方六時頃、自宅近くで娘と美しい上弦の月を見ていた。すると赤く恒常的に光る丸い物体がゆっくりと月の下を通過していった。

●二七日(日) 関西支部月例セミナーで講演を行なうタイトルは「UFO目撃日記・特別編」

●三〇日(水) 女性の異星婦人の夢を見た。(以下次号)

# ホワイトサンズUFO搭乗事件(6)

ダニエル・フライ／久保田八郎訳

〈前回までのあらまし〉

時は一九五〇年七月四日の夜、ダニエルフライはニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場で技師として働いていたが、空調不備のため、あまりの暑さに耐えられず、外の砂漠地帯へ散歩に出かけた。すると突然空中から不思議な物体が眼前に降下して着陸した。驚いている彼の耳に人間の声が響いて、地球の科学の誤りなどを英語で説明し始めた。フライは茫然として聞いている。この物体は別な太陽系から来た一種の宇宙船らしい。そのうち彼はそれに乗るようになると言われて空中へ飛び上がったが、そのうち信じられないような超高速でニューヨークを目ざして無音で飛行し始めたという。

この物語は事実そのものと認められて世界のUFO研究界に一大ショックを与えた。この記事は彼の生前に彼から翻訳権を与えられた訳者による連載の第六回目である。

## 生きるべきか死ぬべきか

戦争がいかに激しくて、いかに長く続こうと、そして勝利者が誰であろうとも、この戦争を引き起こした問題を解決するための方策はやはり出てこないでしょう。数カ月あるいは数年のあいだに、争った者たちは自分の傷から何かを取り戻し、再び戦うための用意をするでしょうね!

勝者はいつもそのような戦いから得るものはありませんし、敗者が何かを学ぶとしたら、自分の軍隊の最も悪い間違いを、未来の戦争において、いかにして避けるかということだけでしょう! 両者ともに、もしお互いに相手の言い分を容認したとしても、そのときに降りかかってくる損失や被害よりもはるかに多くの損失と被害に苦しむのです。

地球文明が破壊力の限定された単純な兵器だけを所有していた時代には、文明はそれを許容できたし、また大量暴力による無駄な行為が残存するのを

うまく処理してきました。幾百万の無知な人々は、ばからしい不当な死に直面し、忍耐強い数百年にわたる人類の努力が、たった一人の指導者のはかない気まぐれで一掃されるのです。人類と、少なくともその文明の残った部分はふたたび、見たところ終わりのない平和と安全への努力を始めています。

しかし全体破壊につながる兵器が存在するようにするときには、どんな文明も人種も、この地球の人々によって作り出された全滅型の兵器をも残すことはできないので、状況は変わります。今や地球人とその社会と文明に残された選択肢は一つしかありません。それは「生きるべきか、死ぬべきか」の選択です。選ぼうとするこの二者について地球人が充分に知っているならば、彼らを選ぶものに疑いはほとんどありません。私たちが彼らに明白にしてやるものがあるとすればこの点なのです。

## 平和を達成するには

私たちが集めた証拠のすべてによれば、

ば、一般的な地球市民は、ある周期のあいだ、平和のための用意をしていたことを示しています。愚鈍だと思われるような人が彼らの指導者になつていきます。政治力または経済力の貧困さが人々を混乱させ、誤った方向に導いているように思えます。彼ら指導者は、いつも自分たちのしている事について、うまく論理のこなかった誇張した弁解を行なっています。

数百世代のあいだ地球人は「平和、平和」と叫んできましたが、平和はありませんでした。彼らの最も知的で教育を受けた男女の多くは、平和のための研究に自分たちの一生をささげてきました。そのことはまったくバカらしいと思われるとしても、数百万の人々が周期的に起こる戦争において「すべての戦争を終わらせるために」戦って死んでゆきました。彼らはどんなに直接的な試みによっても平和は決して達成されないという単純な事実をまだ理解できていないようです。たとえ、どこを探せばよいかを誰かが知っているとしても、平和というものは掘ってゆ

けば得られるような黄金でもなく、またすぐに手に入る宝物でもありません。平和は単に人と人、人種と人種、国と国、それにすべての人々のあいだの完全な理解と、神として地球人に知られている宇宙に偏満する『力と英知』の副産物として自動的に得られるものなのです。

そのような理解が存在しているときには、平和を探すとか平和のために働く必要はありません。平和は自動的に存在します。しかしこのことが理解されるまでは、どんな努力も成功しないでしょう。

『完全な理解』は依然として地球人の達しているレベルを超えています。一方、理解のいくつかの位相は私たちの達しているレベルをも超えていますので、人が平和を見つけることができるといふことは、それが理解できるレベルに達しているときだけのことなのです。

一般的理解が人種または人種のグループによって達成される前に、納得されねばならないある特殊な段階があります。物理学の分野において地球の進んだ人種は、この段階を数世代前に踏み出しました。それが彼らの技術が急速に進んだ理由です。

しかし社会科学の分野では同じ歩みがなされませんでした。重要なものと考えられることさえありませんでした。その結果、私が前に述べたように、彼

らはどんな社会科学も持たず、後に続く人々のあいだに惑いと疑惑の念を起させるような違つた方向に導きがちである指導者たちの信念と態度に頼つた本質的な有意義な進歩さえできなかった社会技術だけしか持つていません。年々、国家の政治的、社会的な問題を処理したり、論争を解決したりする能力を持った国際機構を作る努力がなされました。しかしまだこれらの努力で本当に成功したものはなく、政治的な緊張をいくらかゆるめることができるときに達成されただけでした。

個々の政府はどれ一つとしてその機構に自分たちの権威者や最高の地位にある人を代表として送る気は全くなくしたが、つて、そのような機構には彼らの結論を履行させる本当の力は何もなく、事実、単なる諮問グループであり、その宣言は、それを命じられた人々に無視される可能性があり、また常に無視されているのです。」

(異星人アランのメッセージは終わる)

## コンタクトする相手の選び方

しばらく消えていたビデオスクリーンが、実験場の自動車置き場として使用されているように見える輸送車の群れに向かって活発に歩いて行く四〇代前半の普通に見える男を写しだした。

同時にこの宇宙船の精神分析家の一人の声が船内通話装置から聞こえてき

た。

「この人が私たちの基本的な要求に合致していると思われる人です。しかし安全に公然としたコンタクトを始める前に、まだ沢山の広範囲の分析が必要です。この人がこの実験場を去つて近くの町に車に乗って行くかとしてるのは私たちにとつて問題です。彼が行つてしまうと、他の多くの一般人の群れの中に入つてしまふからです。」

そこに行けば知的能力を組み合わせるものが多くあるので、私たちに必要な完全で頼りになるリーディング(テレパシーによる読み取り)は大変困難になるでしょう。

彼が戻つて来るのを待つとしたら、彼は相当に疲れて知的エネルギーは衰退しているでしょう。これは私たちの仕事をより困難なものにし、また結果も信頼できないものになつてしまふでしょう。

そこで、彼を今夜ここから去らせないうようにし、彼の部屋に戻るよう仕向けて、彼を一人にし、ゆつたりさせて、知的に充分な状態にさせるのがよいと思われまふ。

もちろん(アメリカの)倫理委員会の規則が、観察される個人の計画や行為を明白に妨害することを禁じていることを私たちは知っていますが、この場合、全人類の幸せと、たぶんその生命が私たちの任務の結果にかかつているかもしれない場合なので、古くて常

に無意味な言い訳であつた『終わり良ければ、すべて良し』という言葉を使わなければならない。さて、この人は町へ行く最終バスの出発時刻を発着所で聞くために、駐車場に近づいています。もしこのバスに乗れないようにすれば、彼はもはやこの基地を去る方法がないので、彼を容易に自分の場所に帰らせることができます。そうすれば、比較的短時間に私たちの分析を完全なものにすることができます。

もし彼がコンタクトに適當であることが分かれば、私たちは観測と通信装置を載せた小さな試料採取船を基地から離れた安全な場所に着陸させます。同時に彼を不快な暑い部屋から去らせて、冷たい空気の中を歩くように仕向けて、彼をコンタクトがなされる場所に着陸している船体の方へ導きます。

この接近方法にはもう一つの安全対策があります。何らかの理由で、彼の反応に対する私たちの判断が間違つており、彼がすぐにこのコンタクトを誰かに報告しようとするならば、この出来事の物的な証拠は何も残らず、また彼の仲間の誰かが彼の報告に重大な注目をすることは全くなくなるでしょう。」

連絡が終わるとビデオスクリーンは消えて、沈黙した。

「私たちは通信室へ行ったほうがよいでしょう」とベラが言った。「もし地

るのはあなたです」

## 第二章 ホワイトサンズ事件以後

### 仕事への熱意を失う

アランは数カ月で地球へやって来ると言った。そして、そのときにふたたびコンタクトをしようと言った。彼は本気で言ったのだろうか、それとも丁寧な別れの言葉だったのだろうか。

彼は私にたいして『彼らの援助に関して私の要求する最終的な決意』を聞かなかつた。私が要求すると彼は信じているのかもしれないし、または私が無能な人間だから要求しないのだと思っているのかもしれない。だが私には分かるわけもなく、ただ待つだけだった。

自分が何を待っているかが分からない場合は、待ち切れなくなるものだ。私は七月四日の夕方に発生した事件を公開することも他人に話すこともできなかった。

(訳注Ⅱ一九五〇年七月四日の夜、砂漠地帯でダニエル・フライが別な惑星から来た宇宙船に乗せられてニューヨーク上空までわずか三〇分で飛んで往復したという驚異的な出来事。詳細は本誌一三九号から連載されている)

それは一つには私がそうしなくない

の説明をすることになった。

しばらくして最初の一連の(ロケットの)テストを完了したので、私はカリフォルニアの自宅に帰った。そしてまた二回目のテストをするためにホワイトサンズに戻って来た。

私はもう異星人アランとその仲間からの連絡や、彼が地球に住むという計画について考えるのをあきらめた。彼らが始めることは信じがたく思われたし、時間の経過はそれをもっと困難にするようにさえ思われた。

私は自分が一時的な精神異常の犠牲になった人間であつて、その出来事や自分の上司や仕事仲間へ報告しなかつたことを喜ぶべきだと思つた。

火曜日の夕方、職員食堂を出て道路を横切り、私があるHビルの駐車場へ向かったとき、私は突然、午後のテストの後で主計測盤の電源スイッチを切り忘れたことを思いだした。

重大なミスではないが、いくつつかのアンプが通電されるので、オーバーヒートしたら真空管が一、二本切れるかもしれない。これは全く起こりそうもないことだが、パネルのスイッチを入れたままにしておくことは私のルールに反することなのだ。なぜ忘れてしまったのか理解できなかつた。

試験台までは遠かったが幸いに歩くことはなかつた。会社の車がHビルのそばに停車しており、キーもついていた。五分後に私は試験場に到着して車

を止め、計測室に向かって歩いていった。日が短くなってすでに暗くなっている。

### 異星人アランの声が聞こえる

計測室に着く前に、試験台の真上をうろついているように思えるおぼろげな光に私は注意をひかれた。

そんな位置にライトがないことは分かっていたし、しかもその光の大きさは三〇センチメートルがそれ以上の直径があるようだし、照明装置にしては薄暗いものである。

急いでその方へ歩きだしたとき、突然に思惑が私の心に入ってきた。アランの声がすぐそばに立っているかのよう聞こえてきたとき、すぐにそうだと確信した。

「そうですよ、ダン(訳注Ⅱダニエルの愛称)、あの光は我々のものです。今は試料採取船を使っていないので、小さな通信用アンプを送るのが一番よいと思つたんです。そんなものはないとでもできるんですけど、よいところもあるんですよ。私たちの会話でミスをなくしてくれるのです。」

ところで、あなたは計測盤のことで心配していましたが、あなたはそれをちゃんと切つたんです。あなたが誰にも言わずに、おしゃべりのためにここへ来てくれるように我々がしたんです」

しばらく私は応えることができな

た。心は混乱している。結局真実だつたではないか！ それとも幻覚であつて、次の攻撃がやってきたのか。ついに私は当を得ない推測をやめて自分に言い聞かせた。

「真実のようだ。そのとおりに私は対処する必要があるんだ」

「素晴らしい結論です」

アランは私の想念を聞き取ったかのように言う。

「それは事実だとあなたに確信させることができます。真実というものは、あなた方が事実として受け入れていられるものよりもはるかに多く存在するんです。」

しかし我々は正気や幻覚について話をするためにあなたを連れ出したのでありません。未来のことを話す必要があるんです。

私たちが最初に考えたよりも時間がかかっていますが、私の体を地球の環境に充分に適応させることと、地球の人間としてパスすることができるとは確かです。それを成功させるためには、地球にすでに住んでいる人が私のために提供してくれる沢山のものが必要なんです。

あなたがその人になつてくれるかどうかの最後の決心をしてもらう時が来んです。自由な選択権はあなたにあるし、拒否しても何の罰もありません。我々を援助する意思がなければ、すぐに自分の部屋に戻つてもよろしい。こ

のコンタクトや以前のコンタクトのすべての記憶はあなたの心から消されて、すべてが元通りになりますよ。我々が来る前より悪くなることはありませんよ。

一方、援助してくれるというのなら、それに耐えるのは容易ではないということに気づくかもしれません。あなたは誰にも感謝されない仕事をし、時間と労力とお金を何の益もなしに浪費するようになるでしょう。あなたの評判は少なくともその活動を始めたときに、自分にとつて苦痛になるでしょうし、その前よりもずっと悪い状態になることに気づくでしょう。

我々があなたに約束できるたった一つの報酬は、あなた自身の人類を救う活動を援助しているんだという内面的な満足感と、他の方法では決して得られない高い知識と理解を得るといふことだけなのです」

「最後の言葉はトリックだ」

「そこまではセールスマンのようではなかったんだがね。実際、あなたは私をこの仕事から思いとどまらせようとしてるように思えますよ。仲間と一緒に奉仕して知識・経験それに理解を得ることは、生きるための言い訳にすぎないと私は思っているんだ。あなたが我々の幸せのためだけにやるんだと納得させてくれるのなら協力者になりますよ」

「有難う」

と答えが返ってきた。

「私はあなたをおびけさせようとは思いませんが、『この世の報酬』などであなたを錯覚させようとは思っていません。我々はこの仕事で何かの報酬を得ようとか、最後にあなたが、我々がそうであったように、偉大で永続的な報酬は奉仕したことで得られる知識などと、あなたに教えるようとは考えていません。」

我々はね、あなたが人々の幸せのために働くんだということをもっともらしく言うことはできませんよ。少なくとも、始めは人々の生存のためだけに働くでしょう。もし彼らが生き延びたら幸せのために働くことができますが、もし生き延びなかつたら、幸せは意味がないんです」

「それで充分だ」

「あなたは何を望んでいるのか教えて下さい。できるものならそれをやろうじゃありませんか」

「あなたにできない事を言いませんよ」

とアランが言った。

「でも、そう思われるものもあるかもしれないけどね。我々の分析家はあなたの能力を正確に決定したし、ある部分ではあなたが考えているより高度なものがありますよ。しかし今、我々が欲しいものはそんなに困難なものでは

ありませんからね。

## 文字と数学のテキストを要求

最初に、あなたの話し言葉については私もよく使えるけれども、あなた方と交わることができるようになる前に、それを完全にマスターしなければならぬ。無学の者に読み書きを教えるために作られたテキストのコピーをもらえたら感謝しますよ。

それから高級でも低級でもよいから数学のテキストも使用できると思う。というのは、我々の数学はいくつかの重要な関係であなたの方のものとは違っているからです。我々の祖先はあなた方と同様に、最初に計算法を学んだときに一〇本の指を使ったんです。

我々があなたの方のやっているのと同じ一〇進法を基礎とした計算システムを開発したのはおきまりの結果だった。長い習慣から、その後、数世代の間、このシステムが使用され続けたが、一二進法を基礎としたシステムがもっとも簡単で有用で、本質的に可分性があることがわかつたんです。ご存じのとおり、一二は二、三、四、六で割り切れるが、一〇は二と五でしか割れません。結局、我々の人類はどうあつても昔の習慣を破ろうと決定し、一二進法による数体系を法律としてきめた数世代のあいだは数学的混乱の時代でした。

(以下次号)

# アダムスキー哲学で 奇跡的に助かった私

清水 南

筆者は、三年間日本GAP会員でアダムスキー哲学の熱意ある実践家。以下は昨年一二月の東京月例セミナーで行なった講演の素晴らしい体験報告。

みなさまこんにちは。私は現在山梨県に住んでおりまして、毎月こちらの東京月例会へ通って勉強させて頂いております。

私は昭和三〇年頃アダムスキーの本を読む機会がありまして、それからずっと関心を持ち続けておりました。

昭和五〇年に日本GAPを知りまして入会致しました。それからはおもに久保田先生の宇宙哲学の解説講義の録音テープを聞きながら山梨で学ばせて頂いていたのですが、昭和五九年からこちらの月例セミナーに出席して勉強させて頂いております。

そのうちに献本活動がGAPの中で起こりまして、それに参加して県内でアダムスキー全集とUFOコンタクトエッセイ誌の献本を行なっております。

そのうちに何度かUFOを目撃しました。大体に今まで一〇回ぐらいは見

たと思います。かなり低く降りて来たのを見たこともあります。このあいだの獅子座流星雨のときには山梨県で二度ばかりUFOが飛びました。

私が二度見たということは、日本全体では相当な数のUFOがプログラムを組んで出現したのではないかと思えます。飛ぶのも見たのですが、その他にはチカッと光るのもありました。

特に私のUFO目撃で印象に残っているのは、支部月例会の翌日の観光で一日に何回も出るのを見たという経験がありまして、しかも走っているバスの前へ出て低いところを飛んでみせてくれたということもありました。

その同じ型のUFOがその日に別な観光地に行ったら、またそこへ出現したものですからビデオに撮ったこともありました。これはハッキリと写りました。約一二秒間ですが水平に飛んだのです。私はあまり観測は多くしていませんのですが、熱心に観測される方もっと見ておられると思います。

## 「宇宙の意識」の導きに従う

最近私はアダムスキー哲学を実際に生活のなかで応用しております。人間は恵まれている面と試練を受けている面と二つあるわけですが、「宇宙の意識」が私を相当に導いてくれているという感じが最近強くなりました。今日はその関係するお話をいくつか致しま

しょう。

(編注)「宇宙の意識」というのは、宇宙全体を統制している創造主と同義。アダムスキーの造語。人間の側でおこす宇宙的な意識状態ではない)

私はアダムスキーを知ってから彼の考え方に非常に共鳴して素直に受け入れるようになりました。特に自然界を観察するということや生活も自然流に「宇宙の意識」の導きに従ってやるとよいと言っていますので、そのように心がけておりました。

あるとき私にとって一つの大きな出来事がありました。これはたまた私がバス会社に勤めておりましてバスの整備をやっておりました時の事です。

昔はバスの性能がよくないもので、修学旅行などの団体に二泊とか三泊の旅行をするときには整備員と一緒に乗って行ったわけです。

あるとき中学の修学旅行で私が添乗して行ったんです。たまたま二台のバスで行ったのですが、朝方営業所へ行って運転手さんが来るのを待っていたんです。一人の運転手さんが連絡の不徹底で遅れて来たんです。私はすでに部品とか道具類を良い車に積み込んで準備をととのえていたんです。

そうしたら運転手さんがまだ一人見えていないんです。それなら来るまでお茶でも飲んでいようと思ってバスから降りまして、営業所の中でお茶を飲んでいたので。

そのとき運転手さんに「今日はどっちの車に乗って行こうかね？」と聞いたんです。そうしたらある運転手さんが「この車に乗って行きなよ」と言うのです。たまたま私は道具類や部品などを別な車に積み込んだのですが、けっこう量があるんです。その車とは違う車のほうに運転手さんが「乗れ」と決めてくれたわけです。

私は道具類を積み込んだのですが、せっかくなので運転手さんがそう言ったものですから、やはりそれに従ったほうがよいと思ひまして道具類を積み替えたのです。

そして違う車に乗り込みましたら、やがて遅れて来た運転手さんが来まして、それから中学校へ向かったわけですからそこから出発しました。朝の四時ちよつと前でした。少し出発が遅れて出たんです。

学校を出て約三〇キロぐらい走った山梨県の西の韭崎という所があるんですが、そこへさしかかかったところ、前を走っていたバスが無免許のトラックと衝突事故を起こしまして、六人が死亡するという大変な事故が発生しました。中学生三人、学校の先生が二人、そして交代運転手一人が亡くなりました。これはNHKの朝のトップニュースで報道されたそうです。

たまたまぶつかった車は本来なら私がそれに乗る予定だったんです。その座席も運転手さんのすぐ後ろの席へ

私が乗るはずだったんです。ところが私は車を乗り換えたために命びろいをしたことになるのですが、交替運転手さんが私が乗るべき所へ座っていたためにその方が亡くなったのです。私はそのときに事故が起こってから考えたのですが、やはり「自然」に従ったということが非常に良かったということなのです。そんなことがありました。これもたぶん宇宙の意識が私に働きかけてくれたと思うんです。

### 望んでいた贈り物に喜ぶ

私はバス会社を停年退職してから鉄工所に勤めて溶接の仕事などをやっておりました。外で仕事をするときには現場へ行くのにトラックを使うのですが、あるときこれがパンクをしていて、タイヤを取り替えようと思っただけのところ、タイヤを取り替えるための道具がないんです。時間は迫っているし、タイヤ屋へ電話しようにもかなり遠いものですから、弱ったことになったなあと思っただけ、そこへちょうど同じ種類のトラックが来まして、その道具を積んでいたんです。そこでパツとタイヤを取り替えて出かけたというところもありました。

私は山梨県に住んでいてワインが沢山あるもんで、ワインが好きなんですから飲んだりするんです。

アメリカのクリントン大統領が晩餐

会で使ったというワインが実は山梨県のあるメーカーのワインでした。それは赤ワインです。そういうのが山梨県にあるということを知りましたが、それを望んでいたら、ある日、その品物がボンと私の所に届いたんです。これは不思議なことですが、娘の嫁ぎ先の家から、仲人さんがそのワインメーカーと知り合いでして、そのために届いたわけです。大切に飲ませて頂きました。これはそんなにびっくりするほど高いものではありません。一本が何万円もするものかと思っていました。調べてみたら意外安く一本二五〇〇円ぐらいのものでした。それでも美味しくて、自分の思った品物を思いもかけずに賞味させて頂いたということがありました。

やはり鉄工所で仕事をしていたときですが、二階へ上がったのです。そのときは鉄骨を組んでいるときです。組んである鉄骨の上に登ったところが、ボルトが一本かかってなくて、それがはずれて私が二階から落ちたんです。ところが、落ちた所が土手の傾斜面の所です。斜面を転がるように落ちたものです。それから、全然ケガをしなかったんです。これなども鉄骨の上に登って仕事をやるのだから、もつと注意しなくてははいけないよと「宇宙の意識」が教えてくれたのだらうと思っっています。不思議にどこも痛みはありませんでした。

(さらに清水氏は身辺にみだりな不

思議な出来事が発生した実例を語る)

### イメージ法とミラクルワードの応用

私は何回か健康診断を受けて人間ドックに入ったんです。そしていくつかクレームをつけられて、大変な事になったのかと思つたことがありました。あるときは頭の中に影があるということ、脳腫瘍の疑いがあると言われて、一カ月ぐらいして再検のために行つたんです。そのときにも私はイメージ法とかミラクルワードとかをしきりにやつたんです。そうしたら検査を受けたら不思議にも消えていたんです!

先生も首をかしげて以前のフィルムを持つてきて、ちゃんとこのとおり影があつた。見間違ひではないと言われまして。だから不思議だと言っておられました。そういうこともありまして。(編注)イメージ法とは、自分が完全な健康状態になった姿のイメージを心中に描き続ける方法。または望ましい物事を実現させようと思えば、すでに実現してしまつた光景を心中に描き続ける方法。ミラクルワードとは、何かの願望を実現させようとする場合、「すでに実現した。実現した」と何度も言葉で唱え続ける方法。イメージ法と一緒に実行すれば絶大な効果がある。これらの方法を日本GAPではむかしから指導して多数の会員が奇跡的に

願望を実現させている例がある。ただし応用するには個人差があるし、特にアダムスキーの宇宙的な哲学を理解していない人には無理があり、万人に適用されるとは限らないから、難病を癒すには何はおいても医師の治療を受けることをすすめたい)

私には一つの信念みたいなものがありまして、入院はしない、手術はしないという信念みたいなものを持つようになっているんです。

ところが一度入院しそうなところとがあります。溶接の仕事で二週間ぐらい強い電気を使ひまして、眼底出血が起こつたんです。それで目医者へ行つたんです。そうしたらその目医者では「もう少し様子を見ましよう」ということで二週間ばかり伸ばしたんです。そうしたら、だんだんひどくなりまして、視力が落ちてきたもんで、また行きましたら、すぐ入院して処置しなければダメだということでした。そして大きな病院へ紹介状を書いてくれて紹介してくれたんです。

これは私もついに入院しなければだめかと観念して支度して行つたんです。そこは女医さんがやつていたんです。そしたら「清水さん、これは入院しなくてもいいですよ」と言つて通院で治療することになりました。そして一週間ぐらい通いましたが、結局入院しなくてすみました。(以下清水氏の不思議な体験談が続くが都合により省略)

世の中は急速に変わろうとしている感じがしますが、人々の意識はなかなか頑迷なもので、よほどの大変化か驚異的な現象が現れない限りは変化してゆかないのではないかと気がします。そうした意味ではUFOの出現には大きな意味と働きかけがあります。

でも残念ながら、まだまだ私達の肉眼の能力には限界があり、第三の眼が開かなければ見えないのかもしれないと私は勝手に思っています。

本誌143号のアダムスキーの講演の中で、氏は創造主の働きと自然界の営みの美しさ、見事さを説いています。それに比べて人間は一方的な傲慢さで自分勝手に生き、創造主のみ心が私達のまわりにちりばめられていることを理解していません。そのことが、ひいては人間の本質の理解と可能性をも見失っていることを教えています。

私もその文章に共感しながら、UFOというハード的科学的構築・研究はひそかに行なわれても、アダムスキーが宇宙



## 最重要なアダムスキーの宇宙哲学

竹田美枝子

G·Adamski's Cosmic Philosophy  
Is The Most Important  
Guide · by Mieko Takeda

哲学という形式で解き明かしている、人間そのものに対するソフト面的説明が全く閉ざされている感じがしました。

確かに電子顕微鏡の発達により、細胞や遺伝子の研究は進みましたが、遺伝子の奥の記憶（幾世代にもわたる生まれ変わりや地球外での生活等）は必ずあるといわれるまでになりながらも、今の私達にはそれをかき見する方法が分からないのです。

でも宇宙的に科学が発達するということは、コンピューターのソフトを入れ変えるように、自分で自在に過去も未来も通しての記憶の世界に往来できるようなることではないでしょうか。

アダムスキーは講話の中で、花の美しさとその生命について、その中に創造主の意思が働いていることを明かしていますが、自然界のサイクルは何の主張もなく何の警告もありませんが、一瞬一瞬創造主の言葉や意識を表現しつづけているのではないかと思います。

そしてそんな無為の生命の営みこそ、各々の種子の中に記憶されている遺伝子のソフト面を順調に働かせるものであり、その記憶の働きこそ「宇宙の因」であり、内外のエネルギーの働きを導き出すものではないかと考えます。波動の研究はさまざまに進んでいると聞いていますが、さらに進展してゆくことでしょうか。時代の変化は地球規模で宇宙科学時代へと進んでいます。宗教精神が科学の領域にまで至り、完全な宇宙科学が地上に現われ

るとき、宗教の存在意義もなくなることでしよう。それはとても素晴らしいことです。波動科学の解明と宇宙法則の一致、そして人間の想念の習慣性の誤りからの脱却を助ける機器の発明等は期待をもって待たれる分野でもあります。宇宙科学の恩恵は私達の想像以上に素晴らしいものでしよう。宇宙ステーション等とはまた異なる現われ方をするのだと私は思います。

アダムスキーの宇宙哲学の教えは、そうした意味においてもとても貴重で、これからの時代の要請に応えるものでしょう。宇宙世界の実現という未来への人類が飛翔するためには、ハード面での科学の発展も不可欠です。

でも人間が最も創造主の生命とその可能性と英知と密接に連結しているのは意識であり精神のほうです。そのためにも想念・心という分野の働きと深さと大きさを今一度再確認してみることも大事なのではないのでしょうか。

これから先、どのような時代が訪れるのか見当もつきませんが、科学者だとか指導者といったスペシャルな人達によって未来が開かれることを期待して待つといった曖昧で人まかせの生き方で良いはずはありません。

私は自分自身が自分の中にある創造主のプログラムを少しずつ手前から順に読み進んでゆくという各自の選択が不可避な時代にきていると考えます。でもそれは言葉で言う以上に難しく、

何の手がかりもなしでは一歩も進めないものです。そのために私達は宗教の教えを学んだりしてきました。しかし宗教という觀念には枠があり、どうしても科学と一線を画した領域にあるという認識が先にあります。

私は究極の真理は科学面の証明を得るものであり、それは宗教の教える精神面と宇宙的根源への帰一精神等との一致をみるのだと思います。

そうしたなかにあつてアダムスキーの宇宙哲学は深い創造主への敬愛と回帰精神に満ちていながら、それを表に出さずに法則としての生命の働きを明確に説いています。それは言葉を交えればミクロからマクロにまで及ぶ宇宙生命論だと考えます。そしてその生命論が伝えることは、人間が地上の法則に縛られたまま、その本質である宇宙的生命の可能性と進化をみずから放棄してはいけないということであり、創造主のみ心は各自の心の中にあり、それを眠らせているのは自分達にほかならないということではないでしょうか。そのためにその自覚めをうながす方法を種々説き明かし、意識の宇宙的拡大の必要性を教えているのでしよう。

いろいろと述べましたが時代の変化に万全を尽くしておけば恐れることはないでしょう。そのためにもアダムスキーの宇宙哲学は最重要です。この哲学が広く世間に浸透することを願いつつ文を終わります。先生と会員の皆様の今後のご健闘を祈念致します。

# 私が目標とする 宇宙への道

渡辺康英

(前号からの続き)

それを考える発端になりましたのが、秋山眞人先生の書物にかかれていたこととございまして、一九九〇年に出版されました『語り明かそう超能力』という本があります。この五九頁にこんな文章が出ております。

「古代人が石を山頂に並べた技術を考えてみて下さい。よく古代人が信仰の対象としたピラミッド型の山などがそうですが、大きな石を二枚、隙間をわずかにあけて重ねてあるのがあるんです。音叉と同じ作用で、その隙間にはものすごく強い波動が出るんです。そこに人を通すとそれが治療になる、そんな記述があったはずなんです」

という記載がございまして、こういった巨石建造物、つまり岩を使ったデザインに特に関心を深めたわけです。

お手元に白黒のコピーがお配りしてありますが、現在ですとほとんどが神社のご神体というような形で信仰の空間として位置づけられてしまっていますけれども、たぶん昔はもつと違うような使い方もされていたのではないかと思いますが、非常に大きな巨石をわ

ずかに人が通れるぐらいの隙間をあけて、そういうような作り方をされた巨石が全国にまだいくつが残っているようです。ですから、こういったものについてその仕組みについて自分なりに個人的な興味として研究してゆきたいと考えております。それで、もし皆さん方が田舎の巨石建造物がまだ残っていることをご存じでしたら、私あてにお知らせ下さいれば助かります。

## 宇宙哲学の体現者になろう

今日はとりとめのないお話をさせて頂きましたけれど、このようなお話をさせて頂く機会を与えられました。本当に感謝致しております。これは社交辞令ではなくて、実際に心から感謝しております。

と申しますのは、さきほど申しましたように、私自身がどういうような歩み方をしているのかなというのを振り返る良い機会になりました。実際に宇宙哲学を実践して良い目にあつているなということも実感出来まし、また一〇代の後半から二〇代の前半にかけて、それがおそろかになったときには、そのツケというものが確実に二〇代の後半から三〇代の前半に現われております。自分自身でもちよつと怖くなるような因果関係があるのではないかというふうに分なりに実感できただけです。

ですから、これからは着実な歩み方をしたいと考えています。今日ご出席の方々につきましては、たぶん相当に宇宙哲学を毎日実践されているとは思いますが、もし私のように三日坊主でしたら、ぜひとも毎日続けられることをおすすすめ致します。本当に効果がめきめき現われて、充実して楽しい人生を送ることが出来ます。

最後になりましたけれども、この宇宙哲学を久保田先生からじかに教えて頂けることに対しまして、私が日本GAPに入会した年数は古いんですけど、四〇歳を過ぎてやっと今になって本当に貴重な体験をさせて頂いているんだな、本当に自分は恵まれているんだなということ、あらためて認識している次第でございます。

私自身は先ほど申しましたように、この目標に向かって宇宙哲学を実践して活用させながらこの目標を達成したいと考えております。また皆さんにおかれましては、それぞれ個人的な目標をいろいろとお持ちだと思しますので、そういったものを確実に達成してゆく上でも、この宇宙哲学を実践していつて、私たちが体現者になってゆくといいようなことが非常に大切なことだと考えております。以上でございます。どうも有難うございました。

講演を連載で掲載したものの、氏は非常に真摯な性格とGAP活動に対する凄じい熱意を持つ人で現在本部役員として活躍中。その後、昨年一二月に編者宛によこされた書簡の内容も良い参考になるので次に掲げた。

※

私は一昨年の日本GAPのイスラエル旅行後ずっとトレーニングを続けております。朝晩のミラクルワードの回復、新アダムスキー全集を読むこと、その要点をノートに記述すること、大宇宙思念法などを毎日実行しています。今年にはいつて全集一巻全部を一度読み、現在二度目に入つております。また五色の色カードを使って透視によりそれを当てる練習もしております。一回目は手の中の色を感じるようになって当てます。二回目に入る前に大宇宙思念法を行ないます。二回目の方が五パーセントほど正解率が高くなりました。トレーニングを続けて日常生活の中で少しずつテレパシーが働くことがあり、混雑する道路を事前に避けたり、必要な本が容易に入手できたりします。二者択一の場合、結果的に良い方を選ぶことができて助かっています。これからも一生トレーニングを続けて、できれば今生で過去世に関する「記憶の書」を読み取りたいと考えています。今後ともよろしくお願い致します。

## ★第一回埼玉支部大会盛況

去る三月二日に埼玉県浦和市で開催された第一回目の埼玉支部大会は、約六〇名の出席者を得て盛況裡に終了した。今回も久保田会長はきわめて元氣よく講演を行ない多大の感銘を与えた。関東圏の地の利を得たせいか東京方面からも大勢の会員の方々が見えて盛大な会合となった。今後第二回目の大会を遠からず企画するという。

## ★第二回福山支部大会せまる

福山支部大会は第一回目の大会の成功に続いてまたも五月二三日(日)に第二回目の大会を開催する。詳細は本誌四五頁に予告が出ているので近辺の都合のつく方は多数出席されたい。会場は第一回目と同じ「サンピア福山」でここには宿泊施設もあるために遠方から来る人には大変便利な施設。福山は広島市から離れた場所に位置するけれども人情豊かで親切な同支部の心あたたまるもてなしによつて素晴らしい雰囲気の会合が開かれるだろう。

## ★第一回関西支部大会も七月に開催

旧大阪支部にかわつて昨年設立された関西支部もいよいよ七月二五日(日)に堺市で第一回支部大会を開催する。同支部は昨年九月二七日に第一回の月例セミナーを開催し、東京より久保田会長が出張して講演と質疑応答を行なつていたので会員には違和感がない。今回も同じモダンな会場で開催するので実質的には第二回目の大会と

言えるだろう。

会場は「南大阪地域地場産業振興センター」と少し長いがこれは略称「じばしん南大阪」と呼ばれる。詳細は本誌四七頁を参照。予告員の案内に従つて各種の申込みをされたい。

今回は観光を大会前日の二四日に実施する予定で、場所は大阪港に面した一大遊園地・天保山ハーバービレッジ。ここは世界最大クラスの海遊館、外国風のマーケットプレイス、サントリミュージアム、コロンブスのサンタマリア号の復元観光船、地上高世界一の大観覧車等で賑わつている。時間の都合により今回は海遊館を主体に観光の予定。この大会は大盛況が予想される。

## ★今年度日本GAP総会

今年度の総会は一〇月一〇日(日・二連休の初日)に開催される。今回の講師は超能力者でコンタクトイとして名高い秋山眞人氏。素晴らしい話が展開するものと予想される。会場は昨年と同じ港区芝公園の東京タワー前の機会振興会館地下二階の大ホール。翌日一日の観光は新宿の超高層ビル都庁の頂上に昇り、展望台からUFO観測会を行ない、そのあとは渋谷の明治神宮に移動して再度UFO観測を続ける予定。当日の天候の状況によつては観光内容を変更するかもしれない。詳細予告は本誌次号に掲載の予定。

## ★本年度日本GAP海外研修旅行

既報のとおり本年度は一〇月一九日

より二四日までの六日間、「アダムスキーの大地を訪ねて」アメリカ西部の旅」と銘打って四泊六日の旅を実施する。最初にロサンゼルスに着陸後、市内観光を行ない、同夜は市内のホテルニューオータニに宿泊。

翌二日目はハリウッドのユニバーサル・スタジオを見学。ここは一大遊園地となつており、各種の映画撮影用セット、パチンコ・リアルティを体験させる施設等が充満し、興奮と感動の渦に巻き込まれる。広大な会場内を簡易電車で周遊する。午後はバスでカリフォルニア州を南下してリゾートで名高いパームスプリングズへ行き、夜はヒルトンホテル泊。

翌三日目はバスでデザートセンターの砂漠地帯へ入り、アダムスキーが金星人とコンタクトした地点で久保田会長が詳細に説明し、ここではばらくUFO観測を行なう。そのあとバスでパロマー山へ登り、アダムスキーの住居跡を見学後、山頂のパロマー天文台を見学。下山して加州最南端の大都市サンディエゴへ行き、市内観光。ヒルトンホテル泊。四日目はサンディエゴの世界最大の野外動物園を簡易電車で周遊し、ミシヨンベイ等を見てロサンゼルスへ引き返し同夜はホテルニューオータニ泊。

五日目は出発まで自由行動。バスで空港へ行き空路帰国の途につく。そして六日目の夕方成田空港着というスケ

ジュール。利用航空会社は世界で最も親切度が高いといわれるシンガポール航空。費用は四泊六日で総計二四万八千円。今年になってホテル代が値上がりしたという。ホテルはすべて超一流ホテルで、東京より添乗員としてスバルツーリストの小林社長が付き添い、現地では日本人の優秀なガイドさんが付き添う。特にデザートセンターとパロマー山では昔から現地を頻りに調査して精通している久保田会長が案内するから安心して旅行が出来る。すでに参加希望者は二〇名以上に達している。今年度は実現するものとみて会長以下本部役員は今から張り切つて計画を練つている。日本GAP海外研修旅行としてのアメリカ団体旅行はこれが最後なので多数参加されたい。来年度の旅行の訪問国は未定。

## ★今年度東京月例セミナーのテキスト

従来はテキストとして新アダムスキー全集第三巻「生命の科学」の解説講義を行なっていたが、これは六月で終了するので、七月より新テキストとして同全集第一巻「第二惑星からの地球訪問者」を用いることになった。解説は久保田会長で、今度は現地の写真等をスライドで映写しながら説明するから、きわめて理解が容易になる。特に今年度のアメリカ旅行参加予定者には絶好の参考になる。月例セミナー会場は従来どおり東京タワー前の機械振興会館地下三階の第二研修室。

## 〈宇宙〉

## ■大型望遠鏡が完成

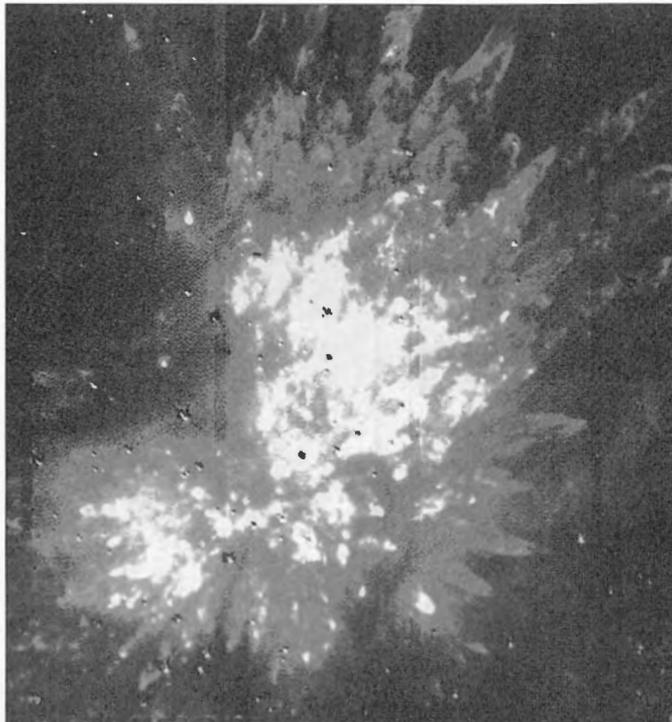
「すばる」ハワイに。一月二十九日に画像初公開

国立天文台が米ハワイ島のマウナケア山頂（標高四、二〇五メートル）直下に建設してきた大型天体望遠鏡「すばる」がほぼ完成し、日本時間一月二十九日、試験観測でとらえた画像を初公開する。心臓部の主鏡は直径八・二メートルと一枚鏡の光学望遠鏡としては世界最大。冥王星の外側にある暗い小天体群や遠い宇宙で銀河が誕生する様子の解明などにつながる。天文学者らが期待を寄せている。約四百億円を投じて九一年から建設してきた「すばる」は、富士山頂に置いたテニスボールを見分けられるほどの

光学性能が自慢。多数の鏡を組み合わせて見掛け上の直径が一〇メートルに達する大型望遠鏡を米国の大学などが運用しているが、一枚鏡の「すばる」は画像のひずみがほとんどなく、「地上の望遠鏡としては世界最高水準の性能」（同天文台）になる。

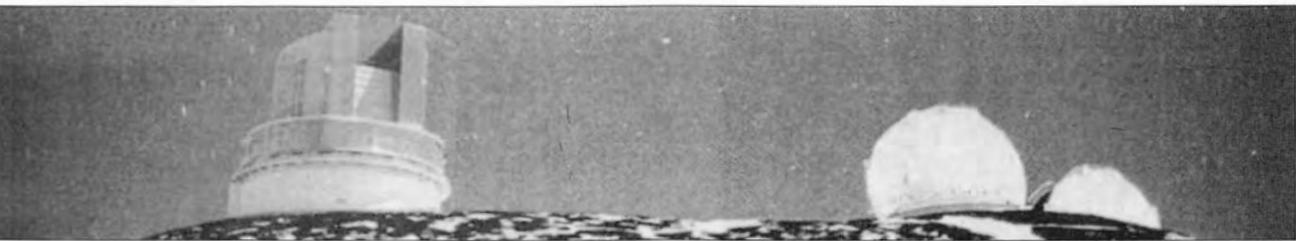
九八年末までに本体の工事が完了し、年明けから望遠鏡を実際の天体に向けた機器の調整が大詰めを迎えている。今年夏までに、可視光から赤外線まで天体の種類に応じて使い分ける七種類の光学機器の最終調整を終え、二〇〇〇年から本格的な観測を始める。

国立天文台の計画では、冥王星の外側に広がる「カイパーベルト」と呼ぶ小天体の集まりに照準を当て、太陽系の起源



▲「すばる」がとらえた約1500光年離れたオリオン星雲での星の誕生の瞬間。ゆるやかな発生による熱風が四方八方に流れ出ている（原画はカラー）。（1月30日付読売夕刊より。国立天文台提供）

▼ハワイ島マウナケア山頂の「すばる」望遠鏡を設置した日本の国立天文台（左端）。右はアメリカの天文台。（1月30日付朝日朝刊より）



を深る研究などに「すばる」を役立てる考え。二〇〇〇年末からは国際共同利用施設として海外の天文学者にも施設を開放する。（一・二五日程）

（編注）カイパーベルトは、太陽光が太陽系の果てまで届いて二個の惑星全部に光と熱を与える原理をアダムスキーが説明した三種類のアステロイド帯の三番目に相当するものと思われる。詳細は新アダムスキー全集第六巻「UFOの謎」三四頁に出ている）

■「すばる」八メートルのひとみ初受光望遠鏡黄金期の新星に

日本の天文学者が待ちに待っていた本格的な巨大天文学望遠鏡「すばる」が一月二十八日（日本時間二十九日）、「ファーストライト」（初受光）の画像とともにデビューした。世界の天文学会ではいま、米国のファッフル宇宙望遠鏡に加え、地上の大型望遠鏡が続々登場しつつあり、「ガリレオ以来最も刺激的」ともいわれる時代に入ろうとしている。「すばる」は、今回の画像でライバルと並ぶ性能を実証し、黄金時代の中心選手に躍り出た。

「すばる」は、国立天文台が米ハワイ島のマウナケア山頂の直下、標高四、一三九メートルに建設した一枚鏡としては世界最大の口径八・二メートルで、紫外線から目に見える光、赤外線までの広い範囲の波長で天体を観測できる。

日本の光学望遠鏡はこれまで、一九六〇年に岡山にできた口径二メートルのものが最大だった。世界の大勢が四メートル、そして八メートルの時代へと移ったのに対し、日本は構想から約二〇年かけ八メートルへと一挙に飛躍した。

世界の天文学はいま大望遠鏡の時代を

迎えている。口径八一〇メートル級が同じマウナケア山頂に「すばる」を含めて四台、チリに五台。宇宙ではハッブルが活躍中だ。(一・三〇朝、毎、読)

### ■銀河、宇宙に二五〇個 推測の一・五倍、「幽霊」多数か

#### ハッブル宇宙望遠鏡観測

米航空宇宙局(NASA)のハッブル宇宙望遠鏡の観測をもとに見積ると、宇宙全体の銀河の数は、これまで推測されていた八〇〇億個より六割近く多い約一二五〇億個になるとする宇宙望遠鏡研究チームの研究結果が、米テキサス州オースティンで開かれている米天文学会で一月七日発表された。別の研究チームは、ほとんど目に見えない暗黒物質でできている「幽霊銀河」が、明るい銀河よりもたくさんあるとの結果をこの学会で発表しており、多くはこういう幽霊銀河とみられている。

宇宙望遠鏡研究所のハリ・ファアソン博士らは、南半球の空を観測した。その結果をもとに宇宙全体の銀河の数を推測した。

一方、ハワイ大学のジョン・コーメンディ博士らは四三個の銀河の観測で、暗い銀河ほど暗黒物質と呼ばれる見えない物質が多く含まれていることを突き止めた。明るい銀河では暗黒物質が五〇パーセント、暗い銀河では見えない部分が九〇パーセント以上を占めるといふ。

(一・九朝)

### ■火星の北極くぼみに氷

#### 米航空宇宙局(NASA)の火星探査機「マーズ・グローバル・サーベイヤー」の観測データから、火星の北極の地形は、周辺地域よりくぼんでいて、周囲

から流れ込んだ水が氷となって極地を覆っている可能性が高いことを、米マサチューセッツ工科大のマリア・ズバー博士らが解明。九八年二月六日、米サンフランシスコで開かれた米国地球物理連合総会で発表した。

ズバー博士らは、レーザー観測装置による火星表面の測定データから、従来の百倍程度の精度で北極域の地形図を作製。北極域がくぼ地で、氷の量もこれまでの想定量よりもかなり少なく、グリーンランドの氷の量の半分以下と推定した。火星ではこれまで、米火星探査機「パイキング」の観測結果などから、極地方を覆う厚い氷から解け出した水が、赤道に向かって流れ出ていた、と考えられていた。

しかしズバー博士は、北極域の氷のもとになった水は、周辺から流れ込んできた可能性が高いと指摘しており、火星の気候や水の循環、地形の変化を探る上で大きな影響を与えそうだ。

(九八・一二・七読・夕)

### ■国際宇宙ステーション第1弾打ち上げ

日米欧露加が参加する国際宇宙ステーション建設に向け、最初の構造物となる基本機能棟が、九八年一月二〇日午前一時四〇分、カザフスタンのバイコヌール宇宙基地から打ち上げられた。同棟は予定の衛星軌道に入り、打ち上げは成功、二〇〇四年の完成を目指す計画がスタートした。

打ち上げられたのは、宇宙ステーションの姿勢を制御し、今後、ステーション建設の骨格となる基本機能棟「ザリヤー(日の出)」で、米ボーイング社との契約でロシア国家宇宙センターが建設した。

打ち上げはロシアの三段式ロケット「プロトン」を使って行なわれた。同棟は打ち上げから九分四八秒後に軌道に入り、さらにその五分後、エネルギーを取り入れるための太陽電池パネルを開いた。ロシア宇宙庁によると、同棟は今後、地上から最高五〇〇キロ、最低三五〇キロの高度で地球を周回する。二三月には第二弾として米國が「ノード」と呼ばれる連結部を打ち上げ、九九年七月にはロシアが居住棟を打ち上げる。早ければ二〇〇〇年一月に当乗員が乗組み、完成までに四〇数回の打ち上げが予定されている。建設総額は六〇〇億〜九〇〇億ドルといわれる巨大プロジェクトだ。

(九八・一一・二二毎)

### ■未知の天体? 人工衛星?

#### 目撃者は言う「湖光り魚鱗」

#### 鳥取県東郷町で九八年一月一五日前

この現象の目撃者は倉吉市内の四八歳の男性と分り、佐治村高山のさじアストロパーク・佐治天文台(香西洋樹台長)が調査中の流星雨とみられる天文現象がなぞを呼んでいる。不明だった目撃者は見つけたが、同天文台の一七日までの分析で当初考えられていた獅子座流星群との関連性は低下。代わりに雄牛座流星群説、未知の流星群説、人工衛星説などが浮上している。

この目撃者は倉吉市の四八歳の男性と分り、同天文台の研究員が現地で聞き取り調査を実施。一月一五日の午前〇時前後、場所は東郷町旭の東郷湖畔。

この男性は「三秒から五秒ぐらいの出来事、東西五度、南北一〇度ほどの狭い範囲を、数え切れないほどの流星が上

から下にゆっくりと流れた。それぞれが平行に流れたので、花火のナイアガラのような感じ。色はオレンジ色や赤色で、明るさは一等星より明るく、湖面や対岸の建物の屋根が赤く光って魚や鳥が急に騒いだ」と話している。

(九八・一一・一八日本海。上田幸男提供)

### 〈医学〉

#### ■がん細胞自滅させる遺伝子群突き止めるー英ブルネイ大

英ブルネイ大の研究チームは一月六日、ヒトの乳がん細胞の増殖をストップする能力を持つ遺伝子群が存在すると発表した。無限に増殖する不死身のがん細胞を自滅させるもので、遺伝子群が分離・特定されれば、がんの遺伝子治療に役立つことが期待される。研究成果は「米国立がん研究所ジャーナル」に掲載された。研究チームは、ヒトの乳がんの培養細胞に、ヒトのさまざまな染色体を混ぜ、経過を調べた。その結果、三番染色体を入れた乳がん細胞のほとんど全部が分裂をやめることが分かった。

これまでの研究で、がん細胞が細胞の老化を防ぐテロメラーゼという酵素を持ち、この酵素ががん細胞を不死化させることが判明している。研究チームが三番染色体を混ぜた乳がん細胞の遺伝子を解析したところ、テロメラーゼの働きが強く抑制されていた。(一・一七毎夕)

### ■「キレイやすい」人は亜鉛が足りない?

#### 静岡県立大マウス実験で確認

最近の若者たちの「キレイ」。行動と体内の亜鉛不足は深く関係がある? 静岡県立大薬学部放射薬品学教室脳機能研究グループのマウス実験で、体に必

要な亜鉛が不足すると、他者を排除しようとする攻撃性が高まることが確認された。七月に開かれる日本微量元素学会で一部発表される予定だが、現代人の食生活と感情の変化の解明に一石を投じよう。

実験は、亜鉛をほとんど含まない餌を与えている数十匹のマウスの部屋に、亜鉛を含んだ通常の餌を与えているマウスを侵入させる方法をとった。亜鉛不足のマウスは二週間で、半数が侵入したマウスを攻撃するようになった。一月月続くと八割が、侵入したマウスに覆いかぶさったり、噛みついたりして、追い出そうとする行動が見られた。

一方、亜鉛を含んだ通常の餌を与えているマウスの部屋では、別のマウスを侵入させても八〜九割は攻撃せず、共存していた。

哺乳動物の脳には、記憶や学習をつかさどる海馬といわれる部位があり、そばにある扁桃核と連携して感情の起伏をつかさどるといわれる。マウスの体内に入った亜鉛は、海馬と扁桃核に集中していることが分かった。また攻撃行動を見せたマウスは、海馬の亜鉛濃度が通常値(約10ppm)よりも二〇パーセント低かった。

これらの実験から、同グループの武田厚司講師は、「人間についても亜鉛の働きが、いわゆる『キル』行動と密接な関係があると思われる。インスタント食品は、製造段階や調理の際に亜鉛など必要な微量元素が失われやすく、含まれる保存料もこれらの吸収を妨げることがある。潜在的に亜鉛不足の人が多いのではないかと指摘している。

亜鉛は極端に不足すると皮膚炎、脱毛、味覚障害になるため、世界保健機関(WHO)では成人男性で一日約一五ミリグラムの摂取が必要と定めている。力キなど海産物やチーズなど乳製品に多く含まれる。(二・一七毎夕)

### ■緑茶やっぱりガンに効く?

八戸高専助教教授・DNA損傷を軽減  
たばこを吸うと肺や胃のDNA(遺伝子の本体)に傷がつき、発がん原因の一つとなるが、事前に緑茶を飲むと損傷が少なくなる。ことが八戸工業高等専門学校(青森県八戸市)の佐々木有助教授(毒性学)らの実験で分かった。お茶がたばこの害を減らすことを示す結果として注目されそう。大阪市で開かれる日本環境変異原学会で二月二五日に発表する。

たばこの煙でいっぱいにした箱にマウスを一分間閉じ込め、一分後に解剖して肺と胃の細胞の核内に含まれるDNAを調べた。

核に電場をかけると、傷ついたDNAほど核の周囲に広がる。計測したところ、肺のDNAは核から約一〇〇〇分の二〇ミリ、胃では同三六ミリまで広がった。これに対し、たばこの煙を吸わせない場合には、肺で同二〜四ミリ、胃で同八〜九ミリとあまり広がらず、喫煙でDNAが傷つくことがはっきりした。

また、煙を吸う六時間前にお茶を飲ませると、肺、胃ともにDNAの広がり減り、胃では煙との場合と同程度になった。直前にお茶を飲ませた場合には、肺への効果はなかったものの、胃での広がり減少した。

一方、人間での効果を推定するため、二〇歳の女子学生の尿を使った検査も実

施。たばこを一日一箱吸う三人に、飲み物として二日間水だけを与えた場合と、お茶だけを与えた場合の尿中に含まれる変異を起す物質を分析した。

その結果、お茶だけ与えた方が、尿中の物質が突然変異を起す力が弱く、たばこを吸わない人の場合と大差がなかった。また、たばこを吸わない女子学生では、変異を起す力は水とお茶のどちらを飲ませても変わらず、たばこを吸う学生より少なかった。

佐々木助教教授は「喫煙を勧めるつもりはないが、我々はたばこのほかにDNAを傷つけるさまざまな物質にさらされている。その害を抑える方法の一つに緑茶が役立つのではないかと話している。(日付不詳。毎)

■肺がんに関連する臨床試験  
国内初―男性患者に臨床試験  
岡山大病院

国内初の肺がん遺伝子治療の臨床試験が三月一日、岡山大医学部付属病院で始まった。関西在住の男性患者(五七)のがん病巣に、がん細胞を自滅させる働きを持つ遺伝子を直接注入する方法で、六カ月をメドに毎月一回繰り返す行なう。

今後、東京慈恵医大、東北大加齢医学研究所と共同で、計二四人の患者について実施して効果や安全性を確認する計画。

国内の遺伝子治療は、北海道大医学部付属病院、東大医科学研究所付属病院に続いて三例目。

岡山大ではこの日午前八時四〇分から、医学部第一外科(田中紀章教授)のスタッフが、患者に全身麻酔をかけて治療を開始。カゼウイルスの一種、アデノウイルスを無害化してベクター(運び役)と

して使い、がん抑制遺伝子「P53」を組み込んだベクター液を三〇〇を気管支分岐にある患者のがん病巣に、気管支内視鏡の管を使って注入した。

この日の治療は、午前一〇時前に終了。正常なP53は、がん細胞の増殖を防ぎ、自滅させる働きを持つため、しゅようを縮小させ、進行を食い止めることが期待される。肺がんは国内のがん死因のトップを占め、末期には有効な治療法がないだけに、肺がんの新治療法開発の一步としても期待が高まっている。(三・二毎夕)

■二日一杯のワインで肺がんリスク半減  
一日にグラス二杯のワインで肺がんになる危険性が半減――。

デンマークの日報紙イラント・ポステンは、同国の防疫研究所によるこんな調査結果を報じた。

同研究所が一九六四年から九三年にかけて二万八〇〇〇人の男女を対象に実施した結果によると、週にグラス一杯から三杯のワインを飲むと肺がんになる危険性は二五パーセント、グラス一杯以上なら五〇パーセントも低くなること分かった。ビールや蒸留酒を飲む人は、肺がんになる確率が五〇パーセントも高かった。

調査に当たった研究者は「ワインを飲む人は、がんを抑制する果物や野菜を比較的多く摂取する傾向があるためかもしれない」と分析している。

ただし、ヘビースモーカーの場合、たとえワインを飲んでいても肺がんになる確率は非喫煙者より一五倍高かったという。(三・二毎夕)

●永井俊一

# UFOにまつわる 不思議な体験

私が住んでいる所は新潟県の吉田町というところです。この町は新潟市から車で約三〇分の所で、一歩足を伸ばせば観光地の弥彦はすぐ隣にあり、春秋の観光シーズンには関東方面からの観光客でごったがえします。

この町に住むようになってから一七年あまりが経過しました。それ以前はここから車で一五分の所にある三条市という所に住んでおりました。私のあまりにも衝撃的なUFO目撃は、この三条市に住んでいた時に起こったのです。

## 強烈な土星型UFOの出現

今から二〇年程前の六月頃。時刻は夕方の六時三〇分頃です。三条市内を五十嵐川という川が流れていて、いくつかの橋がかけてられています。その川が信濃川と合流する地点、正確には信濃川に瑞雲橋という橋がかけてられています。その橋を車で走行中にUFOが現れました。この橋の上から西を見ると、弥彦山の山並みが眺望できます。

それは手を伸ばせば届くのではないかなと思えるほどのものすごい至近距離。橋の上を走行していて、助手席側に見

えたのですが、左側を見上げるというのではなく、首を左側に向けたら、そこにいたというほどの距離です。

直径三〇メートル以上はあろうかと思える巨大なUFOが、木の葉運動とジグザグ飛行をくり返しているのです。色はオレンジ色というよりは、真っ赤といってもよい色です。それはもう強烈な印象でした。

「こんなに近くまで降りてきましたよ。どうぞじっくり見て下さい」というようなフィードバック。中に人間が乗っているという、はっきりとしたフィードバック。

あのUFOはこの惑星から、何の目的でやって来たのだろうか。「それにしても、あれだけの至近距離だったのだから、私以外にも目撃者が存在するはずだ。でも何のニュースにもならないなあ」などと当時は考えたりしましたが、とにかく感情が高ぶり

これは後年日本GAP会員になってから分かったことですが、私が目撃したUFOは、一九八六年に降旗和彦氏が東京の八王子で撮影された土星型のスカウトシップそのものでした。(編注)この写真は本誌139号の表紙に掲載

早速そのことを友人に話しましたが、全く信じてくれません。あげくのはてには「お前が見たものは雲だったのではないか」と言い出す始末です。

これは話しても無駄なのだ。話さない方がいいんだ。これ以上話すと友人との関係にヒビが入ってしまうと強く思い、それからは人に話すのはもうやめようと思いました。

当時の私は家庭の事情で大学進学をあきらめて、父がやっていた小さな会社を手伝う毎日でした。しかし業績は悪化する一方で、資金繰りは苦しくなるばかりです。

なぜ「お金」というものが存在するのだろうか。「お金」のない世界へ行きたい。この世界はどこへ行っても「お金」がついて回るし、それは無理だ。もしそのような世界があるとしたら、それは地球以外の他の惑星しか考えられないだろう。

それと、私は物を所有することがとても嫌で、おかしなことに思えていました。つまり、この土地は僕のもので、この家は私のものだ、という考え方をとてもいやらしいものと感じていました。

ああ、お金のない世界。物を所有することのない世界。そんな世界へ行きたい。そしてそのような世界は間違いなく存在するはずだ。それは地球以外の他の惑星……。

そんなことばかり考える毎日。そしてそんな時のUFO目撃だったので。そのような私の信念に答えてくれたのが、あの土星型スカウトシップだったと思えるのです。

「あなたが考えているような世界は間違いなく存在します。ですから勇氣と希望を持って進んで下さい」というような信念が宇宙船から届いたような気がしました。

## 不思議な二人の男性の出現と消滅

しかしその後の私は、さして宇宙的な信念を持つわけではなく、ただ日々の生活に追われ続けていました。転職、結婚、転居、借入金の返済等々。

とにかく生活に追われてあつというまに一〇数年が経過しました。それでも苦勞の甲斐あって借入金の返済もほぼ終わり、二人の子供も成長して、やっと生活にゆとりが生じ始めたのが今から五年ほど前です。

その日は妻と二人の子供と四人で新潟市へ遊びに来ていました。午後三時頃になって子供達がフライドチキンを買って帰ろうというので、その店に行きました。

いつもは私も店の中へ入って一緒に買ったのですが、なぜかその時に限って私一人で店の前で待っていました。

すると二人の男性外人が私の方に向かって歩いて来るのです。

「あれ、私に何か用があるのかな。でも外国人に知り合いなにかいしないなあ」と思いながら二人の外人を見つめていました。(四四頁へ続く)



米コロラド州デンヴァーのアイゼンハワート  
ンネルの入口の所で、ジョー・クロウワー氏  
が撮影したUFO。白い煙のようなものを右  
上方に流している。(本人より掲載許可済)

『人間は自分にとつて楽しいことしかしていない』

昨年末に月刊誌『精神世界』を創刊させるなど、ここに来てその超人的な活躍にさらに磨きがかかった感のある秋山眞人氏が、本誌のためにまたもや興味深い情報を提供してくれた。氏は近々異星人関連の対談形式の本を出版する予定だというが、この記事はおもにその本の原稿からの抜粋。インタビュアーは日本GAP会員で翻訳家の坂本貢一氏。

異星人は人情で来ている

問 異星人が地球に来ている最大の目的というのは何なんでしょうね？

秋 まあ、いてもたってもいられない、というところじゃないでしょうか。それで僕はよく「異星人は人情で来ている」って言うんですけどね。

問 なるほど、人情ですか。おもしろい表現ですね。

秋 ええ。彼らにしてみれば、地球人というのとはときどき、喜んで死のうと

している生き物に見えたりするわけですよ。「うん、これはおもしろい」なんて楽しそうに言いながら、毒を飲むとうとしていたりとかね（笑い）。そんなところを見たら、「ねえ、そんなことやめたら」といったことを当然言いたくなるでしょう。

問 そうですね。

秋 そしてもちろん、かつての一時期は、やはり原爆とか水爆とか、いわゆる放射性爆発物というものが大問題だったわけです。あれをやり始めたら、「やめたほうがいいよ」って当然言いたくなりますよ。その悪影響が地球を超えてかなり広範囲に及ぶわけですし、地球自体にとつてはもちろん、とんでもなく危険なわけですから。

問 それも当然あつたわけですね。

秋 ええ、そうです。でもそこで地球の物理学者たちは「その程度の爆発なら宇宙空間ではしょっちゅう起きてることじゃないか」なんて言うわけです。でも人為的に起こされたものとは自然に発生するものとはまるっきり性質が違います。人為的なものの方がはるかに破壊的なんです。異星人た

ちには、その違いがハッキリとわかるわけです。それで実は原爆から発生するバイブレーションは、彼らの目には、黒と黄色を練り合わせたような汚い色に見えるらしいんですね。

問 そんな色に見えるわけですか。確かに汚そうな色ですね（笑い）。

秋 ええ、そうなんです（笑い）。そこで彼らは「こんな狭い星で、宇宙船で外に出ることもできないでいる連中が、こんなことをして、いったい何を考えているんだろう？」というふうに思うわけですよ（笑い）。

問 なるほどね（笑い）。

膨大な軍事費は恐れのお象徴

秋 それで、そもそも彼らは軍事費に莫大なお金を費やす地球人の性に、哀れみという大きな同情を寄せているんです。実際、世界中の軍事費の四分の一を削減してそれを環境保護に回したならば、それだけで地球の環境は一〇年間は安泰なんです。これ以上環境を悪くすることなく地球を維持できるんです。でも我々はそうしようとは

しない。それで異星人たちの目には、そんな性を持つ地球人がかわいそうに映るわけです。

問 なるほど、わかる気がしますね。

秋 ええ、ですから異星人は、やんわりと言うわけです。「恐れなんて、なくせばいいのに。よけいな恐れさえな

くなればねえ」とね。

問 恐れ、ですか？

秋 ええ。なぜそう言うかというところ、よけいな恐れは闘争心を生み出すからなんです。怖いから「攻撃しちゃおう」となるわけで、この世界の軍事費というのは我々の恐れのお象徴なわけです。それがとんでもない金額でして、それを支払っているのは我々なんです。税金の一部として。

問 なるほど、いや本当にそうですね。

異星人が地球人のためにできること

秋 それで実はこの前、防衛大学のあの先生が面白いことを言っていました。「戦争なんてあつて当たり前じゃないか。戦争をやらなくなるということとは、地球人にとつては生き甲斐を失ってしまうようなものだ」って言うんです。それはそれで一理あるなと思いましたが、

問 どういうことですか？

秋 確かに地球人は必要だから戦争をやっているわけですよ。戦争は我々が必要だと考えてイメージした結果なんです。我々は戦争を必要として、自らの意志でそれを選択しているんです。

問 ええ、確かに。

秋 だから異星人は、それに直接は干渉しないんです。つまり不干渉の法則、「どんな天体に住む人たちの未来も、彼ら自身の意志で決定させねばならな

## ■秋山眞人が語る

# 異星人・カルマ・転生・ヒーリング

坂本貢一

Space People, Karma, Reincarnation and Healing Explained

by Makoto Akiyama

by Koichi Sakamoto

い」という宇宙の法則に逆らうことは異星人たちにもできないわけです。彼らにできることは、戦争の原因の原因である恐れに費やしているエネルギーを少し他の方向に向けようと、地球人が自主的に選択し直すように微妙にし向けること。そのあたりまでなんです。問 なるほどね。

秋 要するに、異星人が彼らのカルマに悪影響を与えない範囲内で地球人に対してできることというのは、そのあたりまでなんです。たとえば、もし彼らが「戦争をやめろ」って言ってきたとしたら、我々は「戦争をやっている明確な理由がある」って言うわけです。それだと、「やめろ」「やめない」の対立構造を生み出すことになってしまう。そうすると、それがあつ種の悪いカルマを創り出すことにもなりかねませんよね。

問 確かにそうですね。

秋 また、「怖がるのをやめろんだ」と言われたとしても、我々は「いや、我々には怖がってきた歴史があるんだ」と言い返すわけです。ですから、我々が戦争をやめるためには、怖がるということがいかに無益なことであるかに我々自身が気づいて、自らの意志で恐れという習慣を破棄して、恐れを具現化して戦争を引き起こすという行動を放棄する生き物に進化するしかないんです。そしてそれを異星人たちはやんわりと促しているわけです。

問 なるほどね。よくわかります。秋 というように、戦争一つをとって問題も複雑なわけですよ。他にも我々の周りには無数の問題があるわけです。我々はもう、ただカルマのままに生きていますからね、いろんな意味で。

### カルマの法則は贅沢な法則

問 それはつまり、同じことを延々と繰り返しながら生きている、ということですか？

秋 ええ。ただし、カルマというものは、そもそも悪いものなんかじゃないんです。たとえば我々が何か新しいことを行なったとします。それで、もしそれが、我々が本当に喜んで行なったことで、我々がそれを楽しんだならば、それと同じことが繰り返し永遠に発生する。そういう贅沢な法則がカルマの法則なんです。我々が何かすごく楽しいことをしたと。すると、あとはそれを宇宙にお任せしておけば楽しいことが永遠に起こると。何度も何度も。実はカルマとはそういうものなんです。問 ああ、そうなんですか。

秋 その意味で、よく「苦しみのカルマ」とか「闘争のカルマ」と言いますが、あれだって最初にすごく楽しんで体験していなければ、実はカルマとして残らないんです。ですから、持続的な不幸も苦しみも悲しみも、本当は

そういったものを手にしている人が、すべて喜んで体験したものでないんです。最初にはね。そして、心のどこかでは今でもそれを楽しんでいる。ですから異星人たちにもそれを強制的に解除することはできないんです。

問 なるほどねえ。

秋 ええ、そうなんです。ただ、これは見方を変えれば我々はこれから新しい本当に楽しいカルマをいくらでも創造できる、ということでもあるんです。

問 もしそうでしたら本当に贅沢な法則ですよ。しかし地球人は不幸や苦しみや悲しみを延々と持ち続けている。そして我々はそれをどこかで喜んで持っている。そういうことなんですか？

秋 ええ、その通りです。

### 地球人は地球が楽しいから地球にいる

問 だとすると、我々はあれこれと不平を言いながらも、地球が楽しいから地球にいるということにもなりますよね？

秋 もちろん、そうですね。

問 実は、以前にうちの息子が、「あまり早く金星とかに転生したくないな」なんて言うものだから、その理由を聞いてみたんです。そしたら、「だって、つまんなそうじゃん」て言うんですよ（笑い）。

秋 それは、つまんないと思いますよ（笑い）。いろいろ問題はあるかもしれ

ませんが、なんだかんだ言ってもですね（笑い）、我々にとってこんなに楽しく進化し続けた星はないわけですよ。我々の楽しみの結果なんです。この地球は。どこかで我々は楽しいから、自ら選んでここにいるわけで、もしも楽しくなければ、さっさとどこかの星に生まれ変わっていたはずですよ。

### 人間は生まれ変わりを繰り返すたびに、より自由になる

問 なるほどね。ところで、その転生ですが、人間は転生を繰り返すたびに、精神レベルあるいは魂のレベルを本能的には高めていくと考えていいんでしょうか？

秋 ええ、基本的にはそうですね。問題はその方向性ですよ。どの方向に進化するかということの方が重要かもしれませぬ。要は生まれ変わりを繰り返すと、より自由になるんです。

問 より自由になる……。

秋 ええ。それはどういうことかという、より大きな楽しみの種を見いだしやすいということなんです。だから生まれ変わるんです。人間は死と再生を体験することによって、より多くの自由を知ることができるんです。問 そういうことなんですか。

秋 たとえば、「俺ここで、一生公務員として働くんだよなあ」なんて思いながら、そのままの生活を続けていたら、そこから出られませぬ。でも、

転職して新しい世界に飛び出したとたんに、「何だこの世界は。ああ、公務員の世界も悪くなかったけど、この世界はもつとおもしろいや」ということになるかもしれないわけですよ。あるいは新しい世界がもつと苦しい世界であることに気づくことで、公務員の世界を再評価する、ということもあるでしょう。つまり生まれ変わりという節目を体験することで、死と再生を体験すること、我々は自由というものをより客観的に認識することができるようになる。そのためのシステムが転生なんですね。

問 なるほどね。転生というのは素晴らしいシステムなんですな。

### 転生さえも我々が選んだもの

秋 ええ。それで実はその転生さえも、そもそも我々が自分で選んだものなんです。もし我々が転生というシステムを選ばなかったならば転生はありません。異星人も転生を選んでいます。問 転生しないことを選択することもできるわけですか？

秋 できます。ただし、この宇宙というところは、そもそも転生という死と再生のシステムをもとにできあがっている宇宙でして、我々はそこを選んで生まれてきているわけです。でも、この宇宙とは全く別の宇宙に行くことも可能なんです。

問 それはつまり、次元の違うところに行くということなんですか？

秋 いや、正確に言うと次元論で計りきれなかろうか。もつとわけのわからない宇宙です。たぶん我々の思考能力でそれを把握することは不可能でしょう。よく外側の宇宙に興味を持つ人がいるんですが、まず知り得ないでしょうね。

お釈迦様も、よく弟子からそういうことを聞かれていますよね。そんなときお釈迦様は、「お前、一年間黙つてれ」なんて言ってますけど、それは説明できなかつたからなんです。お釈迦様は非常に正直な人だったんです。「こんなこと俺でさえわからないんだから、お前なんかにはわかるわけがない」と言い放つわけですよ（笑い）。問 なるほどね（笑い）。

### 人間は病気さえも喜んで身につけている

秋 結局人間は、基本的には楽しいこととしかしないんです。これは鉄則です。その意味で、人間は病気さえもどこかで喜んで持っているんですね。病気が楽しいから病気になるわけです。こんなことを言っている僕でさえ、熱を出したり、おなか痛くなったりするところがありますし、病気を楽しめるというのはいわゆる我々の特徴なんです。一〇〇歳ぐらいの寿命を楽しんでいるのも我々の特徴です。結局我々は病気に

なりたくて、それを楽しみたくて病気になるっていいんです。

問 でも、病気をどうやって楽しめるんでしょうか？

秋 たとえば他人から同情されたいという人もいますし、疲れたからしばらく横になりたいという人もいます。いやないですか。

問 ああ、なるほどね。

### 病人は「だめな人」ではなく、病気を「楽しんでいる」人

秋 それでね、世の中のヒーラー（病気を治す人）と呼ばれるような人たちが、ついにはまってしまうがちな落とし穴があるんです。たとえばガンの人がいたとします。すると彼らはまず、「悪い感情の使い方をしたんだろなあ」と考えるわけです。そして、そこまでならまだいいんです。でも、これはかなりの能力者でも陥つてしまいがちな落とし穴なんです。その次に「だめな人だなあ」と思ってしまう。それじゃだめなんです。違うんですよ。その人はだめな人ではなくてガンを楽しんでいる人なんです。僕が骨董品を楽しんでいるように、その人はガンを楽しんでいるわけです。

問 なるほどね。そういえば、病気で長期入院している人のなかには入院生活を楽しんでいるように見える人もいますからね。早くよくなって帰ろうと思わないのでしょうか。

### 遠隔思念でガンを一発で治す

秋 そこで僕なんかができることは、こういうことなんです。「確かにあなたはガンを楽しんでいる。でも残念ながら、ガンを楽しむという行為はあまりにも犠牲が多すぎる。それによって不自由になることが多すぎる。今は楽しいかもしれないけれど、その遊びを続けていくと、ひどく不自由になってしまふんだよ。後で楽しくなくなるんだよ。それで悪いことに、後でそれに気づいても戻れないんだよ」といったこと、それから「もつと他に無限の楽しみ方があるんだよ。建設的な創造の可能性が無限にあるんだよ」ということをひとまとめにして、テレビシュードインとその人の潜在意識に送り込んでやることなんです。すると「あれっ？」ということになるわけです、病室で。

問 うーん、なるほどね。

秋 ついこの前も、ガン検でガンが見つかった人がいて、その人が夜中に「バキツ」という音を聞いたと言うんです。それはちょうど僕が遠隔思念を送った瞬間だったんですけど、その音がしたとたんに、いきなり目の前が真っ白になって、それから一週間ほどしてまたガン検に行ったら、今度はどんなに探してもガンが見つからなかったと言ってますね。

世界の謎と不思議に挑戦する  
スーパー・ミステリー・マガジン

学研

5月号

定価  
650円  
(税込)

絶賛発売中!!

**力集** **世界は本当に滅ぶのか?**  
**総特** **メシアはいつ現れるのか?**  
**人類終末予言の真相**

★終末予言の謎を解くキーワードは「メシア出現」だ!!  
 ★歴史の特異点に、無数の偽キリストがはびこっている!!  
 ★人類は終末を恐れながら、同時に世界の滅亡を望んでいる!?

●日本GAP緊急レポート  
**大都會の明治神宮に  
 低空飛行UFOが出現!**  
 ●証明された前生の記憶  
**最新・生まれ変わり事件集**  
 ●グラハム・ハンコックの最新超古代史論  
**ヘブンス・ミラー**  
**神々が刻んだ天空の遺跡**  
 アンコール遺跡は竜座を象っていた!!

問 いや、すごい話ですね。そのあたりの話、もっとじっくりとお聞きしたいですね。

秋 この種の治療例はたくさんありますので、そのうちまとめようとも思うんですけどね。いずれにしても、このヒーリングという作業は、病人を説得する作業なんです。ところが中には、「いや、お前が教えてくれた自由よりも、ガンにかかっていた方が自由だ。楽しい」と主張する人もいますからね。問 なるほどね。すると、そういう人は、いくらヒーリングしても良くならないわけですね?

秋 ええ。そうなんです。それでそういう人に限って進行性の悪性のガンだったりするわけです。少し前にも一人いたんですが、そういう人は、もう自分が悲劇のヒロイン、あるいはヒーローであるということを体中で表現して

いるというか、もう誰が見てもわかるんです。「私はガンなんです」って言いながら内心明らかに喜んでいる。そういう人はいくらヒーリングしても難しいですね。

### ヒーリングの極意

問 ところで、ヒーリングを施す能力は、よく言われるようにトレーニングすることで誰もが発揮できるようになるのでしょうか?

(編注)ヒーリングとは特異能力者が想念波動等で病気を治すこと)

秋 ええ。それと、自由に創造的に心から楽しんで何かをやっている人間の体からは勝手にそういう力が出るんです。これがヒーリングの極意でしょうかね。常に創造的なことを考える。自由を考える。永続的な楽しみの種を探

す。そういうアイデアに常に思いを巡らしている人は、そこにいるだけでも癒し手なんです。

問 なるほどね。

秋 ですからキリストはどんなに創造的であったか、釈迦はどんなに自由であったか、ということですよ。あの人たちはちよっと手を触れるだけで、あるいは一緒にいるだけで、多くの人たちの病気を治しちゃったわけですから……

☆☆☆

ちなみに、秋山氏が近々出版を計画している本は、氏が異星人から受けた教育や、グレー・タイプ<sup>①</sup>の宇宙人に関する興味深い話も含めた、これまでの氏のコンタクト体験の集大成とも言えるべきものになるという。出版社、出版時期等はまだ未定のようなのだが、大いに期待してよさそうである。

(編注)本号は原稿執筆の依頼を受けた坂本氏が秋山氏を取材したために本誌冒頭の記事とあわせて秋山氏関係の記事が二篇掲載されたが、それだけに秋山氏の情報が濃密になったので読者に裨益するところ大なるものがあるだろう。UFOと異星人問題でわが国のトップクラスの秋山氏が洩らす知識は絶大な価値をもつものと自負する。ただし記事中のガンを治した体験を読んでも、いきなり日本GAPや秋山氏に病気のヒーリングの依頼をされることはご遠慮願いたい。氏は超多忙の上、多くの理由により応じかねる場合があるので、その点を考慮されたい。

病気になるたら何はおいでも医師の診察を受けて適切な治療や処置をほどこしてもらうことをおすすめする。それでも治癒しない難病ならば、編者宛にご一報あれば秋山氏に相談する)

# 世界の“円盤”研究家がやって来た そして他の惑星の“生命”について語った！

〈オーストラリアで語るアダムスキー〉

## 金星、火星、土星では1日に2時間働くだけ！

(編注=この記事は1959年3月31日付けのクリアメール紙(オーストラリア)に掲載された記事のコピーを、ベルギーのアダムスキー派研究者で編者の文通仲間であるアンドレア・ファン・ロイが今年1月29日付けの書簡と共に送ってくれたもの。)



▲昨日到着したアメリカ人の空飛ぶ円盤講演者ジョージ・アダムスキー氏にポーラ・ジャミーソン(4)が、おもちゃの熊を献呈した。ポーラはクイーンズランド円盤研究会のメンバーであるG・ジャミーソン氏の令嬢。

仕事の余暇には、彼らは学習をして自分たちの“向上”を図る。世界のUFO“専門家”としてジョージ・アダムスキー氏は昨日そのことを話した。

### 家事仕事はやらない

米カリフォルニア州と大気圏外から来たアダムスキー氏(68)は当地でUFO講演を行なうためにプリズペーンに到着した。彼は大気圏外の生活について次のように語った。

- 高度に進歩した別な惑星の家庭の女性たちは掃除、洗濯、料理などをやらない。
- 磁気的な装置があって、それがゴミを吸い取ってしまう。超高周波のロッカーがあり、それが衣類をきれいにする。そして押しボタン式の電子器械が食物を調理する。
- 彼らはレクリエーションとして走ったり泳いだりする。彼らの惑星にはお金が存在しない。
- 彼らは離婚をしない。夫婦は精神的に和合し、生活の同じ道を一緒に歩む。

### 金星人に会う

アダムスキー氏は、異星人との度重なる会見を続けて以上の事を知ったと言い、しかも彼は異星人たちと一緒に宇宙へ飛び立ったこともあるという。彼は1952年にアメリカの砂漠地帯で空を観測していたとき、金星人に会った(編注=デザートセンターでの会見を意味する。詳細は新アダムスキー全集第1巻「第2惑星からの地球訪問者」を参照)。2カ月後、異星人たちは彼を最初の宇宙旅行につれて行った。

アダムスキー氏はまだ金星に行っていないと言うが、いつか連れて行くと約束されたという。

UFOは電磁力で推進され、秒速38万5千マイル以上で飛ぶことができるという。

クイーンズランドの円盤研究会の会長(スタン・シアーズ氏)が昨日述べたことだが、150名の会員のすべてがアダムスキー氏の“体験”を信じているわけではないという。「信じている人もいるし、信じない人もいる」とシアーズ氏は言った。

# 宇宙の法則のもとに生きるスペースブリーダーズ(8)

ジヨージ・アダムスキー／久保田八郎訳 〈アダムスキー講演集 連載25〉

ナリス・ボマロイ女史より訳者に翻訳権限付与済

アダムスキーは晩年にアメリカ各地で講演を行なったが、これはボストンの講演の続き。宇宙の法則と人間の生き方を見事に説いている。

人間はそれを知りません。人間は彼女(母なる大自然)から学ばなくてはなりません。これは極めて単純な法則です。大自然界は素晴らしい学校なのです。それは永遠の学校であり、私たちの学校ができるはるか以前からここに存在しています。私たちの学校は大自然界のおかげで作られたとさえ言えるでしょう。

## 大自然界から学ぶこと

地質学者は自然界の中に足を踏み入れて地球の構造を研究します。天文学者は空を見上げて宇宙の仕組みを探ります。ただし彼は、地質学者ほどには研究対象物に接近できません。それから植物の生命を研究する人もいれば動物の生命を研究する人もいます。そしてやがて私たちは自分たちの学校を作

り、それとともに大自然という学校を失います。母なる大自然に関心を払わなくなるからです。私たちの学校ができたのは、そもそも誰のおかげだったのでしょうか? そのことを忘れて、やがて誰もが自然の中に出かけて行って学ぶことをやめてしまいます。もし私たちがそこに戻らないとしたら、私たちはやがて間違いない「失われた種族」になってしまうでしょう。

それだからこそ聖書は、「大自然に親しむ人間は魂の道を知っている。しかし自然と親しまない人間は魂の道を知ることがない」と語っているのです。私たちは単に地球上で暮らし、互いに押し合いへし合いしながら動き回っているだけの、自然を忘れた、自分が普段していることの理由を半分も知らないでいる、習慣的ゾンビになってしまっています。(編注)ゾンビは元ブードゥー教用語。生き返った意志をもたぬ死体の意から無考なフヌケ人間を意味する) 私たちが行なうべきことは町に行くことだけです。私たちはよく何の目的もなく、商店が立ち並んでい

る繁華街に出かけていきます。「何をしたらいいかわからないから、繁華街にでも行ってみよう」私たちはそんなことを考えながら繁華街に足を運びます。自分がどこに行こうとしているのかを知らないままどこかに行きます。そうしてどこかの店に入って、買うつもりがなかったものを買ったりするわけです。これは私たちがとても頻繁に行なっていることなのです。

## 自分自身を知る

私たちが進むべき道からそれしてしまっていることは明らかです。私たちはいま、自分自身について、私たちは何者なのか、何なのか、私たちがここにいる目的は何なのかなどについて、しっかりと学ぶべきときを迎えています。そしてそのためにも、私たちは、皆さんや私を含めたあらゆる生命を養っている大自然にもう一度目を向け直す必要があります。それにもっと興味を抱く必要があります。そしてそれを研究しなくてはなりません。なぜならば、

私たちがたとえどんなに知識を深め、どんなに進歩を果たそうとも、私たちがそれから学ぶべきことはいつになってもなくならないからです。

と同時に、私たちは、それに九九パーセントは頼って生きて行かなくてはならないからです。私たちはそれから離れては生きていけないのです。もしこのことを忘れたならば、私たちの生存は極めて危ういものとなります。そしていま、私たちはその瀬戸際にあると言っているでしょう。

地球の科学者たちは、もし自然界を教師として扱い続けたならば、どれほど素晴らしい研究をなし遂げられるでしょう。でも彼らはいまそれを見落としています。しかしいざ彼らは自然界を必要とすることになります。そうしなければ必ず行きづまってしまうからです。

## 自然界は創造主の現象化

自然界というとても単純なものに思えるかもしれませんが、それは実は

創造主が現象化したものなのです。皆さんが何をなすべきか、どの方向に行くべきか、あるいは皆さんの存在の理由などを、創造主以上に良く知るものが他にいるでしょうか。彼は明らかに知っているはずで、創造主は、たとえどんな存在物であろうと、特定の確かな理由あるいは目的をもって万物を創造したのです。

そして彼が創造したものの一つが、私たちが自然と呼ぶものなのです。

## 最も貴重な物質は何か

この地球上に存在する、私たちにあって最高に貴重なものは何でしょう。

それは貴重な上に無料であり、地球上のほとんどどこに行っても存在していません。それはこの世界のあらゆる黄金よりも貴重なものです。この世界のあらゆる宝石類よりも、さらには皆さんや私が貴重だと考える他のどんなものよりも貴重なものです。それはほとんどどこに行っても無料で手に入ります。そのため私たちはそれにほとんど関心を払っていません。それを無駄遣いしたり汚したりさえしています。いったいそれは何でしょう。

水です！ いかなる生き物も水なくしては絶対に生きられません。いかなる生き物もです！ 結局、最高に単純なものこそが最高に貴重なものなのです。それを私たちに与えてくれている

のは誰なのでしょう。

それはまた私たちにとって二番目に貴重なものも与えてくれています。酸素です！ 私たちが吸い込んでいる酸素です。そしてこれもまた無料なのです！ それは、私たちが誰であり、何であり、どんな皮膚の色をしていて、どんな信念を持っているようにと、あるいは善人であろうと悪人であろうと、そんなことはいっさい問題にすることなく、とにかくすべての生き物にそれ自身を分け隔てなく与えているのです。

もし人類が酸素を完全に掌握することができたとしたら、皆さんの鼻には、そこを通過する酸素の量を計測するコンピューター装置が取り付けられることになるかもしれません。そして皆さんは自分が吸い込んだ酸素の量に応じてそれに対する料金を支払うようなことになるかもしれません。ただ幸いなことに人類はまだそれを行なえません。でも、もしそんなことが可能になったとしたら人類はきつとそれを行なうでしょう。他の多くの天然資源を扱ってきたのと同じようにしてです。

## 生命の営みは単純なもの

いずれにせよ、これらの単純なものがないければ、皆さんも私もいまここにこうしていることはなかったわけです。しかしこれらは極めて単純なものです。そもそも創造主の活動および、それが

可能としている生命の営み自体が極めて単純なものなのです。それが複雑なものに見えるのは、私たちがそれを複雑にしているからに他なりません。

私たちはまず一つの過ちを犯します。すると私たちは次にそれを別の何かで覆い隠そうとします。そして私たちは、その過つた行為を延々と続け、やがてはその誤つた道から抜け出す術を見失ってしまうわけです。この社会はいままさにそんな状態にあるのです。社会がそのような状態に完全に陥つてしまふと、次に起こることは一つしかありません。誰かが何とかしてそんな状況を変えようと考えます。そしてその結果、彼はこれまでの社会を一気に葬り去ってしまうことになるかもしれません。誤つたボタンを押すことによつてです。これは本当に起こりうることです！ そうなれば人類は否応なしに自然に戻り、それを研究することになります。

## 人体内にひそむ偉大な存在物

自然は皆さんの母親なのです。そして、自然を構成するあらゆる現象が創造主によつて作り出されています。彼らはあらゆる創造物の原因なのです。そして私たちは結果です。しかし、私たちの中には、単なる結果よりも偉大な何か横たわっています。それは宗教の中では魂、あるいは霊などと呼ばれ

ていますが、呼び名は問題ではありません。呼び名は、それが付けられているものの性質を正しく表わしているとは限りませんし、往々にして混乱の原因となりがちです。いずれにせよ、たとえ呼び名は何であれ、皆さんは、皆さんの内側には、皆さんの目、皆さんの感覚器官、皆さんの肉体よりも偉大なものが存在しているということを認めなくてはなりません。

ここで一つ例をあげてみましょう。これは、いま私が話したことを見事に証明する事実でして、他の証拠は何一ついらないとさえ言えるでしょう。皆さんは、皆さんが胃の中に落とし込んだ食べ物がある後どうなるかを知っているでしょうか？ 皆さんの心はそれを知らないはずで、皆さんのどの感覚器官にとつても、それは未知のことなのです。心と感覚器官は一体です。皆さんの視覚はニンジンを見ておいて、そうだと考えます。そして皆さんはそれを食べるわけです。しかし視覚はそれがその後どうなるかを、もちろん知ることはありません。臭覚にしても同じです。それもまた特定の食べ物を良い臭いだと判断して皆さんに食べるよう促すだけです。しかしながら皆さんの内部には、皆さんの心よりもはるかに偉大な知性が存在しています。それがすべてを知っているのです。もしそれがすべてを知らなければ、私たちはしょつちゅう地獄を味わわなくては



うねび

## ● 畝傍山より撮影したUFO

撮影／高田いづみ 1999年1月28日

日本GAP会員でグレー系異星人の研究者・高田いづみ女史(石川県)は、かねてから奈良県飛鳥地帯の古代史と古代遺跡がグレー系異星人と密接な関係を有することを探知して、しばしばこの一帯を調査していたが、今年1月28日、畝傍山に登って前方の耳成山(みみなしやま)を撮影したところ、左手に円盤型のUFOが写っているのに気づいた。秋山真人氏が鑑定した結果、本物のグレー系異星人の宇宙船であることが判明した。この写真は畝傍山から耳成山(みみなしやま)を望見した写真の左半分の部分で、淡いブルーの船体が飛行する光景が写っている。

グレー系異星人が古代よりこの地方に住みついて謎の古代史や遺跡群の由来に関係している事実を高田さんは驚くほど詳細に調査している。彼らは人畜には無害であり、彼らのあいだで有名人(?)になっている高田さんに対してはユーモラスな姿態を示すこともあるという。彼女はいずれこの地方のグレー系異星人と古代の遺跡群との関連について本誌に詳細な探訪記を執筆する予定。読者がこの地方へ調査に入ることは遠慮されたい。彼らの安全な生息を妨げることになるからである。

### 心が知性を妨害する

しかし感覚器官と一体である皆さんの心は、その知性の活動を妨害することがあります。そして実際それはよく起こることです。たとえば皆さんがひどく腹を立てている、あるいはひどく緊張しているとしましょう。それで何か食べ物を食べたとしたら、たとえばその食べ物が多量に素晴らしいものであっても、二〇分後に皆さんは間違いなく胃薬を取りに走るでしょう。

皆さんの内側に存在するその知性は、皆さんの心とは別のものです、心がゆがんだ状態にあるときには決してうまく機能しません。それは、そのとき心を苦しめます。そのときに実際に痛みを感じているのは皆さんの肉体ではなく心なのです。皆さんの心はそのようにしてそれが肉体内に発生させた様々な混乱に関して警告を受けることになり

ます。  
一方、もし皆さんが完璧に調和のとれた心の状態を保っていたならば、そのとき皆さんは、たとえ腐った肉や絨毯を留めるピョウを食べてしまったとしても、まったく平気なはずです。皆さんの内部にある偉大な知性は、皆さんの心が調和のとれたものであるときに、その力をもっとも良く発揮するのです。ですから肉体の痛みや病氣、あ

るいはその他のいかなる変調も、私たちが主に自分の心によって作り出す混乱によってもたらされるものなのです。

### 胎児の成長ぶりを誰も知らない

同じような例をもう一つあげてみましょう。この社会ではとても頻繁に結婚がなされ、その結果として極めて自然に子供が産まれています。そしてその誕生までの行程は、最初ほんの少しだけ父親も関係しますが、ほとんどは母親によって遂行されます。しかし彼女は後に息子または娘と呼ぶことになるものが自分の体内でどのようにして形作られていくのかに関して、どの程度のことを知っているのでしょうか？ まず何も知らないと言っているのではないのでしょうか。彼女は草の葉がどのようにして作られるのかさえ知らないのです。もともと、これは科学者たちでさえ知らないことです。

彼らは人間の体を、様々な器官を調べたり細胞を調べたりしながら、様々な角度から研究していますが、そんな彼らでさえ、子供が誕生するまでの間に母親の胎内でどんなことが起こるのかに関して、まったくと言っていいほど知らないのです。確かなことは、心とは違う、それを知っている何らかの知性が明らかに存在しているということだけなのです。

研究する価値が大いにあることだと

は思いませんか。私たちが私たち自身をより良く知るためにです。妊娠した女性の体内では、いったいどんなことが起こっているのでしょうか。これは誰にとっても大きな関心を注いでしかるべきことです。でも、私たちはこのことにどれほどの関心を示してきたでしょうか？ 私たちはこれまで、「そんなことは自然に起こることさ。それだけのことだよ」で済ませてきました。しかしこれはとても重要なことなのです。

もしこれを理解できたとしたら皆さんは他の多くの現象の理由をも容易に理解することになるでしょう。なぜならば皆さんも同じようにして創造させたからです。しかも他のいかなるものもまったく同じようにして創造されているのです。

### 真の自由を得るには

もし皆さんがこのことを理解したとしたら、そのとき皆さんはいまよりもどれだけ自由になるか分かりません。私たちはいま自身に関する知識の欠如に起因する大きな不安とともに生きています。このことを理解するだけで私たちはその不安のほとんどの部分を解消できるでしょう。いまここに存在するすべてのものは、私たちがそれを認識し研究することさえすれば必ず理解し得るものなのです。

### 原理は不変である

それから、こういうことも言えます。スペースビープル(異星人)が私たちにもたらした知識は、過去のメシア(救い主)たちがもたらした知識とほとんど同じものなのです。彼らも私たちに知識をもたらしただけです。たとえばイエスもそうでした。彼も私たちに知識をもたらしただけです。もしそれを充分に利用して生きてきたならば、私たちはいまごろ、はるかに素晴らしい進歩を果たしていたことでしょう。マホメットにしても同じことです。仏陀、孔子、老子しかりです。彼らは地球人類に知識をもたらしただけです。異なった時代に異なった言語で、しかも同じ知識をです。宇宙的なもの永遠なるものは決して変化することがないのです。原理は決して変化しません。変化するのは現象のみです。

たとえば、商取引の原理にしても同じことです。ある男がニンジン育てます。別の男が靴を作ります。そして彼らは、一〇マイル離れたところに住んでいます。そこでニンジン育てた男は靴が欲しいと思ひ、一〇マイル離れたところに住む靴を作った男のところに出かけて行き、ニンジンを買って、それと交換に靴を手に入れます。そのとき彼は一〇マイルを歩かなくてはなりません。しかしやがて、交通手

段としてロバが利用されるようになり  
ます。さらに荷馬車が発明され、鉄道  
が発明され、自動車そして飛行機が発  
明されるに至るわけです。ですから原  
理の適用法は劇的に変化してきたわけ  
です。しかし原理そのものが変わるこ  
とは決してありませんでした。

人生の原理に関しても同じことが言  
えます。過去のメシアたちは異なった  
時代に異なった手段や異なった言葉で  
同じアイデアを人類にもたらしました。  
それぞれが当時の人類の進歩に合わせ  
て、人々がもつとも理解しやすく実践  
しやすいと思われる形でそれを伝えた  
のです。ですからその原則はいまも昔  
もまったく同じなのです。ただその適  
用法が変化しただけなのです。

この国の中だけを見ても、たとえば  
一九〇〇年から今日までの間には実に  
多くの変化が発生しました。私たちが  
もはや一九〇〇年あるいは一九一〇年  
頃に行なっていた多くのことをまっ  
たく行なっていない。しかし原理はま  
ったく変わっていないのです。

一九〇五年や一〇年頃には私たちが  
道路を清掃する人たちをまったく必要  
としませんでした。ご婦人たちのスカ  
ートが長かったために、彼女たちが歩  
くだけで道路はきれいに掃除されたも  
のでした(笑)。でも、いまや彼女  
たちのスカートは裾が膝の上に乗るま  
で上まで上がることになるでしょう。

かつてはそんな短いスカートをはくこ  
とは倫理に反することでした。しかし  
今ではそれが倫理に反しないことにな  
っています。それが社会からしつかり  
と受け入れられているのです。男性諸  
君のみならずご婦人方からも受け入れ  
られているのです。状況は大きく変化  
しました。同じような変化は他にもた  
くさんあります。この国においてばか  
りではなく世界中にです。

しかし、原理は決して変わりませ  
んし、排除することもできません。自然  
を排除することも決してできません。  
皆さんは、常に大自然を振り返り、次  
のレッスンを学ばなくてはなりません。  
皆さんは人生の必需品を求めて常に自  
然に目を向けねばなりません。そして  
その自然はある意味では人間から独立  
しています。なぜならば、人間が自分  
自身をそれから切り離してしまってい  
るからです。しかしそれはそもそも人  
間の一部であり、皆さんもその一部な  
のです。なぜならば、それも現象であ  
り結果であるために、原理あるいは原  
因から分離することは何があっても絶  
対にできないからです。この原理また  
は原因をほとんどの宗教は「神」と呼  
んでいます。

## 万物は創造主の現われ

この神は皆さんを通じてのみ姿を現  
わしているわけではありません。神は

花を通じても草の葉を通じても、つま  
り皆さんが目にするあらゆるものを通  
じてそれ自身を表現しているのです。  
そこで皆さんは、「この演壇を通じて、  
何がそれ自身を表現しているのだろ  
う」とおっしゃるかもしれません。答  
えは人間です。どういうことなのでし  
ょう。

まず第一に、この材料となっている  
木は以前もいまも創造主です。創造主  
がいなければ、この木が成長すること  
はありませんでした。しかしあるとき  
人間がやってきてあるアイデアを起こ  
しました。そして彼はこの木を切って  
それからこの演壇を作ったのです。で  
すから、私はいま人間の創造物の前に  
立っているわけです。この演壇は創造  
主を現わしていると同時に人間を現わ  
しているわけです。いずれにせよ、と  
にかくこの世に存在するあらゆるもの  
が、神と呼ぼうと何と呼ぼうと、とに  
かく創造主を現わしているのです。

そして私たちは創造主からフル装備  
を施されているために、彼と同等の能  
力を備えています。私たちはこのこと  
を理解できてしかるべきです。自分自  
身を創造主または父と関連づけて知る  
ことが私たちにできるはずなのです。

そして私たちがイエスが言ったように、  
いまここで、「あなたがたが見ている  
この私は『父』を現わしている。しか  
し私は何も行なわない。私が行なうこ  
とはみな、私を通じて父が行なってい

ることなのだ」と言えるはず。な  
ぜならば、『父』は常に隠れているの  
です。この場合は人間の肉体の中にで  
す。原因つまり原理はとも良く隠さ  
れているのです。しかしそれは常に活  
動を続けています。もし皆さんがその  
原則に激しく反抗していたとしたら、  
何か食べ物を食べるたびに激しい消化  
不良を起こすことになるでしょう。そ  
して妊娠している女性の体の中でも、  
新しい子供の誕生に向けて同じ創造主  
が人知れず活動しています。こうした  
知識のすべてがいまここに存在してい  
ます。それを求めて天を仰ぎ見たり、  
あちこちを探し回ったりする必要など  
まったくないので。それはいま、こ  
こにも皆さんのそこにも存在するの  
です。皆さんが吸ったり吐いたりしてい  
る息よりも近いところです。

スペース・ピープルはこのことを良く  
知っています。そして彼らはお互いに  
顔を合わせているとき、それぞれが創  
造主の明らかな現われを見ているとい  
うことをしっかりと自覚しています。  
もし私たちがみなこのことに充分に気  
づき、この認識を常に持つて生き始め  
たならば、この世界はその瞬間から正  
真正銘の天国に変わることになります。

## 地球世界はすでに天国

と言うよりも、実はこの世界はすで  
に天国なのです。聖書もこう語ること

それを強く示唆しています。

「天にかけて誓ってはならない。それは父の王座なのだから。地にかけて誓ってはならない。そこは父の足台なのだから」つまり創造主は、その両方を創造したのです。天つまり空と地の両方をです。だとしたら私たちはいま、いったいどんな場所にいるのでしょうか。

ある人たちは金星に行きたいと言うかもしれません。「この地球世界はひどい場所だ。こんな住みにくい世界はもういやだ。どこかよそに行きたい」と言うかもしれません。しかし、こんな住みにくい世界に、いったい誰がしたのでしょ。皆さんや私です。私たちはこの世界の神聖さを認識することに失敗してきました。この世界は私たちが入りたいと願えばいつでも入ることのできた天国にほかならなかったのです。そもそも創造主は、彼自身よりも劣るものを創造することなどできないのです。皆さんは神を崇拜しています。しかしその一方で、皆さんが住むために彼が創造した家を決して崇拜しませんでした。

## 宮殿とニワトリ小屋のたとえ

たとえば私が、「自分は完璧な宮殿を建築できる」という強いフィリッングを持っていたとしましょう。私はこれまででいかなる建物も建てたことはあ

りませんが、とにかく素晴らしい宮殿を建てることのできるというフィリッングを持ちました。そしてある日、私にそれを実行に移す機会がきました。そしてやがてその宮殿が見事に完成しました。私はそれを見て大いに満足しました。自分が持っていたフィリッングの正しさがそれで見事に証明されたからです。しかし私は別にその宮殿に住みたいとは思っていませんでした。それを建てること、自分にはそれが出来るということを確認することだけが私の唯一の目的だったのです。

そんなわけで、その宮殿は私にとつては何の意味も持ちません。私はその宮殿の中に、それを完璧なものとするために必要なあらゆるものを設置しました。そのためにそれは誰もが夢見るような素晴らしい宮殿に仕上がりました。でも私はそこに住みたくはありません。ただし、そこを空っぽにしておくのはあまりにももったいない。そこで私はそこに住んでくれる人を探すことにしました。

私は町を歩き回って、あるあばら屋を探し当てました。それは以前ニワトリ小屋だった建物でした。私はそのあばら屋に入っていくと、結婚したばかりの若い夫婦に会い、こう言いました。「ごめんなさい。実は私、ある宮殿を建てたばかりなんです。それで、私自身はもう充分な報酬に手に入りましたので何もいりません。お金も何にもい

らないんです。ただ、あの宮殿を空っぽにしておくのは何とも不本意なので、よろしかったら、もらっていただけないでしょうか」

「願ってもないことです」

と言いますので、私はその夫婦に宮殿をあげることにしました。すぐに彼らはそこで住み始めました。そして二年がたちました。私は彼らがどんな暮らしをしているかと思ってその宮殿に足を運んでみました。すると驚いたことに、彼らはそこでもまるでニワトリ小屋の中で暮らしているようにして住んでいました。なぜなのでしょう。彼らは宮殿での暮らし方をまったく知らなかったのです。

でも、考えてみて下さい。たとえ彼らとその宮殿をニワトリ小屋のようにして使っていたとしても、その建物がなおも完璧な宮殿であることには変わりがないのです。その素晴らしさはいさかも損なわれていないのです。

私たちはいま（地球という）天国に住んでいます。しかし私たちはそのことにまったく気づいてきませんでした。そのために私たちはこの世界を地獄にしてきたのです。しかしそれでもなお地球世界が天国であることには変わりがないのです。ありがとうございます。

（以上でポストンにおける講演は終了。次号より別な会場の講演を連載の予定）



●アダムスキーの大地を訪ねて——

# アメリカ西部の旅

第18回

1999年度日本GAP海外研修旅行



▲白い矢印の位置がコンタクト地点。

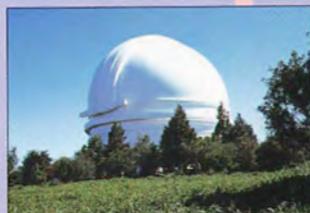


▲上の写真は1952年11月20日、アダムスキーが金星人と会った場所の足跡の模様を取り囲んでいる目撃証人達。  
▲左は同じ場所を1989年に発見した久保田一郎が撮影した写真。すべてが全く同じであることがわかる。

●期間=10月19日(火)より24日(日) 4泊6日 ●費用=¥248,000

日本GAPは過去多年にわたって海外研修旅行を実施し、世界中を歩き回って多大の成果をあげてまいりましたが、今年もアメリカ西部の旅を企画しました。アダムスキーゆかりの場所を見学し、ロサンゼルスやサンディエゴの大都会を観光するのに絶好の機会です。最小催行人員25名。多数ご参加をお待ちしております。

- ★19日(火) 成田空港を18:15に出発。機内泊後、同日朝10:55にロサンゼルス空港着。専用バスで市内観光後、ホテルニューオータニ泊。
- ★20日(水) 専用バスでハリウッドのユニバーサルスタジオへ行く。ここには珍しい映画のセットや愉快的施設等がいっぱい。おとなでも存分に楽しめる夢の楽園。午後はカリフォルニア州をバスで南下してリゾートで名高いパームスプリングスへ行き、ヒルトンホテル泊。
- ★21日(木) 午前中はバスで砂漠地帯のデザートセンターへ行き、アダムスキーのコンタクト地点を見学。久保田会長が詳細に説明(上の写真を参考)。ここではUFO観測を少し行なうので双眼鏡をお持ちの方は必携。その後バスでパロマー山に登り、山腹のアダムスキー住居跡を見学後、山頂へ登り、かつて世界最大を誇ったパロマー天文台の大望遠鏡を見学。下山してから一路南の大都市サンディエゴへ行き、ヒルトンホテル泊。
- ★22日(金) サンディエゴの世界最大の野外動物園を簡易電車で視察。その他ミッションベイ等の市内見学後、ロサンゼルスへ引き返し、ホテルニューオータニ泊。
- ★23日(土) 午前中は出発まで自由行動。バスで空港へ向かい、13:15発シンガポール航空機で帰国の途につく。機内泊。
- ★24日(日) 17:15分成田空港着。お疲れさまでした。

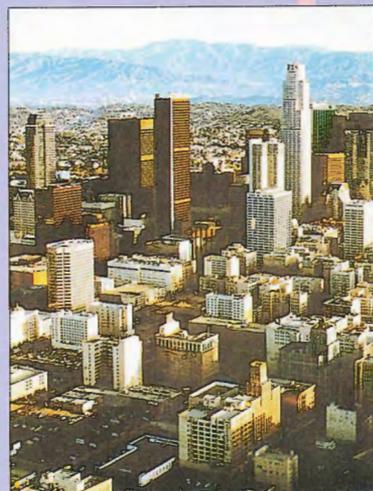


▲パロマー天文台



▲パロマー山のアダムスキー住居跡

▼ロサンゼルス中心部



デザートセンターとパロマー山は日本GAP会員必見の場所。過去多年にわたって両方を頻りに調査した久保田会長が現地で詳細に説明します。日本GAP海外研修旅行としてのアメリカ行きはこれが最後です(来年度の訪問国は未定)。旅行中は全員を数班に分けて、各班ごとに本部役員が2名ずつ付き添って誘導しますので安心して行けます。総監督は久保田会長、添乗員はスパルツーリストの小林社長。現地では日本人ガイドさんが同行。通訳陣は加藤裕子氏(加藤純一本部役員幹事夫人で米大学卒)を主体とし、他にも小林社長とガイドさんが担当しますから言葉の上で心配はありません。旅行中はアメリカ人のアダムスキー派研究家ダニエル・ロス氏夫妻もロサンゼルスで合流しますので愉快的な国際的旅行団の編成となります。

旅行説明会 第1回説明会=7月18日(日)午後1:00~5:00  
第2回説明会=10月3日(日)午後1:00~5:00  
会場=東京タワー前「機械振興会館」B(地下)31号室

旅行案内書 日本GAP宛ハガキでお申込み下さい。

旅行関係問合せ (株)スパルツーリスト

手配旅行社 (株)スパルツーリスト

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-22-9, 満月ビル3F  
東京都知事登録旅行業第3-4319号 TEL 03-3470-5315(代)

主催=日本GAP / 旅行手配=(株)スパルツーリスト

(三〇頁より) スーツをきちんと着こなしてネクタイをピシツとしていきます。それより何より驚くのは二人の容貌の美しさです。年齢的には二〇代後半ぐらいですが、とにかく肌が輝くばかりに美しいハンサムボーイという感じなのです。かなりの雑踏の中なのですが、その二人だけが輝いて浮き上がって見えるという感じです。

そのうち私の前を通り過ぎました。「何だ、私に用があるんじゃないかな」だ」と思いながら彼らの方に目を向きました。

すると姿が見えないのです。その間は時間にしてほんの二〜三秒です。一瞬驚きましたが、その時はさして気にもとめず、どこかの店に入ったんだろうぐらいにしか考えませんでした。

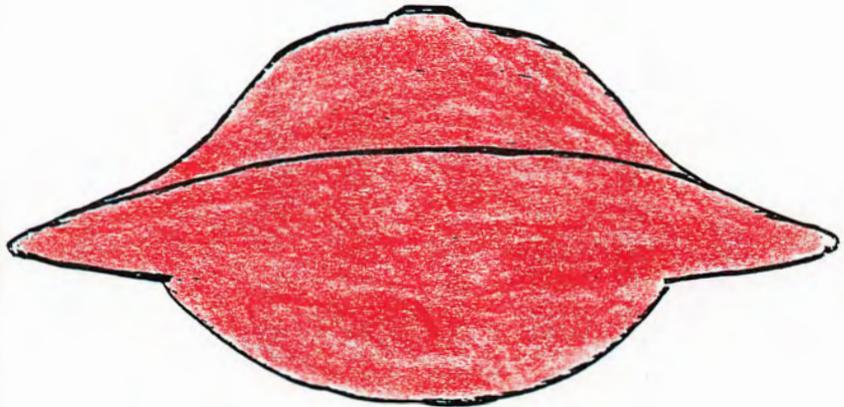
このことは日本GAP会員になってから思い出してみると、私が目撃した二人の外人は間違いないスペースイプル(異星人)の方々であったと思います。

このことがあってから私の意識や想念が少しずつ変化し始めました。

「もつと宇宙のことを知り、宇宙的にならなければいけない」と強く思うようになりました。

## 一冊の本で日本GAP活動を知る

そしてある日、一冊の本にたどり着きました。それは工学博士である深野



▶20年程前の6月頃、三条市の信濃川の瑞雲橋を車で走行中に筆者が目撃したUFO。木の葉運動とジグザグ飛行を非常に狭い範囲で繰り返した。30頁の記事参照。

一幸先生が書かれた「超真相・宇宙人」という本です。その本の中にジョージ・アダムスキーのこと、そして久保田八郎先生のこと書かれてありました。日本GAPについては会員が約一六〇〇名、"UFO contactee"という専門誌を季刊で発行し、毎月各地で月例セミナーを開催しているとなりました。

この箇所を読んだ時にはびっくりしました。日本にもこんな団体があったのかという強い驚きと同時に、ものすごく嬉しい気持ちにもなりました。早速日本GAPの会員になり、新アダムスキー全集を近くの書店から入手しました。

## またもUFOが出現

そして今度はその翌日のことです。その日私はいとこが結婚するというので、お祝いの品を届けに三条市に出かけました。その帰路、再びUFOが現われたのです。時刻は午後八時頃です。最初の目撃の時ほど至近距離ではありませんが、それでもかなりの大きさに見えました。

この時はフットボールを横にしたような形で、動きはなく、ジツとどまっていた。色は月の光に似た淡い黄色です。そして「アダムスキーの宇宙哲学をよく学んで下さい」というメッセージが私に届いたようなフイーリ

ングを受けましたので、「分かりました。精一杯頑張ります」というような意味の想念を宇宙船に送り、「あなた方の宇宙船をいつまでも見ていたのですが、それは無理だと思えますので、宇宙船が見えなくなったら、もう一度何かのサインを送ってくださいませんか」という想念もつけ加えました。

この時、あの宇宙船に乗っているスペースイプルは、昨年九月に新潟市で出会った二人の男性の方々に違いなという強い印象がわき起こりました。だから必ず何かのサインを送るだろうという確信を持ちました。

するとその時です。ものすごく強烈なストロボ光が返ってきました。それは一瞬、昼間にもどったかと思えるほど強烈でした。

「ああ、私の想念が伝わったのだ。よかった！ これからは新潟支部の月例セミナーに毎月出席して、アダムスキー哲学を真剣に学んでみよう」と思いながら、とても楽しい気分です。

さて、私達新潟支部の月例セミナーは終始宇宙的な波動の中で行なわれています。ビデオ映像による久保田先生のエネルギーシチュエーション解説講義、支部代表の星さんの用意して下さる豊富な資料や興味深いビデオ等をもとにメンバー全員が楽しく学んでいます。本部の皆様と全国の会員の皆様、今後よろしくお願い致します。



2ND FUKUYAMA BRANCH  
CONFERENCE

# 福山支部大会

第2回

★今世紀最後の福山の支部大会！  
★中国・四国地方の会員大歓迎！  
★大会・夕食会・宿泊は同一建物！  
超便利な会場！



▲サンピア福山（会場）



●桑田代表のご挨拶

全国の日本GAP会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。福山支部は第2回目の支部大会を来たる5月23日に開催することになりました。日本GAP会長・久保田八郎先生のご講演とご指導は皆様の宇宙的進歩の絶大な指針になるものと確信致しております。会員ならばどなたでも歓迎致しますが、特に中国・四国地方の方には絶好の機会です。多数ご参加下さい。夕食会、宿泊の予約は早めにお願致します。支部一同心からお待ちしております。ご挨拶

プログラム

12:30	受付開始	
13:00	開 会	
	支部代表挨拶	桑田雅則（なつめだまさのり）
13:05	講 演	久保田八郎「アダムスキー問題・宇宙哲学・来世紀の展望」
14:30	全員記念撮影・休憩	
15:00	質疑応答	久保田八郎
17:00	閉 会	

日 時 1999年（平成11年）5月23日（日曜日）  
 ■大 会 予約不要。当日受付。  
 会 場 広島厚生年金福祉センター「サンピア福山」けやきの間  
 交 通 JR福山駅からタクシーで約7分  
 JR福山駅から御角町経由由庫行きバスで10分  
 緑町バス停下車、徒歩1分  
 会 費 ￥3,000（全員記念写真代￥1,000は別納）

■夕食会 要予約。下記を参照。  
 会 場 サンピア福山 せんだんの間  
 18:00～20:00（楽しい福引きあり）  
 会 費 ￥6,000

■宿 泊 要予約。下記を参照。  
 場 所 サンピア福山  
 料 金 シングル￥6,000 ツイン￥8,000

■予 約 希望者はハガキに「夕食会予約」、「宿泊予約」と書いて、住所氏名、電話番号を明記の上、下記へ5月10日までにお申込み下さい。宿泊希望者は宿泊日、シングル、ツインの別を明記。宿泊料はチェックアウト時に各自でサンピアのフロントへ支払って下さい。

申込先 〒729-3101 広島県芦品郡新市町戸手1144-3  
 桑田雅則（なつめだまさのり）  
 Tel 0847-52-6306

ご注意 5月の福山支部月例セミナーは中止します。



●久保田先生のメッセージ

福山支部は超熱意のある代表・桑田雅則氏によって運営されている素晴らしい集団です。以前に第1回の支部大会にご招待を頂きまして、この支部が高度なレベルに達していることを知って驚きますとともに、私自身のためにも非常に良い刺激となりました。今回は第2回の支部大会開催を心から祝福致します。当日は精一杯の努力を傾注してお話を致したいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。多数の会員の方々のご参加をお待ち致しております。愉快に過ごしましょう。

●久保田先生のご紹介

1924年生。島根県出身。慶大卒。戦後8年目にアダムスキーの著書に接して驚愕し、内容はすべて真実であると直感。文通によりアダムスキーに師事して1961年に世界GAP網の一環として日本GAPを設立。以来38年間UFO問題と宇宙哲学の哲家活動に専念。デンマークやアメリカでアダムスキー問題に関する講演を英語で行ない世界UFO研究界でも国際的研究家として知られる。

# UFO contacteeバックナンバー主要記事

★バックナンバーは101(中間欠)105(中間欠)107以降各号の在庫あります。バックナンバーのみ1冊¥700、送料不要、代金後払い可。ハガキに号数、住所(7ケタ郵便番号共)氏名、電話番号を明記して日本GAP宛ご注文下さい。101号から130号までの主要記事目録入用の方はハガキでお申込み下さい。お送り致します。

## No.144 1999年(平成11年)1月25日発行 ¥700

火星における異星人の活動——ダニエル・ロス  
葛西臨海公園上空のUFO——久保田八郎  
(大型写真3点を掲載)——撮影/久保田八郎・加藤純一他  
異星人の壮大なスペース・プログラム(3)——平田泰介  
ホワイツサンズUFO搭乗事件(5)——ダニエル・フライ  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ(7)G・アダムスキー

## No.143 1998年(平成10年)10月25日発行 ¥700

火星の驚異の地下大都市！——久保田八郎  
UFO目撃日記(4)——加藤純一  
異星人の壮大なスペース・プログラム——平田泰介  
東京造形大学でUFO講演——久保田八郎  
検証「UFO写真」——三島貴博  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ——G・アダムスキー

## No.142 1998年(平成10年)7月25日発行 ¥700

金星人イエスの実像と出現の意義——久保田八郎  
ホワイツサンズUFO搭乗事件(4)——ダニエル・フライ  
実用化された遠隔透視能力——坂本貢一  
異星人の壮大なスペース・プログラム——平田泰介  
謎の男ウィリアムソン——ミッシェル・ジルガー  
UFO目撃日記(4)——加藤純一  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ——G・アダムスキー

## No.141 1998年(平成10年)4月25日発行 ¥700

パプアニューギニアのUFO出現騒動——久保田八郎  
ホワイツサンズUFO搭乗事件(3)——ダニエル・フライ  
地球人を救う異星人たち——パトリシア・フィンチ  
太陽は熱い天体ではない！——平田泰介  
宇宙論の疑惑とニセ宇宙探査報告類(2)——小山洋一  
「生命の科学」1万回読破で超能力が発現——池上正則  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ——G・アダムスキー

## No.140 1997年(平成10年)1月25日発行 ¥700

火星には大都市があるか！——秋山真人  
NASAによる火星探査報告の欺瞞性——杉山敏樹  
ホワイツサンズUFO搭乗事件(2)——ダニエル・フライ  
宇宙論の疑惑とニセ宇宙探査報告類(1)——小山洋一  
UFO目撃日記(2)——加藤純一  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ(3)——G・アダムスキー

## No.139 1997年(平成9年)10月25日発行 ¥700

重大極まりないUFO問題——久保田八郎  
ホワイツサンズUFO搭乗事件(1)——ダニエル・フライ  
UFO目撃日記(1)——加藤純一  
宗教とUFO問題のはざま——平田泰介  
偉大なるアダムスキー哲学——高梨十光  
UFO目撃のメッカ、ニューメキシコ州——久保田八郎  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ(2)——G・アダムスキー

## No.138 1997年(平成9年)7月25日発行 ¥700

火星人に会った男——久保田八郎  
コンiston円盤事件の現地を訪ねて——高橋 徹  
異星人女性との不思議な出会い——ミッシェル・ジルジェ  
UFOの磁気モーターの謎を解明——遠藤昭則  
宇宙の使者——加藤純一  
宇宙哲学で良き運命をつくる方法——久保田八郎  
宇宙の法則のもとに生きるスペースブラザーズ(1)——ジョージ・アダムスキー

## No.137 1997年(平成9年)4月25日発行 ¥700

UFO頻出のデザートセンタ——久保田八郎  
私は至近距離でアダムスキー型円盤を見た——中里信彦  
空中に不思議なサインが出現——加藤純一  
宇宙の真実を語るアダムスキー——肥後哲也  
ケネディー大統領はドイツに転生?!——久保田八郎  
大宇宙の無限の力による長寿健康法——塩谷信男  
肉体を超えて大宇宙と一体化する方法(完)——G・アダムスキー

## No.136 1997年(平成9年)1月25日発行 ¥700

愛と救いの異星人交信<2>——久保田八郎  
大宇宙の無限の力による長寿健康法——塩谷信男  
反復思念とイメージ法で奇跡を起こす！——会田晋一郎  
誤った宇宙論とアダムスキーの正当性——小山洋一  
江戸川区のUFO——大根田匡史・岡田茂  
肉体を超えて大宇宙と一体化する方法(完)——G・アダムスキー

## No.135 1996年(平成8年)10月25日発行 ¥700

愛と救いの異星人交信<1>——久保田八郎  
イエス出生の謎を探る——遠藤昭則  
アダムスキー哲学を實踐して奇跡的に病気が全快——西坂安信  
オレンジ色の光体を目撃——堀下一郎  
東京上空の細長い物体——藤原敏子  
素晴らしい宇宙哲学講義——佐藤 彰  
肉体を超えて大宇宙と一体化する方法(3)——G・アダムスキー

## No.134 1996年(平成8年)7月25日発行 ¥700

米政府が隠すUFO問題の驚異的真相——久保田八郎  
真実であったアダムスキーの体験——G・クレイトン  
秋田で巨大円盤を目撃！——加藤純一  
東京タワー上空の巨大母船——遠藤昭則  
ロズウェル事件の真相はこれだ  
コンピューターによるUFO写真鑑定への疑問——遠藤昭則  
肉体を超えて大宇宙と一体化する方法——G・アダムスキー

## No.133 1996年(平成8年)4月25日発行 ¥700

月は異星人の基地だった——久保田八郎  
私の宇宙哲学実践とUFO目撃——加藤純一  
懐疑論者から支持者に転向——J・ローリーノ  
アダムスキー哲学と波動感知法——林 國彰  
創造のための宇宙哲学——佐藤 彰  
宇宙の夢とUFO目撃——吉川美香  
カルナの意味——林寺正俊  
東京大地震は近未来に発生しない——秋山真人  
肉体を超えて大宇宙と一体化する方法——G・アダムスキー

# 第1回関西支部大会

# 歓迎!

ご挨拶

全国の日本GAP会員の皆様こんにちは。関西ではノストラダムの予言どおりに、7月に久保田先生が来阪されるというドエライことが起こります。設立1年も満たない若い支部ですが、その若さと熱意で皆様方をお迎え致します。久保田先生の氣迫溢れるご講演を拝聴する絶好の機会です。多数の方のご来場をお待ち致します。

関西支部代表 小原 明

## 久保田先生のプロフィール

1924年生。島根県出身。慶応大文卒。ジョージ・アダムスキーと文通して彼の宇宙的体験や宇宙哲学等を支持する日本GAPを設立後38年間UFO問題と宇宙哲学の啓蒙運動に専念する斯界の第一人者。デンマーク、アメリカ等でも講演を行なっている。



▲会場の「じばしん南大阪」

## 大会 (予約不要)

- 日時 1999年7月25日(日) 午後1:00~5:00
- 会場 南大阪地域地場産業振興センター (略称=じばしん南大阪)  
大阪府堺市長曾根町183-5 Tel.0722-55-0111
- 交通 地下鉄御堂筋線「なかもず」◎番出口より徒歩5分  
南海高野「中百舌鳥」北出口より徒歩5分  
南海バス(堺駅南口~初芝行き)なかもず停留所下車すぐ
- 会費 ¥3,500 (全員記念写真代は希望者のみ送料共¥1,000を別納)
- 予約 不要。



## 夕食会 (要予約)

- 日時 1999年7月25日(日) 午後6:00~8:00
- 会場 Goryo じばしん店 (南大阪地域地場産業振興センター敷地内)
- 会費 ¥5,500

## 観光 (要予約。ご注意=大会の前日実施)

- 日時 1999年7月24日(土) 午後1:00~5:00
- 観光地 天保山ハーバービレッジ (大阪湾岸)
- 集合地 天保山ハーバービレッジ総合案内所前に午後1:00集合  
最寄駅から総合案内所までスタッフがシンボルマークを持ってご案内します。
- 交通 地下鉄御堂筋線「新大阪」→「本町」まで行き、地下鉄中央線「本町」2番線「弁天町・大阪港・コスモスクエア」方面に乗り換え、「大阪港」で下車。1番出口の階段を降りて徒歩6~7分。  
当日スケジュール=海遊館の見学とUFO観測会、他。
- 会費 ¥3,000

## 観光終了後の歓談会 (要予約)

- 日時 午後6:00~8:00
- 会費 ¥3,000

## 各種予約申込

希望者はハガキに「夕食会予約」「観光予約」「観光終了後の歓談会予約」のいずれかを記入し、住所、氏名、電話番号を明記の上、7月10日までに下記へお申込下さい。

〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋4-7-4  
福井貞子 Tel. 090-3945-6428(携帯)

## 宿泊の申込

下記のホテルを予定しております。個人でホテル宛に直接予約をして下さい。支部では扱いません。

「堺イン」大阪府堺市大町東4丁2-30  
Tel. 0722-23-0077

シングル¥6,200 ツインA¥11,000 ツインB¥12,500

▼天保山ハーバービレッジ。矢印が海遊館。



# ユーコン広場



## 私の不思議な体験

東京 林 由利子

私は二〇年ぐらいの会員歴を持っていないが月例セミナーにもなかなか参加できないばかりか、宇宙哲学を学ぶことも遅々として進まずに今までを過ごしてまいりました。

会員になってから時々の寄り道はありましたが、日本GAPから離れたことは一度もありません。UFOとジョージ・アダムスキーは常に私の頭の中であって忘れることはできない毎日です。GAPのように科学的、哲学的に現象や宇宙の意識、人間の生き方までも説明している団体は他にはないと思います。何よりも私自身が納得しております。

私がGAPに入会したきっかけは、学生時代に読んだG・アダムスキーの「空飛ぶ円盤同乗記」という一冊の文庫本が縁でした。

(編注)右は編者が最初に翻訳したアダムスキーの本で、現在の新アダムスキー全集第一巻「第二惑星からの地球訪問者」中の第二部に相当する部分)

それを読んだ時は雷に打たれたようなショックが身体中を走り、心の深い部分で確かにこれは真実であると直感しました。まもなくGAPに入会させて頂き、時々月例セミナーの参加や、アダムスキーの書物を読み進むうちに、私自身の中で今まで混沌としていたものが一つになって、とてもすっきりしたように思え

投稿歓迎字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

たのです。

と申しますのは、私は子供の頃から他人より感受性が強いというか、人の気持がはっきり分かったり、オライも見えたりしておりました。そしてUFOブームや超能力ブームでマスコミなどに取り上げられる物事や人々に触発されてか、いろいろな不思議体験がありました。しかしそれらが心靈現象的なものではなく、科学的に証明される現象であることがGAPやアダムスキーの書物で納得できたのです。

以上は私にはとても貴重な体験で、それによって一歩一歩と宇宙の意識の存在に近づいて行くような気がしてなりません。どうか体験のいくつかを聞き下さい。

①二〇歳代の頃です。この頃は超能力の練習でいろいろな事をしていましたが、トランプをよく切つて下に向けておき、目をつむつて一枚ずつ手にとります。そしてトランプのマークを透視するのですが、まず色が黒か赤として浮かんできて、その次にマークが形として浮かんできます。連続三〇枚を明確に当てました(今はほとんど出来ませんが)。

②これも二〇歳代でGAPに入会してからのことです。東京月例セミナーに行くために電車に乗り(当時月例セミナー会場は上野公園の東京文

化会館でした)吊革につかまってほんやりしていました。

しばらくすると頭の中にある場面が見えてきました。会場のドアの外がソファに座つて話をしているのです。その女性に見覚えがないので、「おや」と思いながら会場に着くと、果たして先ほど透視した場面にした女性が私に話しかけてきて、二人でソファに座つて話し始めました。しかもなんとということか、私の頭の中には、彼女が次に話そうとする言葉が前もってハッキリ聞こえてきて、それに続いて全くそのとおりに彼女が話してくるのです。私が彼女の想念を事前にキャッチしたのか、私が思った事を彼女が話したのか、よくわからなくなるほどで、一〇分ぐらい続いたでしょうか、こんな明確なテレパシー体験は初めてでした。

③三〇歳代、結婚して子供が二人おりまして、ある晩二人を寝かしつけたよとして部屋の電気を消したとたん、子供達の周囲三〇センチ〜四〇センチぐらいの厚さに緑と青の美しい光の玉が浮かびあがり、二人を包んでいるのがはつきりと見えてびっくりしました。うつすらとオーラが見えることはあつても、その時ほど鮮明に見たのは初めてでした。

④ある雨あがりの朝、とても良いお天気でした。子供を自転車の後ろに乗せて坂道を登つていました。坂を登りきつた所はT字路になつていて、つきあたりの家の庭にりつぱな椿の木があるので、その椿の花が朝の陽光を浴びてキラキラと輝いているのを見た時、その花が「嬉し

い。私は幸せです」と言つたのです。

思わず椿の花をよくよく見たのですが、私の頭の中に幸せがいつぱい広がりはつきりと声になつて聞こえてきたのです。

こんなことを言うと一般の人は幻聴か聞き違いかと思うでしょうが、久保田先生には理解して頂けるかと思ひます。椿の花が至上の喜びを宇宙の意識に感謝しているのが、はっきりと分かつたのです。私も幸せな気持ちで身体中が満たされました。

⑤私は仕事を持つていたのですが、次第に忙しくなり責任も仕事量も増えてきて、気持ちも少し荒れ気味になつていたように思います。

今から三〜四年前、朝の通勤時に下りの電車で吉祥寺駅に停車したときです。反対側のホームにも上り電車がはいつてきて停まりました。

人々の乗り降りが終わり、ドアが閉まりかけたとき、上り電車の窓に一人の若い女性が写つていました。初夏の頃だつたと思いますが、白いワンピースを着たロングヘアのとても上品な美しい人で、女性の私もうつとりするような人でした。「きれいな人だね」と思つていたら、自分の乗つた電車が動きだしたので、窓に写つているのだから反対側にいるのだらうとふり返つて見たら、ホームの真ん中にあるベンチのかけに立つているはずだと思ひ、後方を見たのですが、ホームには誰もいませんでした。とても不思議な気持ちでしたが、きつと高次元の波動を持つたのだらうと思ひました。

⑥同じ頃の秋、大型台風が来ていた時のことです。職場から外へ出て門の郵便ポストまで手紙を取りに来た時、台風上陸で吹き荒れる風が気に

なり、周囲の木々の様子を見てから空を見上げました。

物凄い強風で、低い黒雲がビュンビュンと流されて行く中に、少し明るいグレーの巨大な円筒形の雲が全動かずに浮かんでいました。他の雲はほとんど動いて行くのに、そのグレーの雲は全くその位置を変えず、圧倒的な大きさに頭上から西にかけて浮かんでいました。かなり低い所だと思ひますが、それはそれは巨大で、流れる雲の合間合間に見えるのですが、大きさは見当もつきません。「ああ葉巻型の母船だわ!」と思ひ、五分〜一〇分ぐらい見ていました。その間全く動いていませんでした。

以上、私のこれまでの主な不思議体験を書きましたが、こういうことは他人に話してもまるで相手にされないばかりか、少しおかしいのではないかと思はれてしまい、めつたに人には話せません。まだまだ地球人のレベルではテレパシク的なものを認めるどころまで到達してないので、私のような初歩的な体験さえ認めてもらえないのです。ましてスペースビールの方々の存在は言うに及ばずです。彼らが地球人を警戒するのは当然の事と理解できます。

それでもいつかは必ず地球人もスペースビールの方々のような発展をとげることを信じています。今はまだ我々も幼くして物事をよく認識できないので行けるですね。少しでも良い方向へ行けるように私も努力したいと思ひます。

この頃は子供達にあまり手がかからなくなつてきたので、GAP活動に参加できることが嬉しくて仕方がありません。なぜかといひますと、

宇宙の意識に感謝しつつ「スペースプログラムに参加させて下さい」と毎日理念を送っていたら、「日本GAPにつなげて下さい」という答えが返ってきたからです。

長々と自分の言いたいことばかりを書き連ねてしまい申し訳ございません。なぜか今まで体験をまとめておきたいと思い、お忙しいこと知りつつお手紙でお邪魔してしまいました。

この頃は「新しい事が始まる」という予感がしきりにしているのです。そのために私は何をしたらよいのか今探っている状態ですが、どうか今後ともよろしくお願ひ致します。

### フアーコン氏の言葉に激励される

大阪府 藤木隆宏

今年の三月で〇〇歳になります。大学浪人で〇浪して、やっと入学した大阪教育大も〇年留年したのですが、なんとか今年卒業できました。特に〇回生の今学年は教育実習と卒業論文がありまして、とても大変だったのですが、何か目に見えない大きな力の後押しがあつて卒業できたような気がします。

新アダムスキー全集第一巻の二八四頁のフアーコンさんの言葉が、落ち込んだ辛い事があつたときに、とても励みになりました。私自身まだまだ人間の未熟なのですが、もっともっと頑張つて、スペースプログラムの皆さんに追いつきたいと思っています。

(編注)フアーコン氏の言葉というのは新アダムスキー全集第一巻「第二惑星からの地球訪問者」中の第二部二八四頁の一二行目から出てくる

次の言葉を指すものと思われる。

「私たちの惑星では、はじめに努力する人が、その結果はどうあろうと失敗者とみなされることはありませぬ。その人は何かを学んだのだから、失敗そのものによって本人は同胞に大きな貢献をなし得るのです(中略)兄弟としての私たちは彼を称賛します」

ついでながら編者は同書二七九頁の最後にあるフアーコン氏の次の言葉を金科玉条としている。

「私にはあなたがたの言う失望的な言葉です。ずっと昔、私には信念の力、希望の力、絶対にあきらめない力などを学びました。昨日失われたゴールを明日は勝ちとることが出来ます」

### 紀南会より報告

三重県 松口幸之助

大自然界の息吹きの音が聞こえてきました。陽春が間近です。

寺本氏は過去世療法の訓練法を行なつております。人によつていろいろあるようで、その人にとってベストの方法があると思います。本人を生かしている宇宙の意識様は何でもご存じですから、タイミングというものがあるのではないのでしょうか。小川隆志氏は先月風邪をひきまして、お見舞いに行つてきたのですが、今は仕事で、そしてテレビの研究に頑張つております。

上地尚之氏は現在アメリカ・ユタ州ユタ大学の英語学校で学んでおります。私が手紙を出しますが、元気でやつていられるようです。

私は瞑想法を五分間程度実践して

おります。それとトランプカードで消去法効果トレーニングを行なつています。これは人生の中で直感的に必要なテーマを選び出すことができるようにするためです。意味のある偶然ということもありますね。これは誰にもあると思いますが、私はこれに気づくようになったと感じております。ご報告まで。

### UFO目撃報告

京都府 児玉尉宏

いつもユークン誌をご送付頂き、有難うございます。毎号興味深い記事が豊富にあり、楽しく読ませて頂いております。最新号も楽しみに待っています。

さて、最近二度ほど印象的な光体を見ましたので、よくある目撃報告かもしれないですが、お知らせしたいと思ひます。

一度目は九月一日の一九時四〇分の頃のことです。塾通いの妹を迎えに行くために自転車走つていました。西の夜空に突然大きな光体が出現し、ゆっくりと南の方へ移動しているのを目撃したのです。私はそれらしき光体を今までに数回見ていますが、その光体は今まで私が見たことのない光り方をしていました。それは三回ほど光を強めたり弱めたりしながら飛んでいたのです。まるで光体そのものが呼吸をしているような感じで光っていました。突然のことにはしばらく茫然としていましたが、前の方から人が来たので一瞬その光体から目を離して再び空を見たのですが、もう影も形もありませんでした。

二度目は一〇月一日の一八時二

五分頃です。いつものように犬を連れて散歩しておりましたが、その日は宇宙の意識について何かを考えながら歩いていました。

ふと視界に何か光るものが入ったので、その方に目をやりますと、とても強烈に光り輝く物体を目撃しました。それは二、三秒ほどで消えて、私はその後もそのあたりをじっと見ていましたが、何かが雲に隠れた様子はなく、その付近を飛行機が飛んでいることもありませんでした。ヘリや人工衛星でもないと思います。他の惑星の宇宙船でしょうか。

### アダムスキー哲学を職場で生かす

岐阜県 大谷和枝

「意識の声」一〇三号をありがとございました。アダムスキー哲学は職場での人間関係に本当に生かされています。カリカリの無愛想な部下の方の悩みを聞いていて、行き付

く所はやっぱり宇宙哲学です。分裂感情を起こさずに実践してきた体験が相手に説得を与えられると思ひます。どうぞお体をお大事にして下さいませ。

### 日本GAPの皆さんへ

在米 デイビッドウィッツ邦子

一月二日にニューヨークへ戻ってきましたが、今回の東京訪問は三週間という長さにわたりましたので、ニューヨークに一人でいる主人には、とても不慣れな事が多かつたようです。本日は暦の上では立春ですが、ニューヨークでは昨日降つた雨が今日はやんで素晴らしい春のような一日になりました。来週か今週末にはアリスさんに電話しようと思つております。風邪などを引いていなければ幸いです。それでは今日はこの辺でしかせて頂きます。日本GAPの皆様によりしくお伝え下さいませ。

### 維持会へのおすすめ

日本GAPは普通会員とは別個に維持会員制度を設けています。これは一種の寄付制度でありまして、日本GAPの運営と発展に寄与するための援助活動で、絶大な役割を果たしています。これに加入されますと、久保田会長が個人で毎月始めに発行している「意識の声」と題するオフセット印刷の小冊子が維持会員に直送されます。これは本誌に掲載されない秘話、会長が実践している宇宙的能力開発の実践法、会長の珍しい体験、行事速報その他が満載されており、この四月で第一〇五号が発行されています。

維持会員加入希望者は八ガキに「維持会の案内書送れ」と書いて日本GAP本部宛に出せば直送されます。

ジョージ・アダムスキー 著  
久保田八郎 訳

George  
Adamski

全面改訂・改訳  
全11巻／各四六判

# 新アダムスキー全集



## 1 第2惑星からの地球訪問者

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1922円十税）／四六判並製 ●世界的に著名なUFO研究者、ジョージ・アダムスキーが金星と会見、自ら円盤や母船に乗り他の惑星の文明の実態を明らかにした本全集の中心たる書。

## 2 超能力開発法

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1262円十税）／四六判並製 ●人間に内在する宇宙的能力の開発法を説く。四官をコントロールして肉体内部の宇宙意識からのメッセージを感じ、テレパシー、遠隔透視などを学ぶ。

## 3 21世紀／生命の科学

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1262円十税）／四六判並製 ●地球外生命体との接触によって開発されたアダムスキーの超能力開発プログラムの全貌。進化した異星人から地球人に伝えられた12のレクチャーを公開！

## 4 UFO問答100

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1262円十税）／四六判並製 ●1985年アダムスキーは世界中から送られてくる質問を分類し質疑応答集をまとめた。UFO問題の疑問を解き、混乱したUFO研究界に解答と示唆を与える書

## 5 金星・土星探訪記

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体2330円十税）／四六判並製 ●アダムスキーが大母船に乗せられ、高度な進化をとげた金星・土星を訪れる驚異の体験記録。金星人として生まれ変わったとき妻との再開。

## 6 UFOの謎

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1922円十税）／四六判並製 ●円盤の推進理論や聖書とUFOとの関連など、UFOと異星人問題の真相を解明する書。後半は著者の世界講演旅行記で各国GAP網の活動状況を克明に描写。

## 7 21世紀の宇宙哲学

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1000円十税）／四六判並製 ●地球人が宇宙的な成長をとげるために、心体内部に宿る宇宙意識との一体化を説いた書。既存の宗教・哲学では理解しえなかった意識と万物との関係を解く！

## 8 UFO・人間・宇宙

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体2330円十税）／四六判並製 ●日本GAP機関誌に掲載されたアダムスキーのUFOと宇宙哲学に関する論文や講演録を編纂。特に世界する直前の最後の講演が圧巻！

## 9 UFOの真相

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体1922円十税）／四六判並製 ●アダムスキーの薫陶を受けた人々の論説、講演録などを収録。アダムスキーの宇宙の実像と、人間味豊かな庶民性を持つ素顔を多角的にとらえる。

## 10 超人ジョージ・アダムスキー

久保田八郎著 定価（本体1262円十税）／四六判並製 ●アダムスキーの理論と哲学を要約、国際的アダムスキー研究者・久保田八郎が初めて書き下ろした意欲作！アダムスキー入門書。

## 11 肉体を超えて 大宇宙と一体化する方法

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳 定価（本体2800円十税）／四六判並製 ●アダムスキー高弟のアリス・ボマロイ女史が、アダムスキーの膨大な講演録を収集。久保田八郎氏が翻訳した大著。宇宙哲学の真髄を究めた最高の名著。

## 別巻・UFO宇宙からの完全な証拠

ダニエル・ロス著 久保田八郎訳 定価（本体2718円十税）／四六判並製 ●アメリカ気鋭のUFO研究者、ダニエル・ロスが全力で展開したUFO問題の真相！アダムスキーの体験の真实性を科学的に実証した書。

\* 新アダムスキー全集全巻をまとめてご注文頂きますと  
本体価格の10%引き+送料がサービスとなります

  
CHUO ART PUBLISHING CO., LTD.

中央アート出版社

〒104東京都中央区京橋3-7-13  
TEL 03-3561-7017郵便振替：00180-5-66324

# UFO事件と 愛の異星人 交信

久保田八郎著

定価(本体2400円+税)送料310円  
四六判並製・352頁

世界のUFO事件を研究調査してきた著者が、ルーロドの奇蹟やファティマの名高い聖母空艇事件やメキシコのマヤの遺跡その他の謎の事件等に現地調査のメスを入れて、別な感星から来た宇宙船に起因することを検証し、さらに異星人と交信して愛と救いのメッセージを与えられている日本人青年の感動の実話を加えた心あたたまる希有のノンフィクション。



# UFOと 異星人の 真相

久保田八郎著

定価(本体1602円+税)送料310円  
四六判並製・288頁

UFO研究者の第一人者・久保田八郎が書き下ろした本書は、別な感星へ行ってきた青年の驚異の体験をもとにUFOの内部の様子や作動原理、異星人の文明の実態等を明らかにしていきます。加えて超能力等の問題や、氾濫するUFO関連情報の真偽にも迫るUFOを研究する人の必携の書です。



# UFOと 宇宙哲学の 行方

(ゆくえ) 久保田八郎著

定価(本体1602円+税)送料310円  
四六判並製・288頁

本書はわが国UFO研究者の第一人者・久保田八郎が「UFOcontactee」に長年にわたって掲載してきた記事や講演から選りすぐって編集したもので、UFO問題とアダムスキー哲学に関する著者の研究の集大成ともいえる内容になっています。2部構成になっている本書は、まず第1部ではアダムスキー哲学を人生に生かしたり、難病の治療に応用する実践法を明らかにしていきます。UFOを研究する人のガイドブックとしても最適の書です。



# UFO・ 遭遇と 真実

日本編 久保田八郎著

定価(本体1500円+税)送料310円  
四六判並製・264頁

日本で発生した驚異的なUFO事件を8件選び、わが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が書き下ろして読みやすく編集した本書は、実証主義をつらぬく著者が徹底的に調査した結果、真実そのものであると確認した事件のみを流麗な筆致で活写。読者を大気圏外の世界へ誘います。



\*上記の書籍は日本GAPでも取扱います。著者の署名捺印入り。  
ハガキでご注文下されば代金後払いで直送します。



CHUJO ART PUBLISHING, CO., LTD.

## 中央アート出版社

〒104 東京都中央区京橋3-7-13

TEL 03-3561-7017 郵便振替：00180-5-66324

# 英文版「UFO contactee」No. 13 日本GAP

B5版/12頁/カラー写真掲載/コート紙使用/¥1,000 送料¥160

日本GAPは国際版として英文版「UFO contactee」誌を年1回発行して世界のUFO研究団体や個人研究家と交流を続けています。本誌にはアダムスキー問題を中心にUFOと宇宙哲学記事を主体に掲載し、アダムスキーが世界のGAPリーダーに送った質疑応答も連載しています。No. 13には日本語版142号に掲載された「金星人イェスの実像と出現の意義」の英訳、その他のカラー写真や記事が掲載されており、米人校閲の流麗な英文による本誌は英語学習に最適です。日本GAPへハガキでご注文下されば代金後払いでお送りします。現品に同封の振替用紙で着後にご送金下さればOKです。

## From The Editor 編集後記 333

●今回は秋山眞人氏の記事が二篇掲載されました。超能力者でコンタクトテイマーとして名高い氏の未来予知その他の素晴らしい言説は読者を唖然させるものと自負しています。熟読玩味して下さい。その他にも有益な記事を満載しましたので、本号は読みごたえある内容になったとみています。

●いったいにノストラダムスの予言に関する解釈は千差万別。どれを信ずればよいのか見当もつきませんが、的確な解釈をほどこしたのが秋山説だといえそうです。

●UFOは依然として各地に出現しています。しかしそれはや食傷気味なのかニュース価値が低下したのか懸がなくなりました。これは大衆が違和感を持たなくなつたせい、むしろ前進した証拠といえます。そのうち耳目を揺るがすような大事件が発生することを期待します。

●今年の日本GAP海外研修旅行はアメリカ西部行きと決定しました。詳細予告は四三頁にあります。本誌読者で、ある程度はアダムスキー問題理解者ならば誰でも参加できます。多数ご応募下さい。

●UFO 目撃報告、UFO写真、超能力開発体験、宇宙哲学研究実践体験、宇宙科学等の原稿や資料を募集しています。掲載分には薄謝を呈します。

●本誌は多数のボランティアにより全国の主要書店に直販で卸されています。この活動に参加希望の方はハガキでお申込み下さい。説明書をお送り致します。

日本GAP専門誌・季刊 夏季号  
UFO contactee 145号

編集所 久保田八郎  
発行所 日本GAP

〒130-0044 東京都江戸川区本一色1-12-15  
03-3651-0958  
振替 00140-2-35912

定価九四五円(本体九〇〇円+送料二〇〇円)  
※本誌掲載の全記事・写真共、他の印刷物への無断引用転載を禁じます。

一九九九年四月二五日発行

# 日本GAP全国月例セミナー案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※7月より久保田会長の 講義テキストは新アダムスキー全集第1巻。 ※5月は第2日曜日の9日に変更。	港区芝公園3丁目5-8「機械振興会館」地下3階第2研修室。 ☎03-3434-8211 JR 浜松町駅下車。東京タワーの正面前。 浜松町駅北口から東京タワー行きバスで約8分。 ※日曜日は正面玄関が閉じられているので、右へ回って建物の 右側の入口から入る。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-3651-0958	会 場 費 ¥1000 セミナー 受 講 料 ¥1500 計 ¥2500	1:00→1:40 会員の講演。 1:45→3:15 久保田会長の 講義「生命の科学」 3:25→5:00 超能力開発練習/近況 報告/ビデオ映写/質疑。 ※日本GAP会員でなくても入場可。 ※会場に臨時売店開設。新アダムス キー全集、GAPグッズ等を販売。
新潟支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	新潟市東万代町9「新潟市青年の家」(万代市民会館と同じ建物) ☎025-246-7711。JR 新潟駅より徒歩5分。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30 ※6月は第1日曜日の6日に臨時変更。	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議 室。☎052-331-2141(代) JR 東海・名鉄・地下鉄の金山駅より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥500	同上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※日時に変更があるため、毎月事前に柴田宛 電話で問い合わせること。	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0236-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市 役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥500	同上
北海道支部	毎月第3日曜日 午後1:30→4:00 ※支部代表の林寺正俊氏が海外留学のため 代表交替	札幌市中央区北2条西7丁目「かでる2・7」(北大付属植物園前、 北海道警察本部横) JR 札幌駅より徒歩7分、地下鉄札幌駅 あるいは大通駅より徒歩7分。☎011-231-4111 (道庁代表)に 「かでる2・7」に接続を依頼すると会場へ直通。 連絡先=金丸直司 ☎011-785-0590	¥500	同上
沖縄支部	毎月第4火曜日 午後7:30→10:00	宜野湾市嘉数1-6-5早川宅 ☎098-890-1324 連絡先=星 孝人 ☎098-835-3991	¥500	同上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00 ☎0188-24-5377 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	秋田市八幡運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。	¥500	同上
横浜支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※5月のみ第5日曜日の5月30日に臨時変更。	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」 ☎045-681-6551 JR 関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩 3分。 連絡先=清水 正 ☎048-845-2256	¥500	同上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:20→5:00	水戸市梅香1-2みと好文カレッジ小集会室。 ☎029-224-6602。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎029-273-1903	¥300	同上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番地「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253 連絡先=博田文喜 ☎0264-24-3012	¥500	同上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※日時については事前に松口にお問い合わせ のこと。	和歌山県新宮市春日1番35号 「新宮地域職業訓練センター」工業コーナー ☎0735-23-0005 JR 新宮駅下車、徒歩5分。新宮市役所隣。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0384	¥300	同上
南九州支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	鹿児島市与次郎2-3-1「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111 連絡先=曾我部勇人 ☎0992-53-2315	¥500	同上
高松支部	毎月第3土曜日 午後1:30→4:30 ※日時は変更があるため事前に電話。	香川県宇津川町浜6番丁88「ユープラザうたづ」研究室 ☎0877-49-8020 JR 宇津川駅から徒歩4分 連絡先=関 高明 ☎0875-72-2698	¥500	同上
伊豆支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30	静岡県三島市一番町20-5「三島市民文化会館」第3会議室。 ☎0559-76-4455。三島駅より徒歩3分。 連絡先=高梨十光 ☎0558-72-7832	¥500	同上
福山支部	毎月第2日曜日 午後1:30→4:30	広島県福山市霞町1丁目10番1号「福山市民会館」3F第3会 議室 ☎0847-21-2151 JR 福山駅から南に徒歩10分。 連絡先=兼田(なつめた)雅則 ☎0847-52-6306	¥500	同上
埼玉支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※7月は第2日曜日の11日に臨時変更。	埼玉県浦和市高砂3-1-4「埼玉会館」 ☎048-829-2471 JR 京浜東北線「浦和駅」西口より県庁通り を徒歩5分。 連絡先=会田裕子 ☎0492-81-4267	¥800	同上
関西支部	毎月第4日曜日 午後1:30→5:00 ※5月は福山支部大会に全員出席のため 月例セミナーは中止。	大阪府堺市長曾根町183-5「南大阪地域地場産業振興センター」 ☎0722-55-0111 地下鉄御堂筋線「なかもず」②出口より徒歩 5分。南海高野線「中百舌鳥」北口より徒歩5分。堺駅南口より 南海バスなかもず停留所。連絡先=築瀬和孝 ☎06-967-7651	¥1000	同上



### オーゾン肖像写真

1952年11月20日、アダムスキーが米カリフォルニア州のデザートセンターで会った金星人を、目撃者の一人アリス・ウェルズ女史が双眼鏡で観察しながら描いたスケッチをもとにして女流画家ゲイ・ベッツが油絵に仕上げた絵画の写真。10.5cm×17cm(不許複製転載)

¥1,000 送料¥130



### 金星のシンボルマーク

中央の眼は万物を見透す宇宙の意識、つまり人体を生かす生命パワーと叡知をあらわし、周囲の4層の放射状ゾーンは人間のマインド(心)の発達状態をあらわしています。人間のマインド(心)は眼・耳・鼻・口の四つから形成されるので4層になっているのです。

¥500 送料¥80



### ESPカード<超能力開発用>

テレビシー、遠隔透視等の能力開発用としてアメリカのデューク大学で開発されたカード。5種類の図形カードが各5枚ずつあり、計25枚のセット。堅牢な厚紙製。重さ40g、5.7cm×8.9cm。携帯に便利なポケット用。どこでも気軽に練習できます。使用説明書付き。

¥1,500 送料¥130 (2~5個)¥190



### 本誌綴込み用バインダー

このバインダー1個に本誌8冊(2年分)を簡単に綴込み可能。美麗背文字入り。背中に年号を書き込めば取り出しに便利です。

¥1,000 送料は1個~5個 一律¥800



### GAPキーホルダー

日本GAPがデザインして製作したオリジナル・キーホルダー。シンボルマークの周囲を「WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識とともに)」の金文字が取り巻く優雅なデザイン。円形部分は直径3.2cm。鎖とも全長9cm。非常に堅牢に出来ています。

¥1,900 送料130



### 会員バッジ

金星のシンボルマークが金色に輝く優雅なデザイン。表面の透明樹脂がキズを防ぎ、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏の留め金が心棒ネジ留め式。女性用は安全ピン式。ご注文の際は、いずれかを明記して下さい。実物の直径は1.7cm。

¥2,000 送料4個まで130



### ブックカバー

主として新アダムスキー全集用に作られたカバーですが、同じ大きさの四六判の書籍ならどれにも使用できます。表側の中央にシンボルマークと「宇宙の意識とともに」を意味する英文が金色で箔押しされた濃紺色の優雅なデザインです。人造皮革製。

¥1,200 送料¥190 5枚まで¥270

### GAPシール

シンボルマークを「宇宙の意識とともに」の英文が取り巻く優雅なデザインのシールです。カバンその他の持ち物に最適。

1枚に大小5個1組 ¥200 送料10枚まで¥80



### 新アダムスキー全集 訳・著者 久保田八郎の署名捺印入り

中央アート出版社刊「新アダムスキー全集」を日本GAPでも取り扱っています。各巻とも扉に久保田八郎の署名と捺印を入れてお届けします。詳細については本誌の広告を参照して下さい。全巻注文の際の定価割引はありません。送料は1冊310、7冊まで¥660、10冊まで¥900。ハガキでご注文下さいは代金後払いでお届け致します。

申込先

上記各商品のご注文の際は住所・氏名・品名・個数・電話番号をご記入の上、郵便振替が現金書留でご注文下さい。代金後払いも承ります。その場合はハガキに上記のとおりにご記入の上お送り下さい。商品の中に郵便振替用紙を同封しておりますから、現品到着後、最寄り郵便局からご送金下さい。消費税は無関係です。

〒133-0044 東京都江戸川区本一色1-12-1-511

日本GAP 郵便振替=00140-2-35912 電話=03-3651-0958



### 日本GAP能力開発カセットテープ

●「生命の科学」能力開発テープ¥1500

送料1本¥160 計¥1660

日本GAP東京本部開催月例セミナーで久保田会長が昨年来行なってきた「生命の科学」は99年6月で終了。7月よりアダムスキー全集第1巻「第2惑星からの地球訪問者」をテキストとして解説講義と質疑応答を行ないますが、これを録音した1時間半のカセットテープを7月より頒布します。全集第1巻に含まれる深遠な宇宙哲学をみずから実践して驚異的な体力と気力を保つ会長の雄大な講演をお聴き下さい。心が変われば人間も変わり運命も好転します。

●テープのご注文も代金後払いで結構です。〇年〇月分、個数、氏名、住所、電話番号を明記の上、ハガキでご注文下さい。ただし東京月例セミナーのテープはセミナー終了後、製作に約5日間を要します。

申込先

日本GAP



### 日本GAPビデオ

臨場感溢れる画像があなたを会場に引き込み、宇宙的な一体感を起こします。全巻VHS。

●東京本部月例セミナー 全1巻 ¥3000

(内容) 久保田会長の解説講義、他、約120分。  
●日本GAP総会 全2巻各¥3000  
(内容) 毎年開催される日本GAP総会を完全収録。(1989年度分から在庫あり)

●日本GAP海外研修旅行 全1巻 ¥3000

(内容) 旅行のハイライトをまとめた楽しいビデオ。  
(1989年度分から在庫あり)

●米ワシントン市のアダムスキー大会における久保田会長の講演(英語) 全1巻 ¥3000

(内容) 1995年9月8日、久保田会長が英語で長時間講演しためづらしいビデオ。英文テキスト付き。日本語翻訳文は本誌131号に掲載。送料はビデオ1本¥390、2本以上3本まで¥700。

申込先

ご注文の際は品名、〇年〇月分、上下巻の区別、個数、住所氏名、電話番号をご明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。(ビデオの代金後払いは不可) 〒162 東京都新宿区富久町36-18 富久マンション103 伊東芳和 振替 00140-8-13811 電話 03-3351-9526

何とオーダーメイド!

秋山真人先生推奨



# あなただけの波動器を作ります!!

## ■OVOマインドエンジンとは何か?

10年以上にわたる研究によりエソプ・ルトン博士は、いままでの波動学とは別の視点から「波動形態理論」を完成させ、外部電源を必要としない強力な波動コントローラーを生み出しました。電源を必要としないから、クリーンでリーズナブル。また、装置本体は透明高級アクリルと稀少鉱石の美しい組み合わせで、ユーザー一人一人の波動に合わせて作成するという、オーダーメイドです。特殊なシートの中にあなたの波動を転写しプリント基盤(核波動共鳴図形回路)を作成し、アクリル球体の中に封入。さらにあなたの指紋から波動座標を割り出し、それと親和性の高い波動浄化調整済の稀少鉱物とカップリングします。シンプルで美しく個性的・・・これが OVOマインドエンジンです。

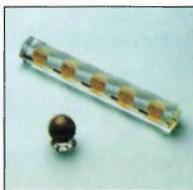
### ■OVOマインドエンジン・直径37ミリ グラスプレート(9,800円 送料・消費税込)

ミニピラミッドの連続体を刻んだグラスと中核波動形態基盤を、錫を基本とした特殊合金でパッケージしました。あなたの心身の波動、および、あなたが見たり触れたりしたものの波動を高めます。(グラスプレートについては稀少鉱石はつきません。)



### ■OVOマインドエンジン・全長最大200ミリ ヒーリング・コンディショナー(53,500円 送料・消費税込)

スティックタイプの強力型でヒーリングを行う人の心身の波動を守護するものです。他からの質の良くない波動を完全にブロックする(悪質波動と共鳴する回路の遮断)のために作成されました。イギリスにある100年以上も前に建てられたゴーストハウス(幽霊の出る家)に、このコンディショナーを置いたところ、その日から幽霊が出なくなったという現象も報告されており、活用法はあなたのアイデア次第です。



## OVOマインドエンジンにできること!

波動の良否のチェック・波動の変調浄化・邪気、波動の消去・マイナス波動のプラス転換・波動の強化増幅まで自由にでき、必要な時間はそれぞれ3分もあれば充分です。OVOマインドエンジンは、いわば良質波動のレンズのようなもので、あなたの心身をシステムの一部として使用します。

### 注文方法

ハガキの裏面に住所、氏名、生年月日、年齢、職業、TEL、商品名、個数を必ず自筆で記入してください。印鑑を押していた後、ハガキに手、または足の指紋(どの指でも可)を朱肉からスタンプインキ(色は問いません)で押してから発送してください。当社口座に入金が確認され次第、作成にかかりますので、商品到着までに3~4週間かかることもあります。入金の際、下記の口座までお振り込み、または、現金書留、郵便為替で送金ください。

- 郵便局：口座名義 オフィス江戸幕府  
記号10120 番号36766381
- 銀行：口座名義 オフィス江戸幕府  
第一勧業銀行 成増支店 普通口座 1682151
- 現金書留●郵便為替  
〒171 東京都豊島区長崎1-28-23 Muse 西池袋8・9F  
株式会社オフィス江戸幕府  
UFOコンタクト オVO マインドエンジン 3 係

### ■OVOマインドエンジン・直径30ミリ石球共 ルミナ波動レンズ(19,800円 送料・消費税込)

40種類以上あるといわれる風水龍穴地の形を分析しさらに独自の技法で組み合わせた12種類の図形回路を作成。12種の基盤の内、2種類をあなたの波動に合わせて選び、エンゼルヘアークウォーツ、レインボーライト、レッドジャスパーなどの30ミリ球とカップリングしてあなたの身体が発する中核波動を転写・調整してお届けします。稀少鉱石球もあなたの波動にあった石を選びます。



### ■OVOマインドエンジン フルパワーキット(127,000円 送料・消費税込)

太陽の波動を転写した80ミリ大型波動レンズ球と、スフィンクス(エジプト)の波動と月の波動を転写した60ミリ中型波動レンズ球、さらに定型波動レンズと同じく稀少鉱石球、ヒーリング・コンディショナーなどが、すべてセットになったお得なキットです。波動コントロールは勿論のこと。願望の具現化、霊的問題の解決、人間関係の円滑化、能力開発など様々な分野で活用でき、組み合わせで動作させることによってマル秘の活用法があります。



●その他・波動製品を作るためのプロフェッショナルキットやヒーリングのプロのための特注キットなど制作に応じますのでご相談ください。

■オフィス江戸幕府は、マインドケアに関するあらゆる歴史、文化を研究し、広布するための法人として設立されました。宗教、思想団体とは一切関係なく、メディアへの協力、コンサルティング、セミナー企画、カウンセリング、グッズの開発などを行っています。また、社内にマインド・アンティーク(いやしを与えるアンティーク)の博物館(日本初)があり、アンティークをリーズナブルな価格で展示、販売しています。(要電話予約制)

## 株式会社オフィス江戸幕府

〒171 東京都豊島区長崎1-28-23 Muse 西池袋8・9F

TEL 03-3957-4999

FAX 03-3957-4940

TEL・FAX  
24時間受付



●超稀少水晶、レコードキーパー、タリスタル、骸骨、レッドファントムクォーツ等、稀少鉱石を特別頒布します。詳しくはお問い合わせ下さい。